第４次朝霞市生涯学習計画
策定のための基礎調査

調査結果報告書

令和８年３月
朝霞市

◇目次◇

第１章 調査実施概要 1
（１）調査の目的 1
（２）実施概要 1
（３）回収結果 2
（４）報告書をみるにあたっての注意点 2
第２章 調査結果概要及び考察 3
第３章 一般調査の結果 7
（１）回答者自身について 7
（２）生涯学習活動の状況について 12
（３）今後の生涯学習活動に関する意向について 35
（４）「地域や社会における教育」について 42
（５）企業・事業所との関係について 44
（６）子どもの教育について 46
（７）朝霞市の施設について 48
（８）「人とのつながりに関する活動」について 49
（９）市への要望などについて 53
第４章 生涯学習団体調査の結果 58
（１）日ごろの活動について 58
（２）今後の活動について 64
第５章 事業所調査の結果 68
（１）事業所について 68
（２）事業所における生涯学習活動の状況等について 70
（３）従業員と生涯学習活動について 72
（４）朝霞市との連携について 74
第６章 小中学生調査の結果 76
（１）回答者自身について 76
（２）ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について 79
第７章 施設利用者調査の結果 92
（１）回答者自身について 93
（２）生涯学習活動の状況等について 95
資料編（各調査の設問と選択肢の一覧） 100

第１章 調査実施概要

（１）調査の目的

本調査は、令和８年度に「第４次朝霞市生涯学習計画」を策定するにあたっての基礎資料として、市民や団体等の生涯学習ニーズを把握するために実施しました。

（２）実施概要

一般	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和７年 12 月５日～令和８年 1 月 16 日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の 17 歳及び満 20 歳以上の市民 1,100 名

生涯学習団体	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和７年 12 月 12 日～令和７年 12 月 26 日
調査方法	公民館配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市内で生涯学習活動を行う団体 75 団体

事業所	
調査地域	朝霞市
調査期間	令和８年 1 月５日～令和８年 1 月 29 日
調査方法	郵送配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市商工会加盟事業所 75 社

小中学生	
調査地域	朝霞市内の小・中学校
調査期間	令和７年 12 月 10 日～令和８年 1 月 23 日
調査方法	学校配付/朝霞市電子申請・届出サービスによる回答
調査対象者	朝霞市在住の小学５年生及び中学２年生 900 名

施設利用者	
調査地域	朝霞市内の公共施設
調査期間	令和７年 12 月 11 日～令和７年 12 月 23 日
調査方法	市職員によるヒアリング
調査対象者	公共施設への来訪者 43 名
調査対象施設	７施設

（3）回収結果

調査区分	配付数	有効回収数	有効回収率
一般	1,100件	296件	26.9%
生涯学習団体	75件	70件	93.3%
事業所	75件	25件	33.3%
小中学生	900件	702件	78.0%
施設利用者	43件	43件	100.0%

（4）報告書をみるにあたっての注意点

◇図表中の「ｎ」とは、その設問の回答者数を表しています。
◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第２位を四捨五入して小数点第１位までを示しています。そのため、合計値が 100.0%にならない場合があります。
◇複数回答の設問の場合、回答比率の合計値が 100.0%を超える場合があります。
◇図表中「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
◇選択肢の語句が長い場合、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合があります。
◇「不明・無回答」を除き、１番目と２番目に回答が多かったものには網掛けをしています。
◇クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目において、「不明・無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
◇本文中、調査結果を比較するために「前回調査」や「国調査」と表記している箇所があります。これらの調査概要は次の通りです。

調査	内容
前回調査	朝霞市「第３次朝霞市生涯学習計画策定のための基礎調査」（平成 27 年 11 月～12 月実施）
前々回調査	朝霞市「第２次朝霞市生涯学習計画後期基本計画策定のための市民意識調査」（平成 22 年 10 月～11 月実施）
国調査	内閣府「生涯学習に関する世論調査」（令和４年７月調査）
県調査	埼玉県教育委員会「第 217 回簡易アンケート 生涯学習活動について」（令和４年 12 月実施）

第２章 調査結果概要及び考察

（１）生涯学習活動の実施について

17歳・20歳以上の市民の生涯学習活動の状況については、「行っている」が52.7%、「行っていない」が46.6%となっています。（一般調査 問７〈13ページ〉）

生涯学習活動を行っていない理由としては、「時間に余裕がない」が57.2%と最も多くなっており、活動を行う上で困っていることとしても、「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」が24.4%と２番目に多くなっています。また、自由回答では、仕事などで平日の活動は参加できない、土曜日・日曜日などに参加できる活動があればよいという意見があり、時間に制約のある方のニーズに合わせた生涯学習活動の形が求められていることがうかがえます。（一般調査 問８〈15ページ〉・問13〈29ページ〉・問31〈55ページ〉）

加えて、今後の意向については、生涯学習活動を行っていない方の35.5%が「条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい」と回答しており、前述の時間的な制約を含め、現在活動できていない市民のニーズも踏まえた生涯学習活動の環境づくりが求められていることがうかがえます。（一般調査 問17〈35ページ〉）

小中学生に関しては、児童館・公民館・図書館・博物館・体育館・陸上競技場などで行うイベントや教室に参加している児童・生徒は、小学５年生で58.5%、中学２年生で33.8%となっていますが、どちらも前回調査に比べて減少しています。（小中学生調査 問８〈86ページ〉）

（２）生涯学習活動の分野について

今後の学習を希望する分野として、17歳・20歳以上の市民では、「芸術文化に関すること」、「スポーツ・レクリエーションに関すること」が多くなっており、これは現在行っている活動や前回調査と同様の結果となっています。また、17歳と20～29歳では、「職業技術・資格に関すること」が２番目に多く、30～39歳では、「育児・教育に関すること」が他の年齢に比べて多くなっており、年齢層の生活課題に直結したニーズがあることもうかがえます。（一般調査 問９〈19ページ〉・問18〈36ページ〉）

小中学生が学んでみたいもの、参加してみたいものとしては、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が最も多くなっているとともに、「将来の仕事・職業に関するもの」が２割台後半となっています。また、小学５年生では、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が32.9%と２番目に多く、デジタル機器への関心の高さがうかがえます。（小中学生調査 問11〈89ページ〉）

（３）生涯学習活動を通じて得た知識や経験の活用について

生涯学習活動で身につけた知識や経験の活用状況について、一般調査では、「人生を豊かにするために生かしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、「日常の生活や地域での活動に生かしている」が多くなっており、「特に生かしていない」は9.0%に留まっています。（一般調査 問14〈31ページ〉）

また、活用の意向についても、活用したいと「思う」「どちらかといえば思う」の合計は、70歳未満で７割を超えています。一方で、活用にあたって困っている点については、「特に困っている点はない」が最も多くなっていますが、「身近で生かせる活動を見つけられない」が19.2%、「どのような活動に生かすことができるかわからない」が16.7%と、活用する方法を見つけかねている市民が一定数みられ、身につけた知識や経験を生かせる活動や分野に関する情報の発信が必要とされていることがうかがえます。（一般調査 問15〈33ページ〉・問16〈34ページ〉）

（４）生涯学習活動の環境について

学習の手段・方法については、「ＳＮＳや動画配信サービスを利用」が34％と最も多くなっており、前回調査の13.9％に比べて増加しています。一方で、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」が20.2ポイント減少しており、インターネットを使用した学習が普及した反面、地域における活動が減少しているとも言える結果となりました。（一般調査 問11〈25ページ〉）

利用する施設などについては、「自宅（オンライン学習を除く）」が34.6％、「自宅（オンライン学習のみ）」が22.4％と自宅の割合が多くなっています。一方で、「市の学習・文化・スポーツ施設」が減少していますが、市内の施設の利用状況に関する設問では、「図書館」が42.6％、「公民館・コミュニティセンター」が22.6％となっています。また、自由回答においても自習室など学習できる場の整備に関する意見が多く見られ、引き続き公共施設における学習環境の整備も行っていく必要性がうかがえます。（一般調査 問12〈27ページ〉・問26〈48ページ〉・問31〈55ページ〉）

また、公共施設の満足度について、生涯学習団体調査と施設利用者調査では、「非常に満足している」、「おおむね満足している」の合計がいずれも８割を超えており、一定の成果は認められるものの、団体調査では施設・設備に不満を感じる理由として「老朽化が進んでいる」が多く、またエレベーターなど施設のバリアフリー化に関する意見が見られることから、施設の改修・バリアフリー化などが求められていることがうかがえます。（団体調査 問４〈59ページ〉・問５〈59ページ〉・問16〈67ページ〉、施設利用者調査 問９〈96ページ〉）

（５）生涯学習活動に関する情報提供について

市に望む取り組みとして、「情報提供や相談機能の充実」が最も多くなっています。また、活動を行う上で困っていることとして、「生涯学習に関する十分な情報が得られない」が15.4％、活動を行っていない理由として、「十分な情報が得られない」が16.7％と、情報発信の充実・強化が求められていることがうかがえます。（一般調査 問８〈15ページ〉・問13〈29ページ〉・問30〈53ページ〉）

（６）団体の活動について

１回の活動に参加する平均の人数については、「10人未満」が最も多く、前回調査と比べて23.3ポイント増加しており、小規模の団体が増加したことがうかがえます。（団体調査 問１〈58ページ〉）

また、会員の平均年齢については、「60歳代以上」が51.4％と最も多く、次いで「50歳代」が22.9％、「40歳代」が11.4％となっており、依然として50歳代以上が中心となっていることがうかがえます。（団体調査 問２〈58ページ〉）

団体の活動上における課題について、「特に問題はない」が38.6％で最も多くなっているものの、次いで「会員が集まらない」が27.1％となっているほか、自由回答においては高齢化で人が少なくなっているという意見があり、会員の確保が課題となっていることがうかがえます。（団体調査 問11〈63ページ〉・問16〈67ページ〉）

（７）企業・事業所について

福利厚生・余暇対策等の取り組みについて、「特に行っていない」が68.0％と、前回調査に比べて15.4ポイント増加しています。また、従業員が職業能力の開発のために休暇を取得できる制度については、「設けている」が36.0％、「現在は設けていないが、導入を検討中」が20.0％となっています。（事業所調査 問５〈70ページ〉・問９〈72ページ〉）

福利厚生・余暇対策として所有している施設については、「あまり稼働していない」が24.0％、「ほとんど稼働していない」が32.0％となっていますが、施設の地域への開放については、「検討していきたい」が12.0％に留まり、「従業員による利用に限定したい」が36.0％となっています。一方、一般調査では、市内に所在する企業や事業所に期待することとして、「施設や設備を地域住民に開放する」が35.1％と最も多くなっており、市民の需要と事業所の意向に違いがあることがうかがえます。（事業所調査 問６〈70ページ〉・問７〈71ページ〉、一般調査 問23〈44ページ〉）

（8）小中学生の生活実態について

１日に行っている活動について、「インターネットを利用する」を１時間以上行っていると回答した割合は、小学５年生で67.9%、中学２年生で94.6%となっており、小中学生ともに前回調査に比べて大幅に多くなっています。また、「メール・ライン及びＳＮＳ等で友達とやりとりする」に「ほとんどしない」と回答した割合は、小中学生ともに前回調査に比べて減少しており、以前よりもインターネットやＳＮＳなどのオンラインツールを使用する機会が増えたことがうかがえます。さらに、学んでみたいものについて、小学５年生では「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が32.9%で２番目に関心が高い結果となっています。(小中学生調査 問４〈79ページ〉・問11〈89ページ〉)

放課後や休みの日に過ごす場所については、小中学生ともに「自分の家」が最も多くなっていますが、小学５年生では「公園・児童遊園地」が45.7%、「児童館」が22.4%と、一定数公共施設の利用があり、公共施設を利用している小学生に向けたアプローチや、生涯学習のメニューを検討する重要性がうかがえます。また、児童館・公民館・図書館・博物館・体育館・陸上競技場などで行うイベントや教室への参加状況については、小学５年生では58.5%で半数を超えているのに対して中学２年生では33.8%となっており、中学生向けのイベントを拡充させる必要性がうかがえます。(小中学生調査 問６〈83ページ〉・問８〈86ページ〉)

中学２年生では、放課後や休みの日の過ごし方として、「学校のクラブ活動・部活動に参加する」が46.6%、放課後や休みの日に過ごす場所として、「学校」が29.1%と、学校が主な活動の場の一つになっています。一方、イベントや教室に参加するきっかけについては、中学２年生では「学校の掲示版をみて」、「先生に教えてもらって」、「学校からの配付物をみて」といった学校起点の項目の回答割合は低調傾向にあり、改善の余地が見込まれます。このことから、学校と地域の連携を図り、地域や社会における活動への参画につなげる仕組みが求められることもうかがえます。(小中学生調査 問５〈81ページ〉・問６〈83ページ〉・問10〈88ページ〉)

（9）ＩＣＴ・生成ＡＩについて

現在、生涯学習活動を行っている方のうち、「パソコン・インターネット・生成ＡＩ及びＩＣＴに関すること」を行っている方は16.7%となっています。また、今後希望する分野についてみると、17歳・20歳以上の市民では、「パソコン・インターネットに関すること」が22.2%、「生成ＡＩやＳＮＳ等に関すること」が14.2%、小学５年生では、「インターネットやＳＮＳ等に関すること」が26.0%、「生成ＡＩに関すること」が28.2%となっており、ＩＣＴ・生成ＡＩの学習に関するニーズが一定程度存在することがうかがえます。(一般調査 問９〈19ページ〉・問18〈36ページ〉、小中学生調査 問11〈89ページ〉)

学習の手段・方法については、「ＳＮＳや動画配信サービスを利用」が34.0%、「生成ＡＩやチャットツールを利用」が11.5%、学習の場所についても、「自宅（オンライン学習のみ)」が22.4%となっており、ＩＣＴや生成ＡＩを活用した学習も行われていることがうかがえます。(一般調査 問11〈25ページ〉・問12〈27ページ〉)

一方、情報端末やインターネットによる生涯学習における課題についてみると、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」が22.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」が20.6%となっており、利用にかかるハードルの高さが課題としてうかがえます。(一般調査 問20〈40ページ〉)

（10）子どもの教育について

子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なこととしては、「しつけやマナーを教えること」が52.7%、「豊かな心を育むこと」が43.2%と多くなっており、習慣の確立や豊かな情操を育むことが家庭教育で重要視されていることがうかがえます。（一般調査 問24〈46ページ〉）

また、家庭の教育力を向上させるために市が力を入れるべき点としては、「仕事と家庭の両立ができるように支援する」が47.3%、「子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する」が23.6%と多くなっており、子育てや家庭教育を側面から支える環境を整えることが求められていると言えます。（一般調査 問25〈47ページ〉）

（11）「地域や社会における教育」※について

「地域や社会における教育」の支援や指導への参加意向について、全体では、支援・指導を合わせた『参加したい』が28.0%、「参加したいと思わない」が36.1%となっていますが、17歳、40～49歳と50～59歳では、『参加したい』が３割を超えています。（一般調査 問21〈42ページ〉）

加えて、市の生涯学習事業に団体から講師を派遣することについては、前回調査より減少していますが、「できる」が28.6%となっています。また、講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件については、「曜日や時間帯」が最も多く、70.0%となっています。（団体調査 問13〈64ページ〉・問14〈65ページ〉）

総じて、教える立場、教える人のサポートの立場ともに、参加意向は一定数あることから、日時など参加しやすい条件を整える必要性がうかがえます。

※「地域や社会における教育」とは、小学校などの学校教育を除き、各地域の公民館や図書館、博物館、学校施設、スポーツ施設などを使用して、人々に対し学習やスポーツ、文化などを教えることをいいます。

（12）「人とのつながりに関する活動」※について

１年間に「人とのつながりに関する活動」に参加したかについて、一般調査では、「参加した」が26.4%、「参加していない」が68.2%となっています。（一般調査 問27〈49ページ〉）

「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由についてみると、「時間に余裕がない」が52.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が22.8%、「十分な情報が得られない」が18.3%となっており、生涯学習活動と同様、時間的な制約と必要な情報の不足が、参加への障害となっていることがうかがえます。（一般調査 問29〈51ページ〉）

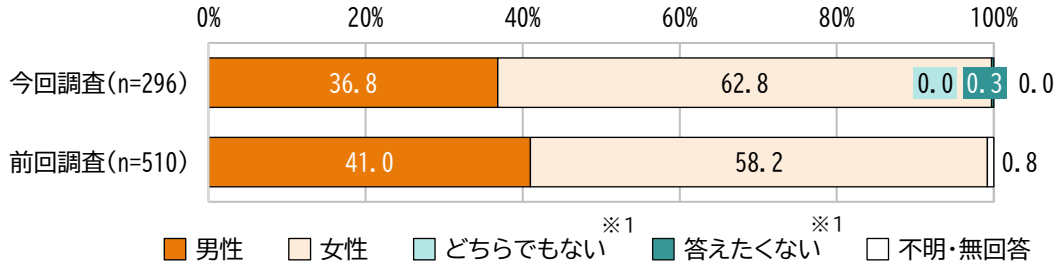
※「人とのつながりに関する活動」とは、地域活動やボランティア活動、サークル活動など、仕事や学校、家庭生活以外で、人と人とが直接関わり合う活動を指します。

第３章 一般調査の結果

（１）回答者自身について

問１ あなたの性別をお答えください。 （単数回答）

性別についてみると、「男性」が 36.8%、「女性」が 62.8%、「答えたくない」が 0.3%となっています。

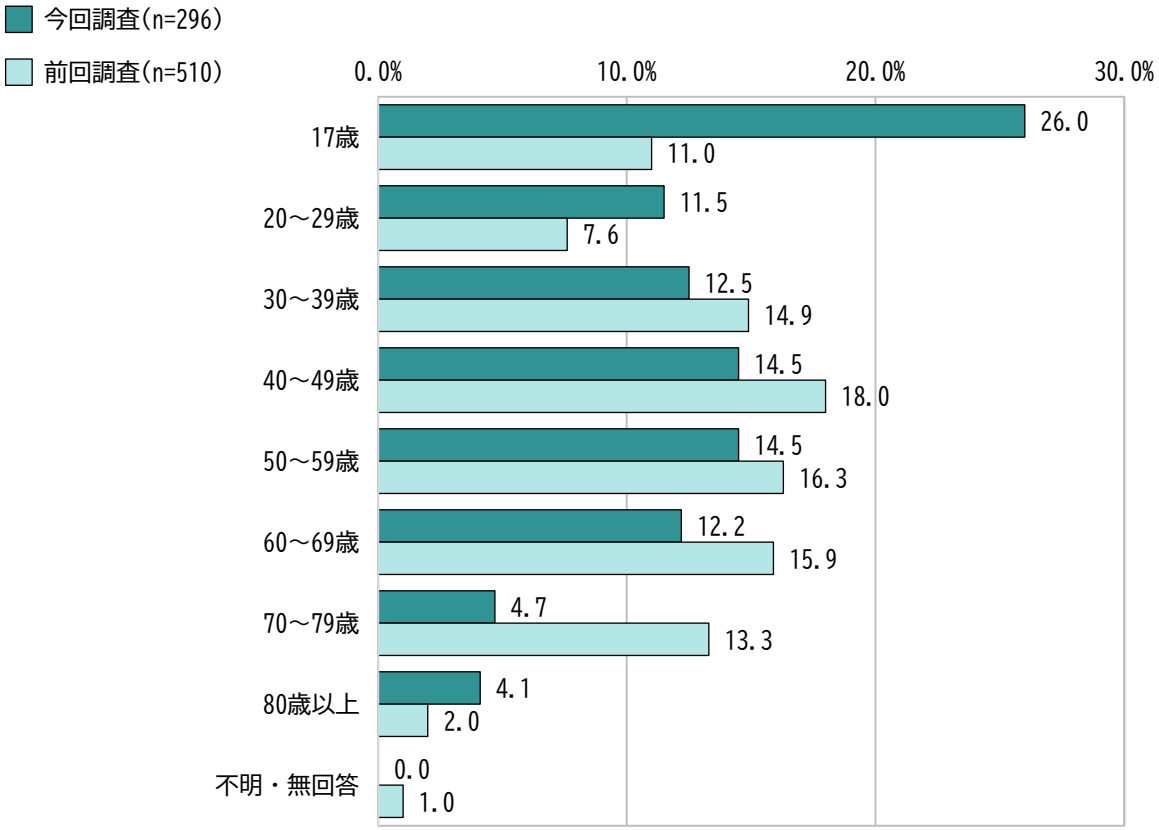


※１：今回調査の新規選択肢

問２ あなたの年齢をお答えください。 （単数回答）

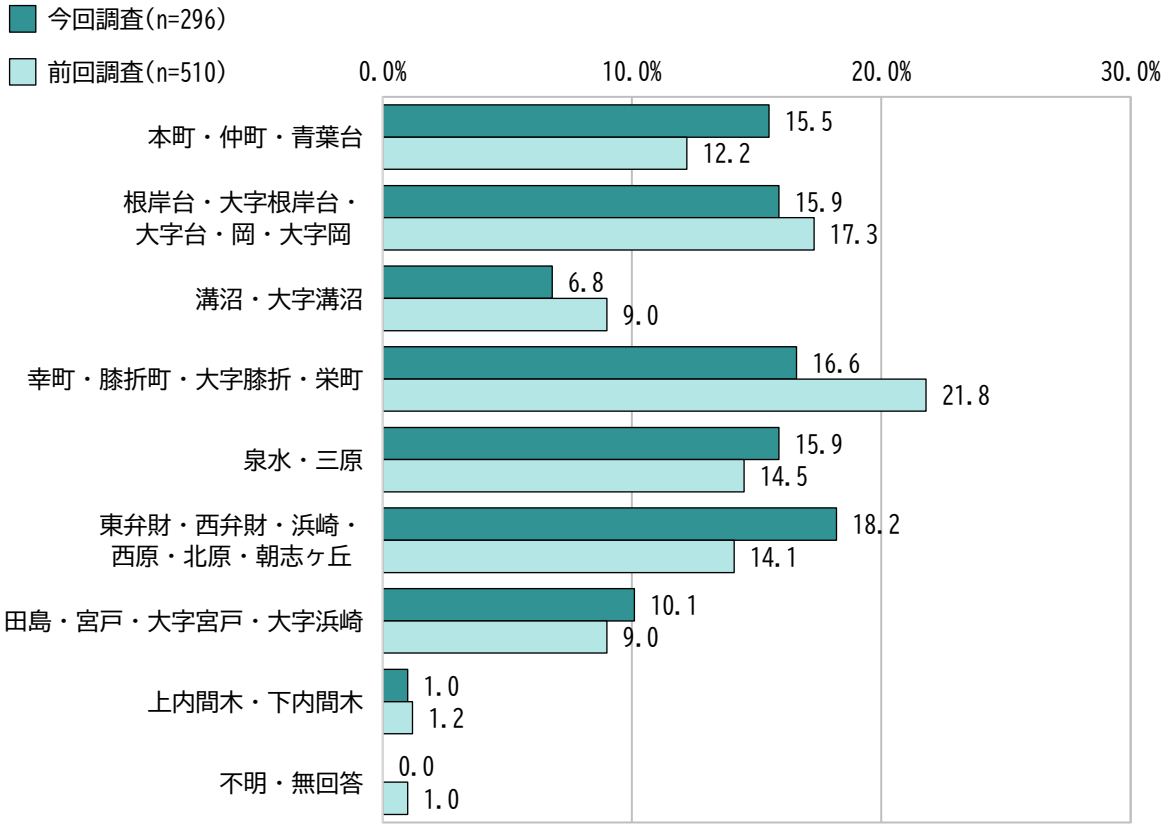
年齢についてみると、「17 歳」が 26.0%と最も多く、次いで「40～49 歳」が 14.5%、「50～59 歳」が 14.5%となっています。

前回調査と比べると、「17 歳」が 15.0 ポイント増加しています。



問３ あなたのお住まいの地区をお答えください。 （単数回答）

住んでいる地区についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が 18.2％と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が 16.6％、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「泉水・三原」が 15.9％となっています。

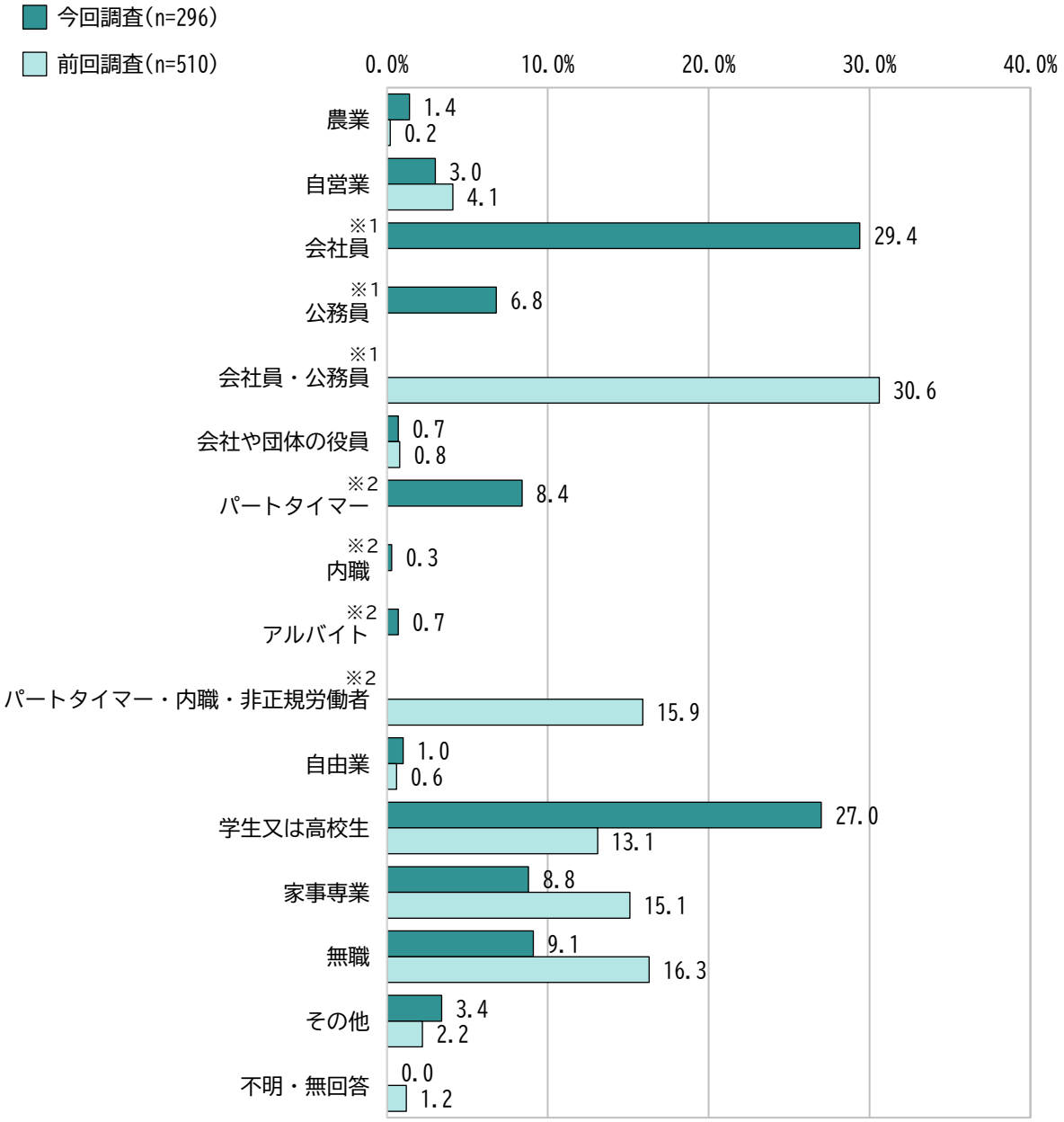


年齢別にみると、〈17 歳〉では、「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」、〈20～29 歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「溝沼・大字溝沼」、「泉水・三原」、〈30～39 歳〉では、「泉水・三原」、〈40～49 歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」、〈70～79 歳〉では、「本町・仲町・青葉台」、〈80 歳以上〉では、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が最も多くなっています。

単位：%		本町・仲町・青葉台	根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡	溝沼・大字溝沼	幸町・膝折町・大字膝折・栄町	泉水・三原	東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘	田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎	上内間木・下内間木	不明・無回答
全体(n=296)		15.5	15.9	6.8	**16.6**	15.9	**18.2**	10.1	1.0	0.0
年齢別	17歳（n=77）	13.0	**19.5**	3.9	**23.4**	14.3	14.3	9.1	2.6	0.0
	20～29歳（n=34）	**17.6**	**17.6**	**17.6**	8.8	**17.6**	**14.7**	5.9	0.0	0.0
	30～39歳（n=37）	**16.2**	**16.2**	5.4	13.5	**18.9**	13.5	**16.2**	0.0	0.0
	40～49歳（n=43）	**18.6**	**18.6**	9.3	14.0	**16.3**	14.0	9.3	0.0	0.0
	50～59歳（n=43）	11.6	**20.9**	4.7	16.3	11.6	**23.3**	9.3	2.3	0.0
	60～69歳（n=36）	**16.7**	0.0	5.6	**16.7**	**16.7**	**36.1**	8.3	0.0	0.0
	70～79歳（n=14）	**35.7**	7.1	7.1	14.3	**21.4**	7.1	7.1	0.0	0.0
	80歳以上（n=12）	0.0	**16.7**	0.0	**16.7**	**16.7**	**25.0**	**25.0**	0.0	0.0

問４　あなたの現在の職業などは、次のどれにあてはまりますか。　（単数回答）

職業などについてみると、「会社員」が 29.4％と最も多く、次いで「学生又は高校生」が 27.0％、「無職」が 9.1％となっています。



※１：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載
※２：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載

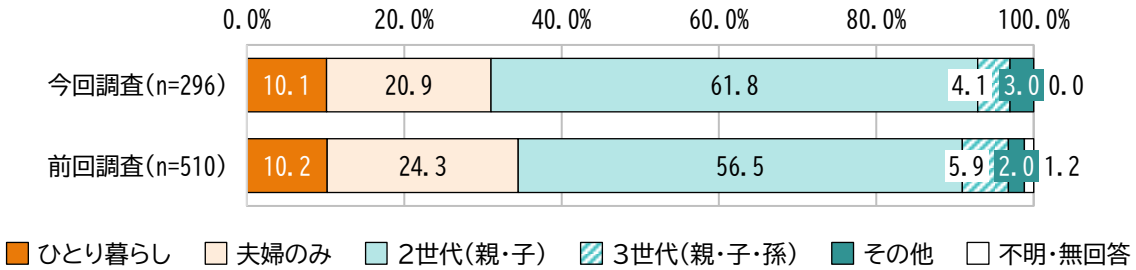
年齢別にみると、〈17 歳〉では、「学生又は高校生」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「会社員」、〈70～79 歳〉〈80 歳以上〉では、「無職」が最も多くなっています。また、〈50～59 歳〉では、「自営業」、〈70～79 歳〉では、「家事専業」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		農業	自営業	会社員	公務員	会社や団体の役員	パート・アルバイト・内職	自由業	学生又は高校生
全体(n=296)		1.4	3.0	**29.4**	6.8	0.7	8.4	0.3	0.7	1.0	**27.0**
年齢別	17歳（n=77）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	**98.7**
	20～29歳（n=34）	0.0	0.0	**38.2**	**17.6**	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	11.8
	30～39歳（n=37）	0.0	0.0	**67.6**	**10.8**	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳（n=43）	0.0	0.0	**51.2**	11.6	0.0	**16.3**	0.0	0.0	2.3	0.0
	50～59歳（n=43）	0.0	16.3	**41.9**	7.0	2.3	**18.6**	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳（n=36）	2.8	5.6	**25.0**	5.6	0.0	**19.4**	2.8	2.8	5.6	0.0
	70～79歳（n=14）	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上（n=12）	**16.7**	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%		家事専業	無職	その他	不明・無回答
全体(n=296)		8.8	9.1	3.4	0.0
年齢別	17歳（n=77）	0.0	**1.3**	0.0	0.0
	20～29歳（n=34）	5.9	11.8	8.8	0.0
	30～39歳（n=37）	**10.8**	0.0	2.7	0.0
	40～49歳（n=43）	**16.3**	0.0	2.3	0.0
	50～59歳（n=43）	9.3	2.3	2.3	0.0
	60～69歳（n=36）	11.1	11.1	8.3	0.0
	70～79歳（n=14）	**28.6**	**64.3**	0.0	0.0
	80歳以上（n=12）	8.3	**66.7**	8.3	0.0

問５ あなたの現在の世帯の家族構成をお答えください。 （単数回答）

世帯の家族構成についてみると、「２世代（親・子）」が 61.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 20.9%、「ひとり暮らし」が 10.1%となっています。

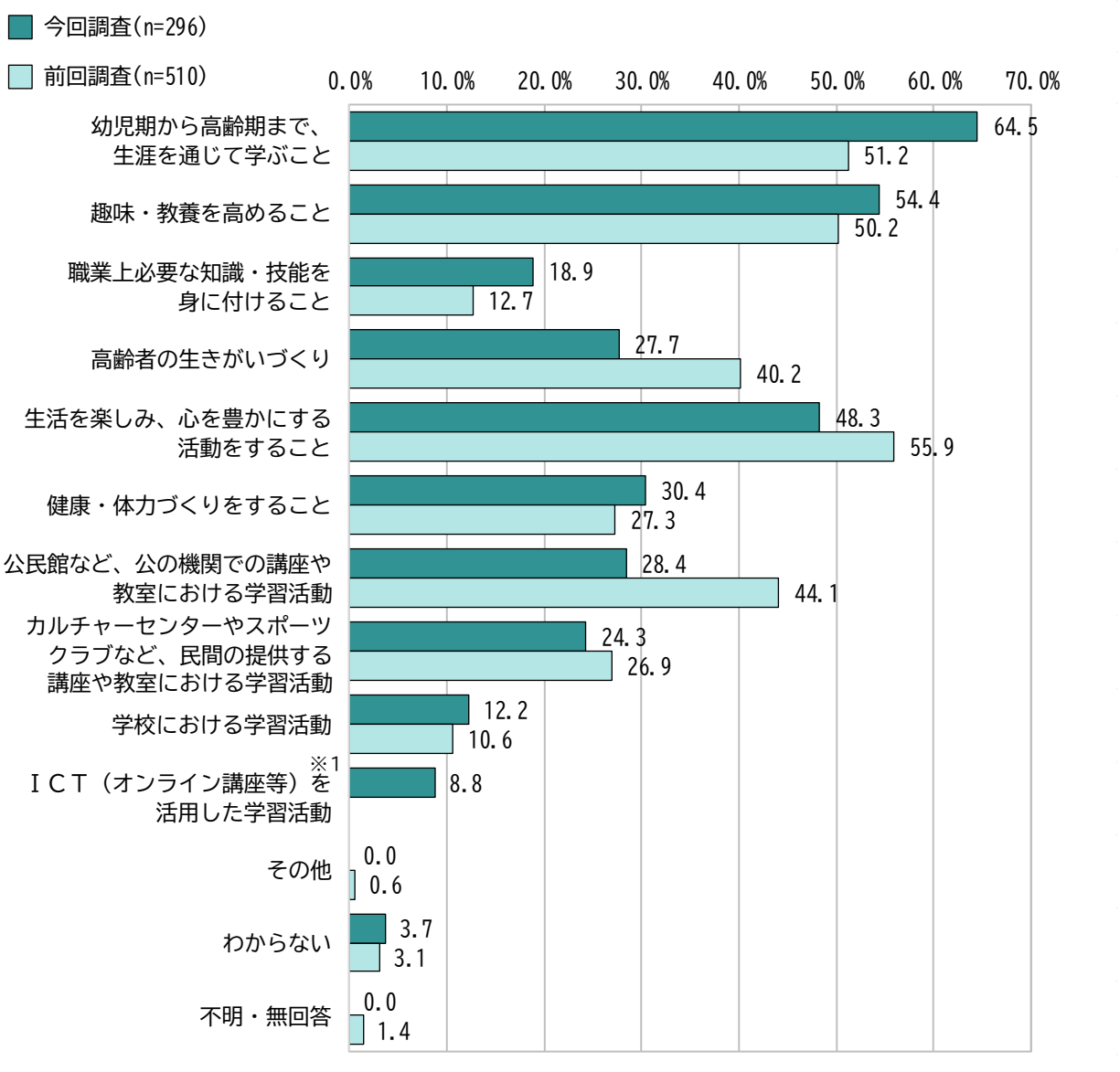


（２）生涯学習活動の状況について

問６ 生涯学習という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。 （複数回答）

生涯学習という言葉のイメージについてみると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が 64.5%と最も多く、次いで「趣味・教養を高めること」が 54.4%、「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をすること」が 48.3%となっています。

前回調査と比べると、「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと」が 13.3 ポイント増加しており、「高齢者の生きがいづくり」、「公民館など、公の機関での講座や教室における学習活動」が減少しています。



※１：今回調査の新規選択肢

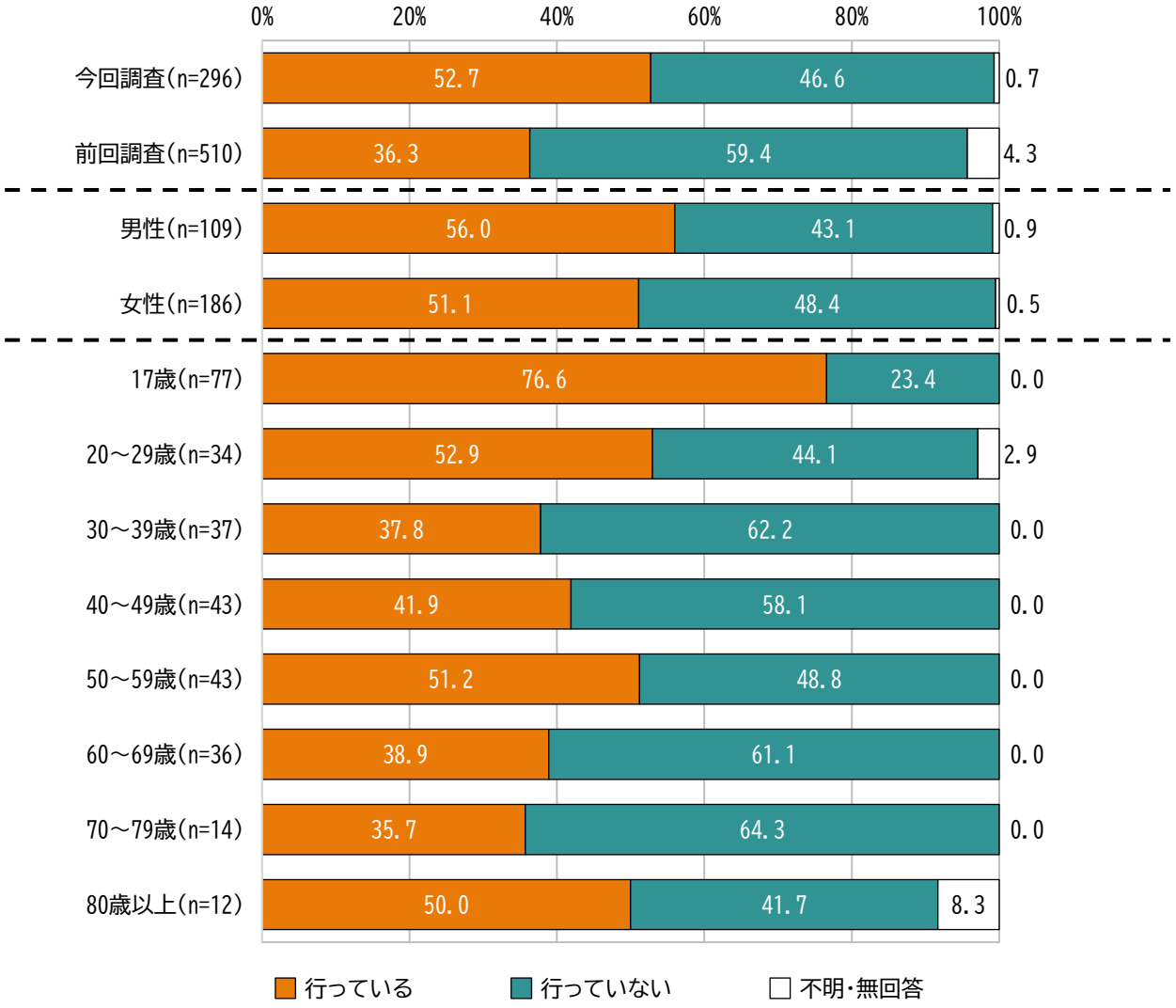
問７　この１年くらいの間に、「生涯学習活動」を行いましたか。学生の場合、学校での授業は除きますが、学校の部活動やサークル活動は含まれます。　（単数回答）

この１年間に「生涯学習活動」を行っているかについて見ると、「行っている」が 52.7%、「行っていない」が 46.6%となっています。

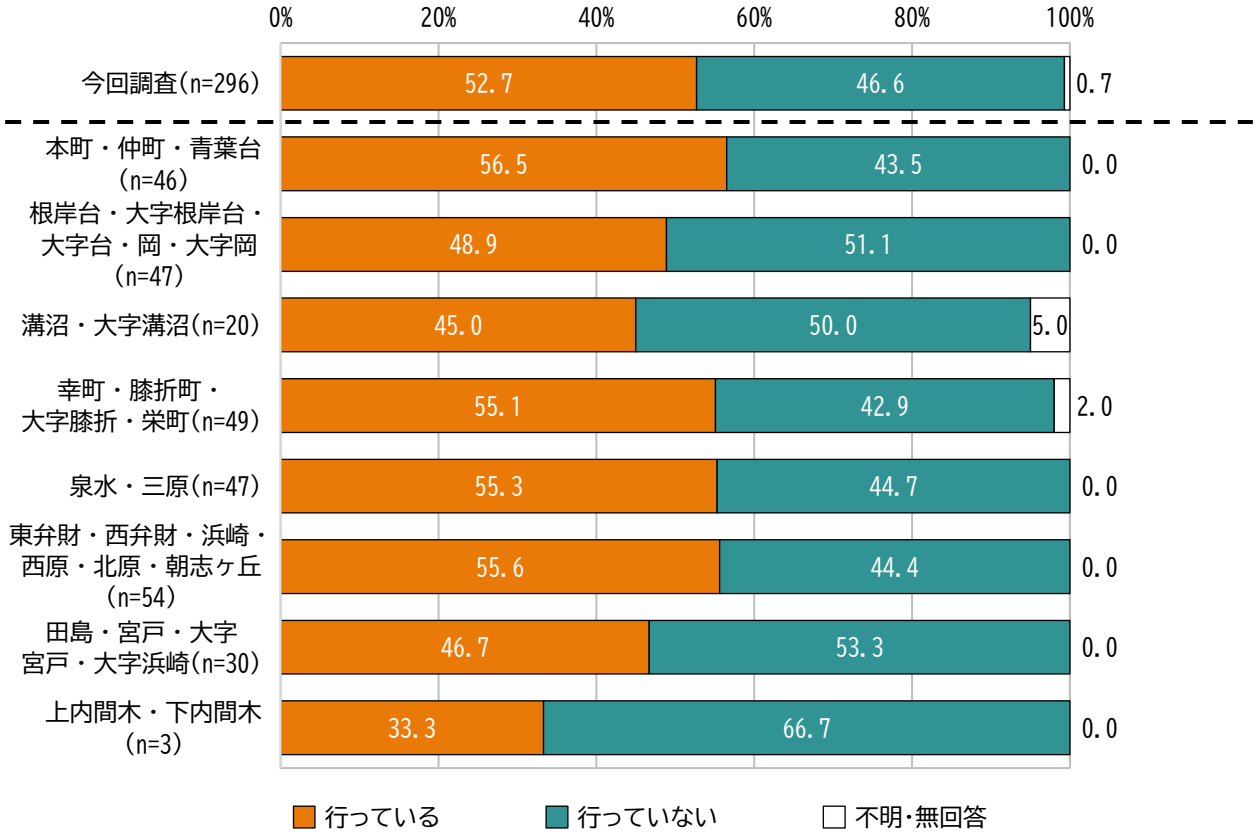
前回調査と比べると、「行っている」が 16.4 ポイント増加しています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〈17 歳〉〈20～29 歳〉〈50～59 歳〉〈80 歳以上〉では、「行っている」、〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈60～69 歳〉〈70～79 歳〉では、「行っていない」が最も多くなっています。



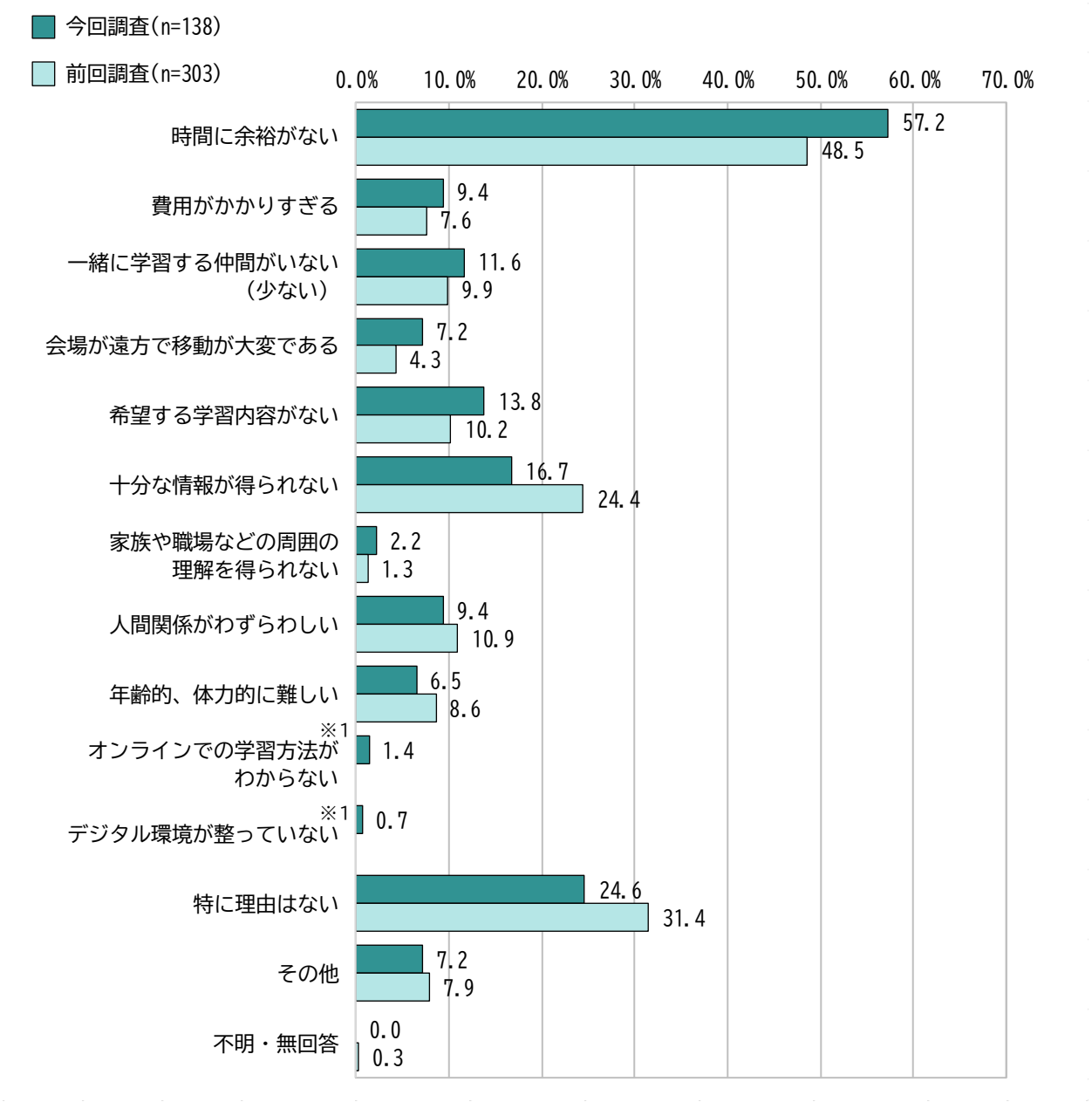
地区別にみると、〈本町・仲町・青葉台〉〈幸町・膝折町・大字膝折・栄町〉〈泉水・三原〉〈東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘〉では、「行っている」、〈根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡〉〈溝沼・大字溝沼〉〈田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎〉〈上内間木・下内間木〉では、「行っていない」が最も多くなっています。



問７で「行っていない」と回答した方におたずねします。

問８ 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。 （複数回答）

生涯学習活動を行っていない理由についてみると、「時間に余裕がない」が 57.2％と最も多く、次いで「特に理由はない」が 24.6％、「十分な情報が得られない」が 16.7％となっています。



※１：今回調査の新規選択肢

性別にみると、「時間に余裕がない」では、18.6 ポイント女性が男性を上回っています。また、「特に理由はない」では、10.8 ポイント男性が女性を上回っています。

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「特に理由はない」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79 歳〉では、「会場が遠方で移動が大変である」、〈80 歳以上〉では、「年齢的・体力的に難しい」が最も多くなっています。また、〈60～69 歳〉では、「十分な情報が得られない」が他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		時間に余裕がない	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間がいない（少ない）	会場が遠方で移動が大変である	希望する学習内容がない	十分な情報が得られない	家族や職場などの周囲の理解を得られない	人間関係がわずらわしい	年齢的・体力的に難しい	オンラインでの学習方法がわからない	デジタル環境が整っていない
全体(n=138)		**57.2**	9.4	11.6	7.2	13.8	16.7	2.2	9.4	6.5	1.4	0.7
性別	男性（n=47）	**44.7**	10.6	8.5	6.4	14.9	12.8	4.3	12.8	10.6	2.1	0.0
	女性（n=90）	**63.3**	8.9	13.3	7.8	13.3	18.9	1.1	7.8	4.4	1.1	1.1
年齢別	17歳（n=18）	**27.8**	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	20～29歳（n=15）	**53.3**	20.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳（n=23）	**69.6**	8.7	8.7	8.7	17.4	**21.7**	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳（n=25）	**88.0**	4.0	16.0	8.0	8.0	**20.0**	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0
	50～59歳（n=21）	**57.1**	19.0	14.3	9.5	**23.8**	9.5	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0
	60～69歳（n=22）	**72.7**	9.1	9.1	0.0	18.2	**40.9**	4.5	9.1	4.5	4.5	0.0
	70～79歳（n=9）	0.0	0.0	0.0	**33.3**	**22.2**	0.0	0.0	11.1	**22.2**	11.1	0.0
	80歳以上（n=5）	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	**60.0**	0.0	0.0

単位：%		特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=138)		**24.6**	7.2	0.0
性別	男性（n=47）	**31.9**	6.4	0.0
	女性（n=90）	**21.1**	7.8	0.0
年齢別	17歳（n=18）	**72.2**	0.0	0.0
	20～29歳（n=15）	**26.7**	13.3	0.0
	30～39歳（n=23）	17.4	4.3	0.0
	40～49歳（n=25）	4.0	4.0	0.0
	50～59歳（n=21）	19.0	9.5	0.0
	60～69歳（n=22）	18.2	9.1	0.0
	70～79歳（n=9）	**22.2**	11.1	0.0
	80歳以上（n=5）	**40.0**	20.0	0.0

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「特に必要がない」が 45.5%と最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が 29.1%、「仕事が忙しくて時間がない」が 27.5%、県調査では、「仕事が忙しくて時間がない」が 35.6%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」が 22.7%、「きっかけがつかめない」が 20.3%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、いずれの調査においても時間的な制約が上位となっています。また、「希望する学習内容がない」、「十分な情報が得られない」では、市調査が国調査を上回っています。

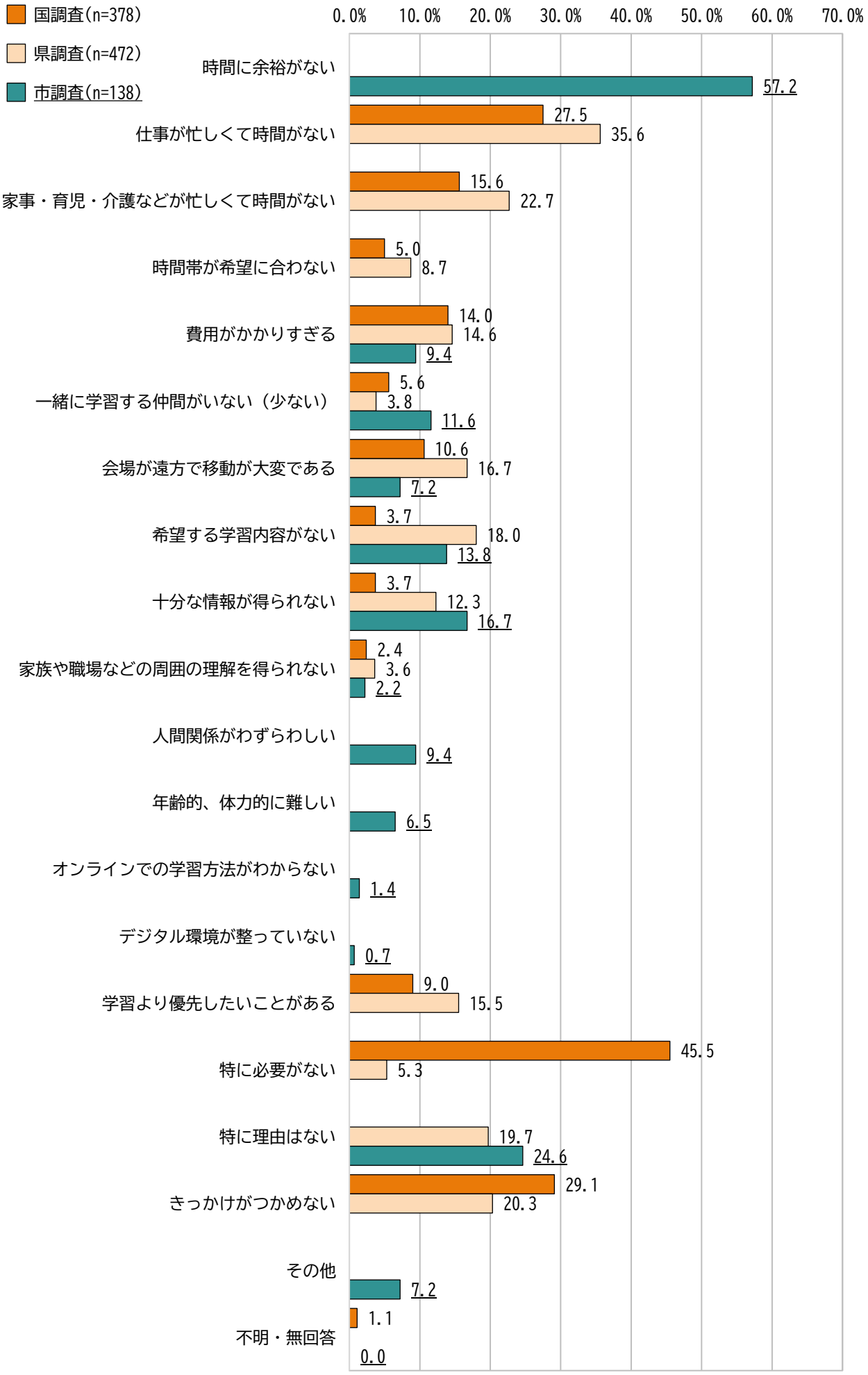
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設問・選択肢

（国）	学習していない理由は何ですか。 （複数回答）
選択肢	・特に必要がない　・きっかけがつかめない　・仕事が忙しくて時間がない ・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない　・学習するための費用がかかる ・身近なところに学習する場がない　・学習より優先したいことがある ・一緒に学習する仲間がいない　・時間帯が希望に合わない ・学習したい内容の講座が開設されていない　・学習するのに必要な情報が入手できない ・学習しても職場などから評価されない

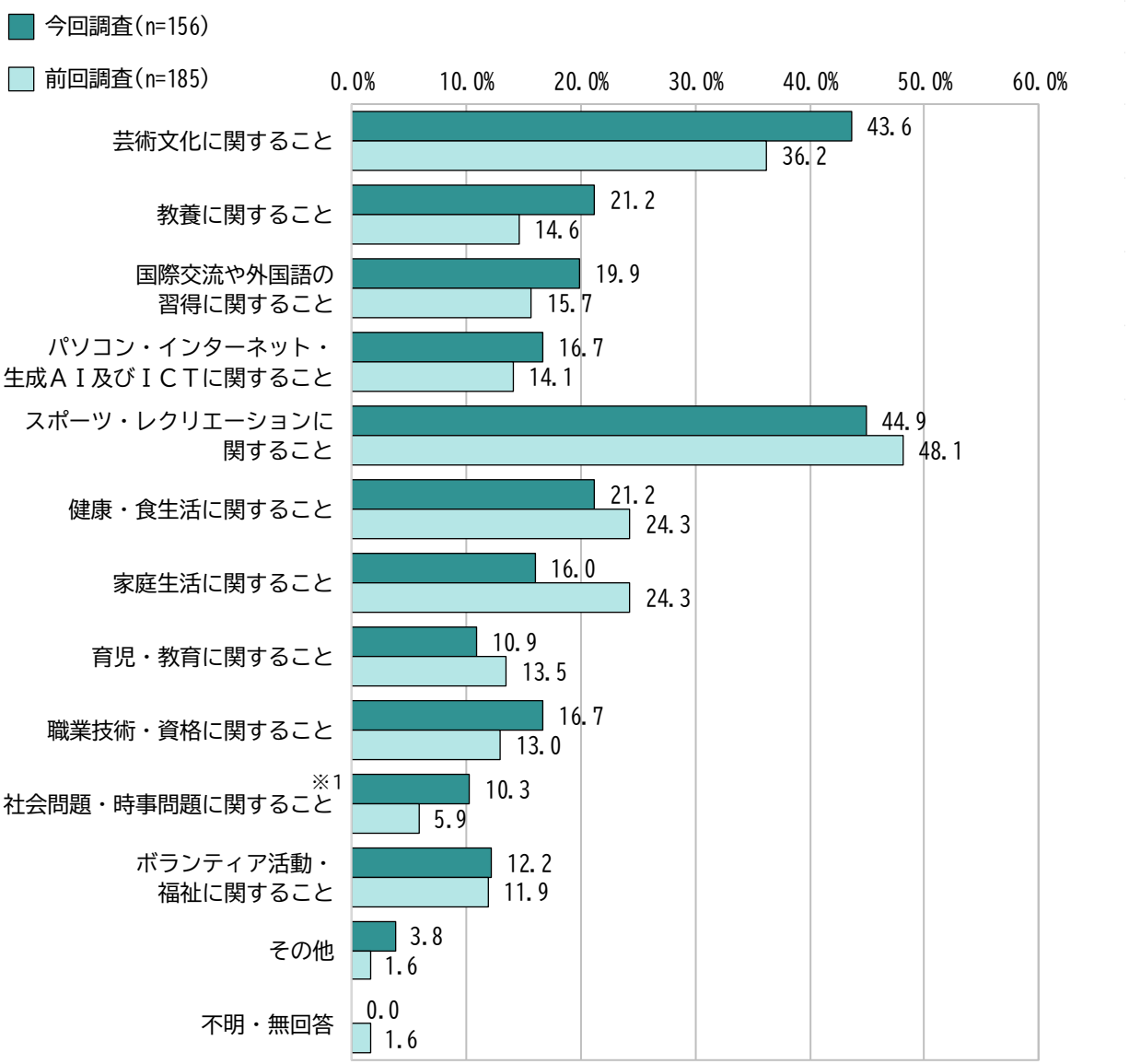
（県）	あなたがこの１年くらいの間に生涯学習活動をしなかった理由は何ですか。 （複数回答）
選択肢	・仕事が忙しくて時間がない　・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない ・きっかけがつかめない　・学習したい内容が見つからない ・身近なところに学習する場・環境がない　・他に優先したいことがある ・学習するための費用がかかる ・学習するのに必要な情報（内容・場所・時間・費用など）が入手できない ・時間帯が希望に合わない　・生涯学習活動をする必要がない　・一緒に学習する仲間がいない ・学習しても職場などから評価されない　・その他　・理由は特にない


国調査(n=378)
県調査(n=472)
市調査(n=138)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
時間に余裕がない
57.2
仕事が忙しくて時間がない
27.5
35.6
家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
15.6
22.7
時間帯が希望に合わない
5.0
8.7
費用がかかりすぎる
14.0
14.6
9.4
一緒に学習する仲間がいない（少ない）
5.6
3.8
11.6
会場が遠方で移動が大変である
10.6
16.7
7.2
希望する学習内容がない
3.7
18.0
13.8
十分な情報が得られない
3.7
12.3
16.7
家族や職場などの周囲の理解を得られない
2.4
3.6
2.2
人間関係がわずらわしい
9.4
年齢的、体力的に難しい
6.5
オンラインでの学習方法がわからない
1.4
デジタル環境が整っていない
0.7
学習より優先したいことがある
9.0
15.5
特に必要がない
45.5
5.3
特に理由はない
19.7
24.6
きっかけがつかめない
29.1
20.3
その他
7.2
不明・無回答
1.1
0.0

問９～問16は、問７で「行っている」と回答した方におたずねします。

問９　この１年くらいの間に、どのような生涯学習をしたことがありますか。　（複数回答）

１年間にどのような生涯学習をしたかについてみると、「スポーツ・レクリエーションに関すること」が 44.9％と最も多く、次いで「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」が 43.6％、「教養に関すること（文学・歴史・郷土史・文化財など）」、「健康・食生活に関すること」が 21.2％となっています。



※１：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関すること」

年齢別にみると、〈17 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など)」、〈20～29 歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、「職業技術・資格に関すること」、〈30～39 歳〉では、「パソコン・インターネット・生成ＡＩ及びＩＣＴに関すること」、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、「健康・食生活に関すること」、〈40～49 歳〉〈70～79 歳〉では、「スポーツ・レクリエーションに関すること」、〈80 歳以上〉では、「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。

単位：%		芸術文化に関すること	教養に関すること	国際交流や外国語の習得に関すること	パソコン・インターネット・生成ＡＩ及びＩＣＴに関すること	スポーツ・レクリエーションに関すること	健康・食生活に関すること	家庭生活に関すること	育児・教育に関すること	職業技術・資格に関すること	社会問題・時事問題に関すること	ボランティア活動・福祉に関すること
全体(n=156)		**43.6**	21.2	19.9	16.7	**44.9**	21.2	16.0	10.9	16.7	10.3	12.2
年齢別	17歳（n=59）	**52.5**	18.6	22.0	18.6	**44.1**	11.9	16.9	8.5	13.6	13.6	13.6
	20～29歳（n=18）	27.8	**33.3**	11.1	22.2	**38.9**	**33.3**	22.2	5.6	**38.9**	16.7	5.6
	30～39歳（n=14）	28.6	**35.7**	28.6	**42.9**	**42.9**	**42.9**	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1
	40～49歳（n=18）	**33.3**	11.1	27.8	0.0	**50.0**	22.2	11.1	11.1	27.8	0.0	5.6
	50～59歳（n=22）	**59.1**	4.5	9.1	9.1	**50.0**	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	22.7
	60～69歳（n=14）	**42.9**	28.6	28.6	7.1	**35.7**	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0
	70～79歳（n=5）	0.0	20.0	0.0	20.0	**80.0**	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	**40.0**
	80歳以上（n=6）	**50.0**	**50.0**	16.7	16.7	33.3	**66.7**	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7

単位：%		その他	不明・無回答
全体(n=156)		3.8	0.0
年齢別	17歳（n=59）	3.4	0.0
	20～29歳（n=18）	11.1	0.0
	30～39歳（n=14）	7.1	0.0
	40～49歳（n=18）	0.0	0.0
	50～59歳（n=22）	4.5	0.0
	60～69歳（n=14）	0.0	0.0
	70～79歳（n=5）	0.0	0.0
	80歳以上（n=6）	0.0	0.0

【参考】国調査と県調査との比較※

国調査では、「職業技術・資格に関すること」が 40.1%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が 31.3%、「家庭生活に関すること」が 23.1%、県調査では、「趣味に関するもの」が 37.5%と最も多く、次いで「健康やスポーツに関すること」が 32.7%、「教養に関すること」が 32.6%となっています。また、活動を行わなかった割合は、国調査で 24.3%、県調査で 24.0%となっています。

国調査・県調査と市調査を比べると、「芸術文化に関すること」では、国調査・県調査を上回っていますが、「教養に関すること」では県調査を、「職業技術・資格に関すること」では国調査を下回っています。

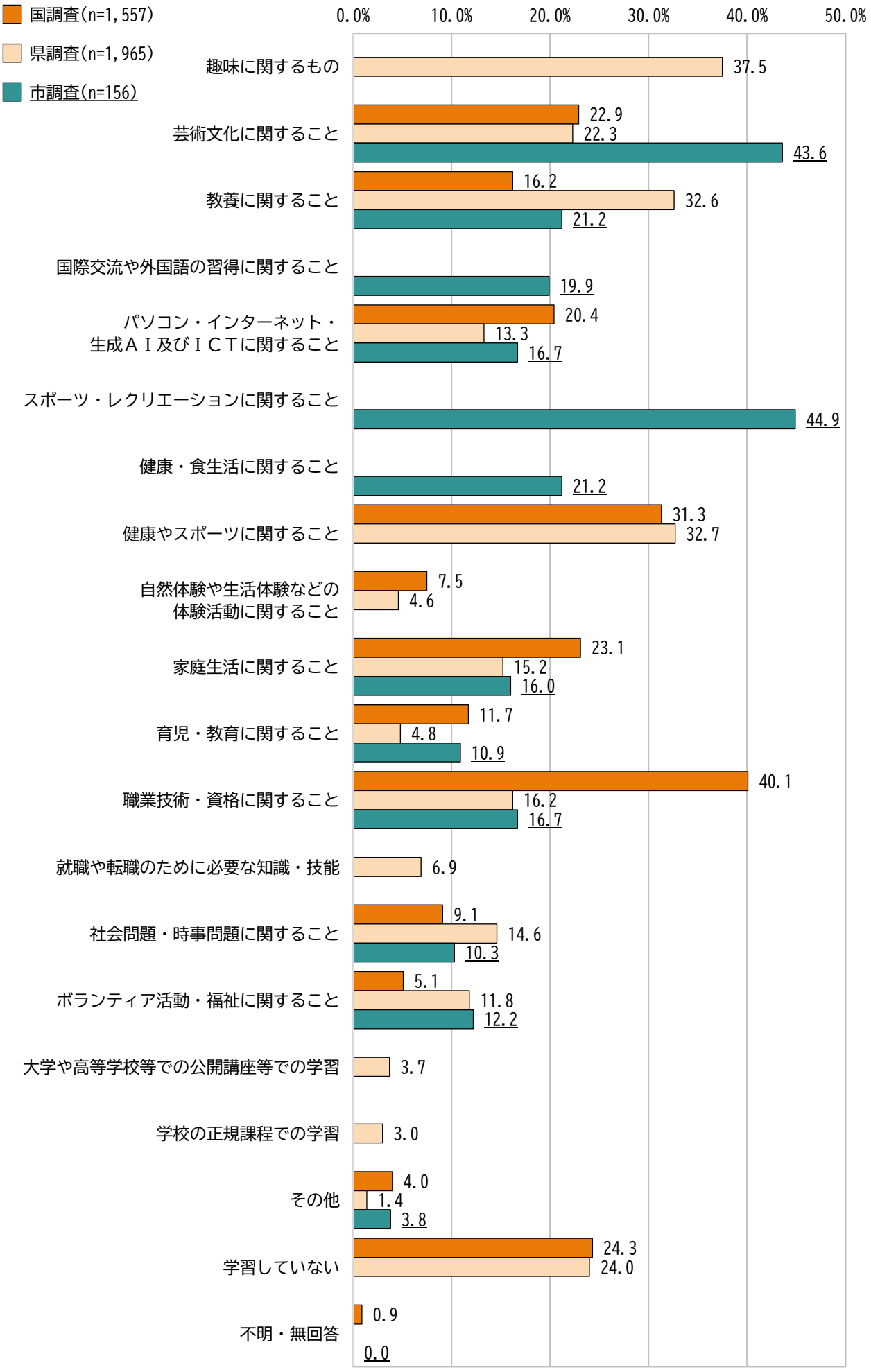
グラフは次ページに掲載しています。

※国調査・県調査で、市調査と類似の選択肢を同じ選択肢として比較しています。
国調査・県調査の選択肢は下記のとおりです。

【参考】国・県の設問・選択肢

（国）	あなたは、この１年くらいの間に、月に１日以上どのようなことを学習しましたか。　（複数回答）
選択肢	・仕事に必要な知識・技能や資格に関すること　・健康やスポーツに関すること ・料理や裁縫などの家庭生活に関すること　・音楽や美術、レク活動などの趣味に関すること ・インターネットの知識・技能に関すること　・文学や歴史、語学などの教養に関すること ・育児や教育に関すること　・人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること ・自然体験や生活体験などの体験活動に関すること　・ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること ・その他　・学習していない

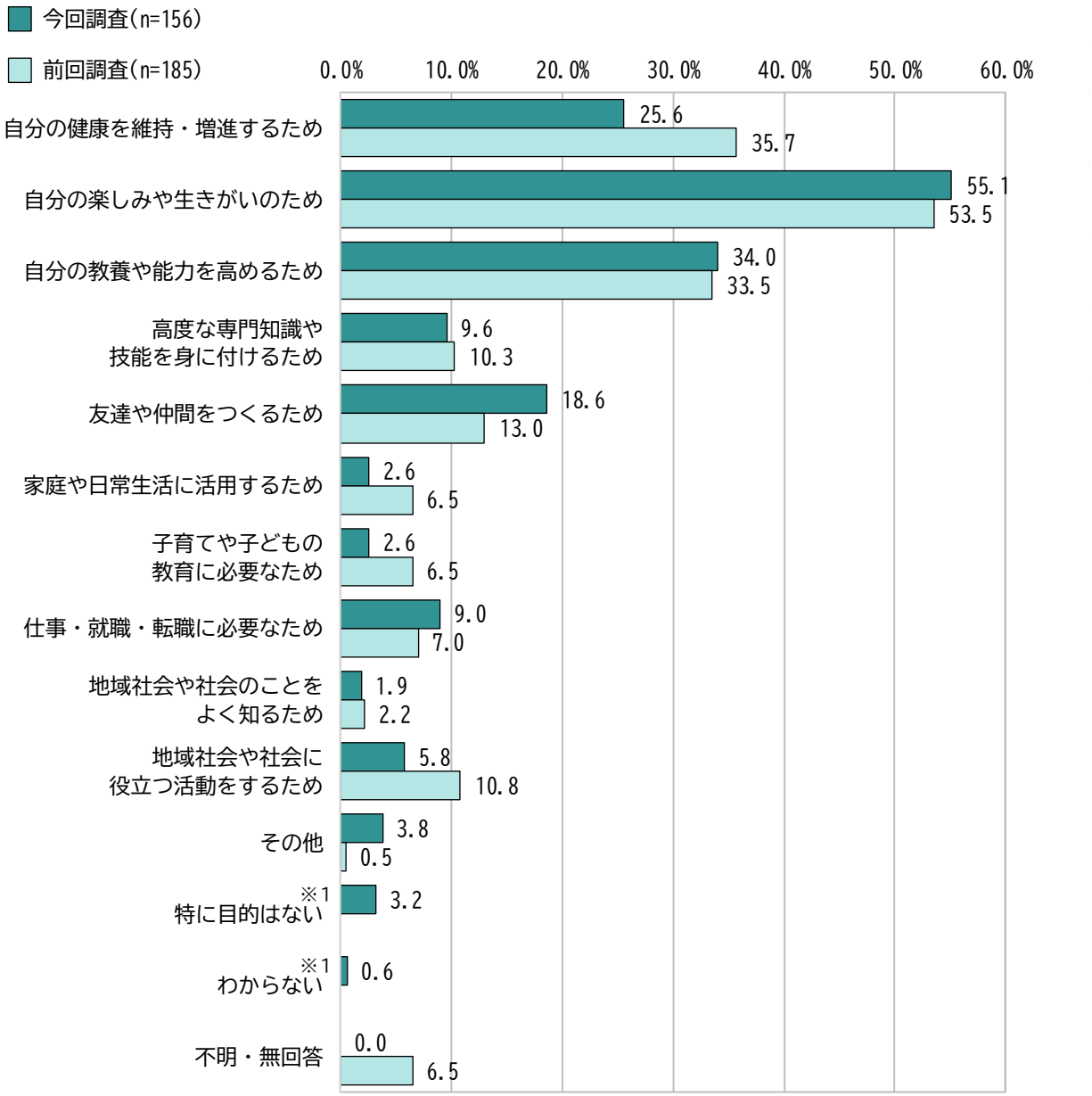
（県）	あなたは、この１年くらいの間にどのような生涯学習活動をしましたか。　（複数回答）
選択肢	・趣味に関するもの（映画鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など） ・スポーツ・健康に関するもの（各種スポーツ、ジョギング、水泳、ダンス、健康法、医学、栄養など） ・教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など） ・芸術・文化に関するもの（音楽、美術、華道、茶道、書道など） ・職業において必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など） ・家庭生活に関するもの（料理、洋裁、和裁、編み物、園芸など） ・社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など） ・パソコン・インターネットに関するもの（パソコン教室、パソコン関連教室など） ・ボランティアに関するもの（ボランティア活動、ボランティア活動に向けた学習など） ・就職や転職のために必要な知識・技能（就職や転職に関係のある知識の習得や資格の取得など） ・育児・教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など） ・自然体験や生活体験に関するもの（キャンプ、野外炊飯などの体験活動） ・大学や高等学校等での公開講座等での学習 ・学校の正規課程での学習（高等・専修・各種学校、大学、大学院での講義・調査・研究など） ・生涯学習活動（上記のような活動）をしなかった　・その他


国調査(n=1,557)
県調査(n=1,965)
市調査(n=156)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
趣味に関するもの
37.5
芸術文化に関すること
22.9
22.3
43.6
教養に関すること
16.2
32.6
21.2
国際交流や外国語の習得に関すること
19.9
パソコン・インターネット・
生成ＡＩ及びＩＣＴに関すること
20.4
13.3
16.7
スポーツ・レクリエーションに関すること
44.9
健康・食生活に関すること
21.2
健康やスポーツに関すること
31.3
32.7
自然体験や生活体験などの
体験活動に関すること
7.5
4.6
家庭生活に関すること
23.1
15.2
16.0
育児・教育に関すること
11.7
4.8
10.9
職業技術・資格に関すること
40.1
16.2
16.7
就職や転職のために必要な知識・技能
6.9
社会問題・時事問題に関すること
9.1
14.6
10.3
ボランティア活動・福祉に関すること
5.1
11.8
12.2
大学や高等学校等での公開講座等での学習
3.7
学校の正規課程での学習
3.0
その他
4.0
1.4
3.8
学習していない
24.3
24.0
不明・無回答
0.9
0.0

問 10 生涯学習をはじめた目的は何ですか。　（２つまで回答）

生涯学習をはじめた目的についてみると、「自分の楽しみや生きがいのため」が 55.1%と最も多く、次いで「自分の教養や能力を高めるため」が 34.0%、「自分の健康を維持・増進するため」が 25.6%となっています。

前回調査と比べると、「自分の健康を維持・増進するため」が 10.1 ポイント減少しています。



※１：今回調査の新規選択肢

性別にみると、「自分の健康を維持・増進するため」では、14.4 ポイント男性が女性を上回っています。また、「自分の楽しみや生きがいのため」では、12.5 ポイント女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、〈17 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈80 歳以上〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉では、「自分の教養や能力を高めるため」、〈70～79 歳〉では、「自分の健康を維持・増進するため」が最も多くなっています。また、〈20～29 歳〉では、「自分の楽しみや生きがいのため」が他の年齢に比べて少なくなっています。

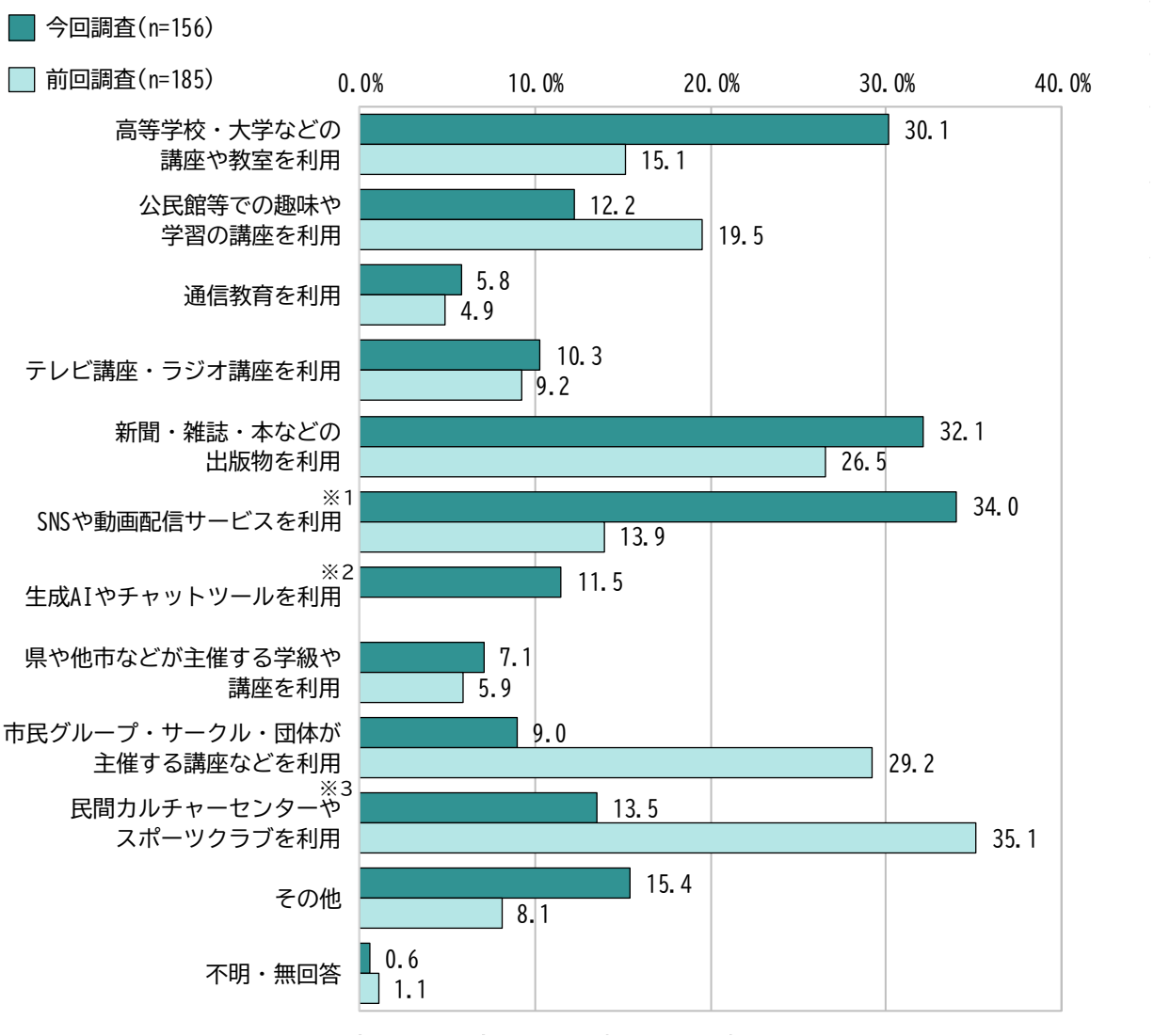
単位：%		自分の健康を維持・増進するため	自分の楽しみや生きがいのため	自分の教養や能力を高めるため	高度な専門知識や技能を身に付けるため	友達や仲間をつくるため	家庭や日常生活に活用するため	子育てや子どもの教育に必要なため	仕事・就職・転職に必要なため	地域社会や社会のことをよく知るため	地域社会や社会に役立つ活動をするため	その他
全体(n=156)		25.6	**55.1**	**34.0**	9.6	18.6	2.6	2.6	9.0	1.9	5.8	3.8
性別	男性（n=61）	**34.4**	**47.5**	32.8	11.5	21.3	1.6	1.6	8.2	1.6	8.2	0.0
	女性（n=95）	20.0	**60.0**	**34.7**	8.4	16.8	3.2	3.2	9.5	2.1	4.2	6.3
年齢別	17歳（n=59）	11.9	**52.5**	25.4	5.1	**28.8**	1.7	0.0	10.2	3.4	6.8	6.8
	20～29歳（n=18）	22.2	**27.8**	**44.4**	**27.8**	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6	11.1	5.6
	30～39歳（n=14）	28.6	**42.9**	**57.1**	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	40～49歳（n=18）	**38.9**	**72.2**	27.8	11.1	16.7	5.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
	50～59歳（n=22）	**40.9**	**59.1**	**40.9**	9.1	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
	60～69歳（n=14）	14.3	**78.6**	**35.7**	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	70～79歳（n=5）	**80.0**	**60.0**	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	80歳以上（n=6）	**50.0**	**66.7**	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

単位：%		特に目的はない	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		3.2	0.6	0.0
性別	男性（n=61）	3.3	1.6	0.0
	女性（n=95）	3.2	0.0	0.0
年齢別	17歳（n=59）	8.5	1.7	0.0
	20～29歳（n=18）	0.0	0.0	0.0
	30～39歳（n=14）	0.0	0.0	0.0
	40～49歳（n=18）	0.0	0.0	0.0
	50～59歳（n=22）	0.0	0.0	0.0
	60～69歳（n=14）	0.0	0.0	0.0
	70～79歳（n=5）	0.0	0.0	0.0
	80歳以上（n=6）	0.0	0.0	0.0

問 11 どのような手段・方法で学習していますか。　（複数回答）

学習の手段・方法についてみると、「ＳＮＳや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」が 34.0％と最も多く、次いで「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が 32.1％、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」が 30.1％となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」、「ＳＮＳや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」が増加しており、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」、「民間カルチャーセンターやスポーツクラブを利用（個人指導を含む）」が減少しています。



※１：前回調査は「インターネットを利用」
※２：今回調査の新規選択肢
※３：前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブを利用」、「個人による指導を利用」の合算

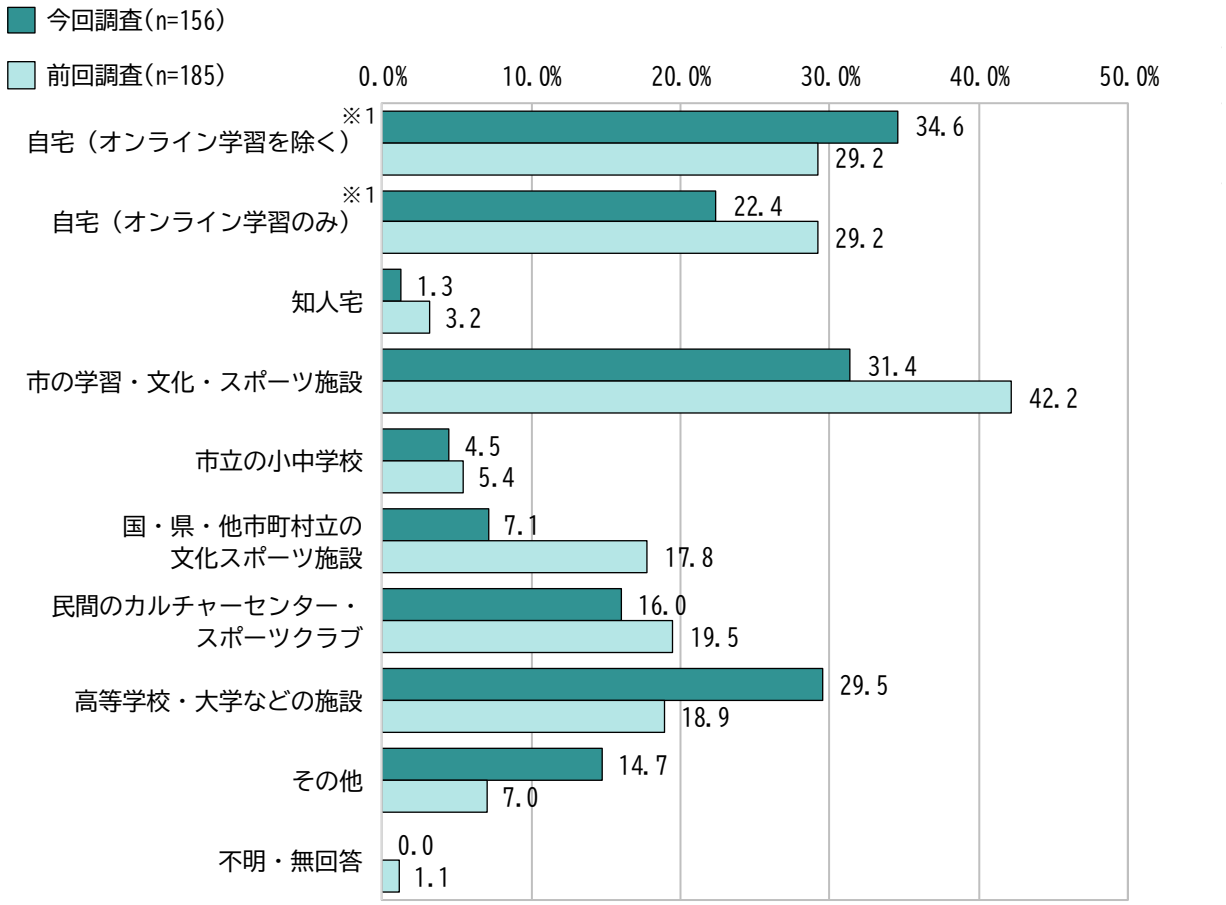
年齢別にみると、〈17 歳〉では、「高等学校・大学などの講座や教室を利用」、〈20～29 歳〉〈40～49 歳〉〈80 歳以上〉では、「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」、〈30～39 歳〉〈50～59 歳〉では、「ＳＮＳや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」、〈60～69 歳〉では、「公民館等での趣味や学習の講座を利用」、〈70～79 歳〉では、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用」が最も多くなっています。また、〈40～49 歳〉では、「通信教育を利用」が他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		高等学校・大学などの講座や教室を利用	公民館等での趣味や学習の講座を利用	通信教育を利用	テレビ講座・ラジオ講座を利用	新聞・雑誌・本などの出版物を利用	ＳＮＳや動画配信サービスを利用	生成ＡＩやチャットツールを利用	県や他市などが主催する学級や講座を利用	市民グループ・サークル・団体が主催する講座などを利用	民間カルチャーセンタースポーツクラブを利用	その他	不明・無回答
全体(n=156)		30.1	12.2	5.8	10.3	**32.1**	**34.0**	11.5	7.1	9.0	13.5	15.4	0.6
年齢別	17歳（n=59）	**69.5**	6.8	5.1	8.5	16.9	**30.5**	11.9	3.4	3.4	5.1	10.2	0.0
	20～29歳（n=18）	16.7	5.6	0.0	0.0	**50.0**	**44.4**	22.2	0.0	5.6	5.6	27.8	0.0
	30～39歳（n=14）	0.0	0.0	7.1	14.3	**71.4**	**78.6**	21.4	7.1	14.3	7.1	14.3	0.0
	40～49歳（n=18）	0.0	11.1	22.2	11.1	**33.3**	**27.8**	5.6	5.6	22.2	**27.8**	16.7	0.0
	50～59歳（n=22）	9.1	18.2	4.5	22.7	**31.8**	**36.4**	13.6	18.2	4.5	22.7	27.3	0.0
	60～69歳（n=14）	7.1	**50.0**	0.0	14.3	**28.6**	21.4	0.0	7.1	0.0	21.4	7.1	0.0
	70～79歳（n=5）	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	**60.0**	**40.0**	0.0	0.0
	80歳以上（n=6）	0.0	0.0	0.0	0.0	**66.7**	0.0	0.0	**16.7**	**16.7**	**16.7**	**16.7**	16.7

問 12 生涯学習でよく利用している場所はどこですか。　（複数回答）

生涯学習でよく利用している場所についてみると、「自宅（オンライン学習を除く）」が 34.6％と最も多く、次いで「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が 31.4％、「高等学校・大学などの施設」が 29.5％となっています。

前回調査と比べると、「高等学校・大学などの施設」が 10.6 ポイント増加しており、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」、「国・県・他市町村立の文化スポーツ施設」が減少しています。



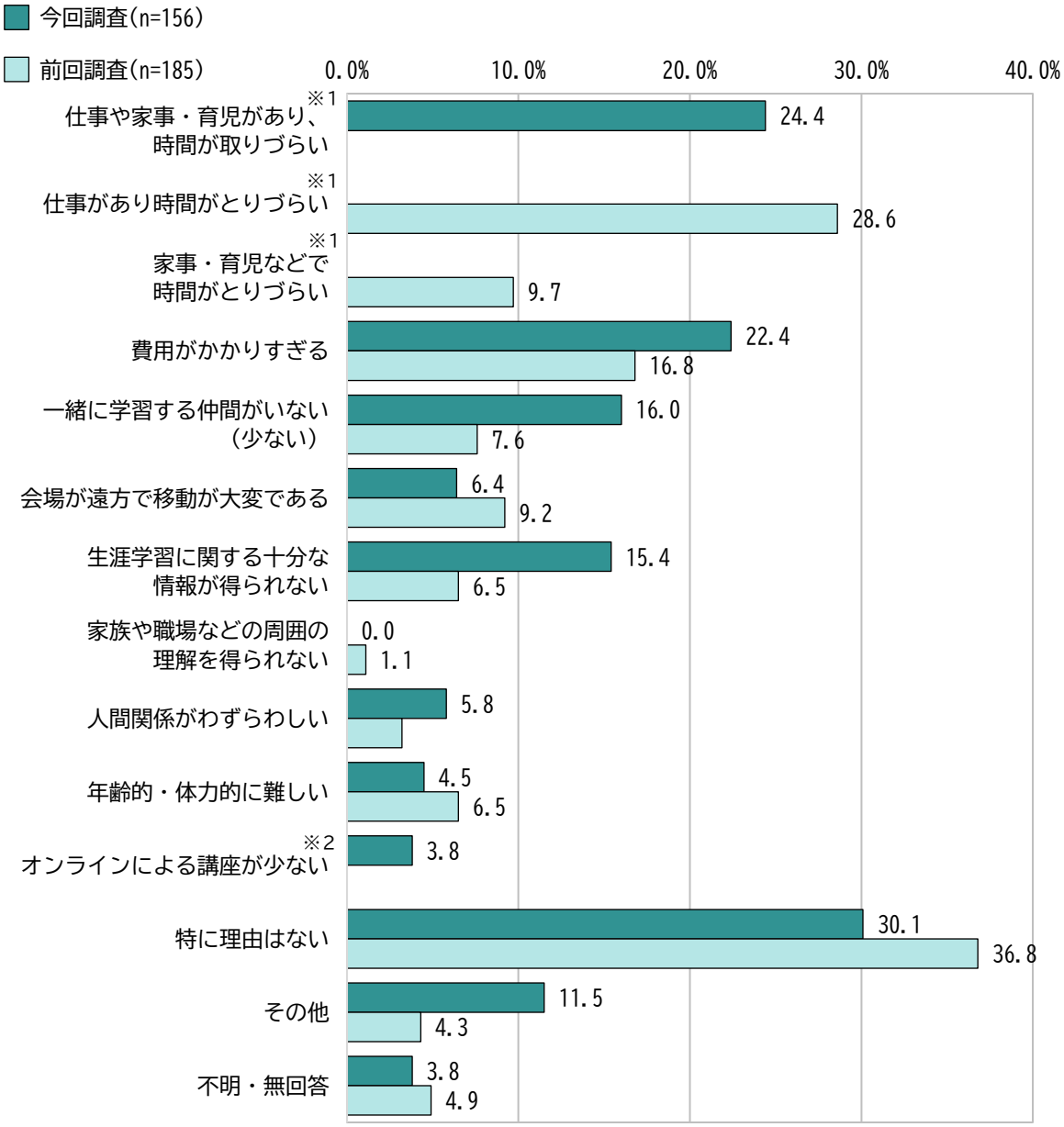
※1 ：前回調査は「自宅」

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「高等学校・大学などの施設」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、「自宅（オンライン学習のみ）」、〈40～49 歳〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈70～79 歳〉では、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」、〈80 歳以上〉では、「自宅（オンライン学習を除く）」、「市の学習・文化・スポーツ施設（公民館・博物館・図書館・総合体育館）」が最も多くなっています。また、〈30～39 歳〉では、「その他」、〈40～49 歳〉では、「市立の小中学校」、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導者先）」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		自宅（オンライン学習を除く）	自宅（オンライン学習のみ）	知人宅	市の学習・文化・スポーツ施設	市立の小中学校	国・県・他市町村立の文化スポーツ施設	民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ	高等学校・大学などの施設	その他	不明・無回答
全体(n=156)		34.6	22.4	1.3	31.4	4.5	7.1	16.0	29.5	14.7	0.0
年齢別	17歳（n=59）	35.6	8.5	1.7	10.2	5.1	6.8	6.8	69.5	5.1	0.0
	20～29歳（n=18）	44.4	44.4	0.0	33.3	0.0	5.6	11.1	16.7	22.2	0.0
	30～39歳（n=14）	50.0	50.0	0.0	28.6	0.0	7.1	21.4	0.0	35.7	0.0
	40～49歳（n=18）	44.4	27.8	0.0	27.8	16.7	5.6	33.3	0.0	22.2	0.0
	50～59歳（n=22）	22.7	31.8	4.5	54.5	4.5	9.1	22.7	9.1	18.2	0.0
	60～69歳（n=14）	7.1	14.3	0.0	64.3	0.0	14.3	21.4	0.0	14.3	0.0
	70～79歳（n=5）	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上（n=6）	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0

問 13 生涯学習活動を行ううえで、困っていることはありますか。　（３つまで回答）

生涯学習活動を行ううえで困っていることについてみると、「特に理由はない」が 30.1％と最も多く、次いで「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」が 24.4％、「費用がかかりすぎる」が 22.4％となっています。



※１：前回調査と今回調査で選択肢が異なるため分けて掲載
※２：今回調査の新規選択肢

年齢別にみると、〈17 歳〉〈60～69 歳〉〈80 歳以上〉では、「特に理由はない」、〈20～29 歳〉〈50～59 歳〉では、「費用がかかりすぎる」、〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉では、「仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい」、〈70～79 歳〉では、「費用がかかりすぎる」、「生涯学習に関する十分な情報が得られない」、「年齢的・体力的に難しい」、「オンラインによる講座が少ない」、「特に理由はない」が最も多くなっています。また、〈50～59 歳〉では、「特に理由はない」が他の年齢に比べて少なくなっています。

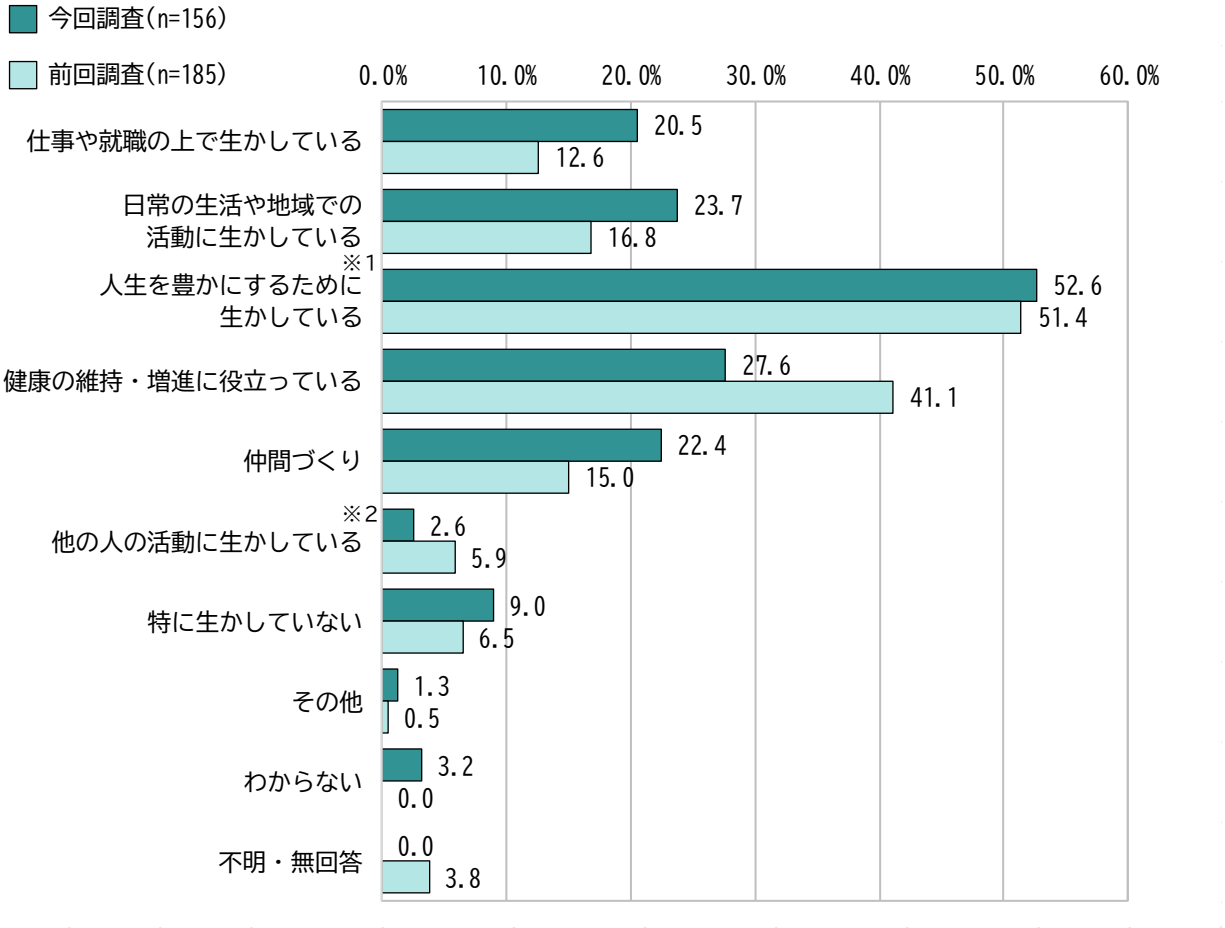
単位：%		仕事や家事・育児があり、時間が取りづらい	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間がいない（少ない）	会場が遠方で移動が大変である	生涯学習に関する十分な情報が得られない	家族や職場などの周囲の理解を得られない	人間関係がわずらわしい	年齢的・体力的に難しい	オンラインによる講座が少ない	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=156)		**24.4**	22.4	16.0	6.4	15.4	0.0	5.8	4.5	3.8	**30.1**	11.5	3.8
年齢別	17歳（n=59）	**13.6**	10.2	11.9	5.1	8.5	0.0	8.5	1.7	1.7	**37.3**	**13.6**	6.8
	20～29歳（n=18）	**27.8**	**38.9**	**27.8**	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	11.1	0.0
	30～39歳（n=14）	**64.3**	**35.7**	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	0.0	0.0
	40～49歳（n=18）	**50.0**	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	11.1	11.1	0.0	**22.2**	16.7	0.0
	50～59歳（n=22）	27.3	**40.9**	13.6	18.2	**31.8**	0.0	4.5	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0
	60～69歳（n=14）	7.1	**21.4**	**21.4**	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	**50.0**	**21.4**	7.1
	70～79歳（n=5）	0.0	**20.0**	0.0	0.0	**20.0**	0.0	0.0	**20.0**	**20.0**	**20.0**	0.0	20.0
	80歳以上（n=6）	0.0	16.7	**33.3**	**33.3**	**33.3**	0.0	16.7	16.7	0.0	**50.0**	0.0	0.0

問 14 生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。

（２つまで回答）

生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしているかについてみると、「人生を豊かにするために生かしている」が 52.6%と最も多く、次いで「健康の維持・増進に役立っている」が 27.6%、「日常の生活や地域での活動に生かしている」が 23.7%となっています。

前回調査と比べると、「健康の維持・増進に役立っている」が 13.5 ポイント減少しています。



※１：前回調査は「自分の人生の充実に向けて活かしている」

※２：前回調査は「他の人の指導に活かしている」

年齢別にみると、〈17 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈80 歳以上〉では、「人生を豊かにするために生かしている」、〈20～29 歳〉では、「仕事や就職の上で生かしている」、〈30～39 歳〉では、「人生を豊かにするために生かしている」、「健康の維持・増進に役立っている」、〈40～49 歳〉〈70～79 歳〉では、「健康の維持・増進に役立っている」が最も多くなっています。また、〈70～79 歳〉では、「仲間づくり」が他の年齢に比べて多く、「人生を豊かにするために生かしている」が他の年齢に比べて少なくなっています。

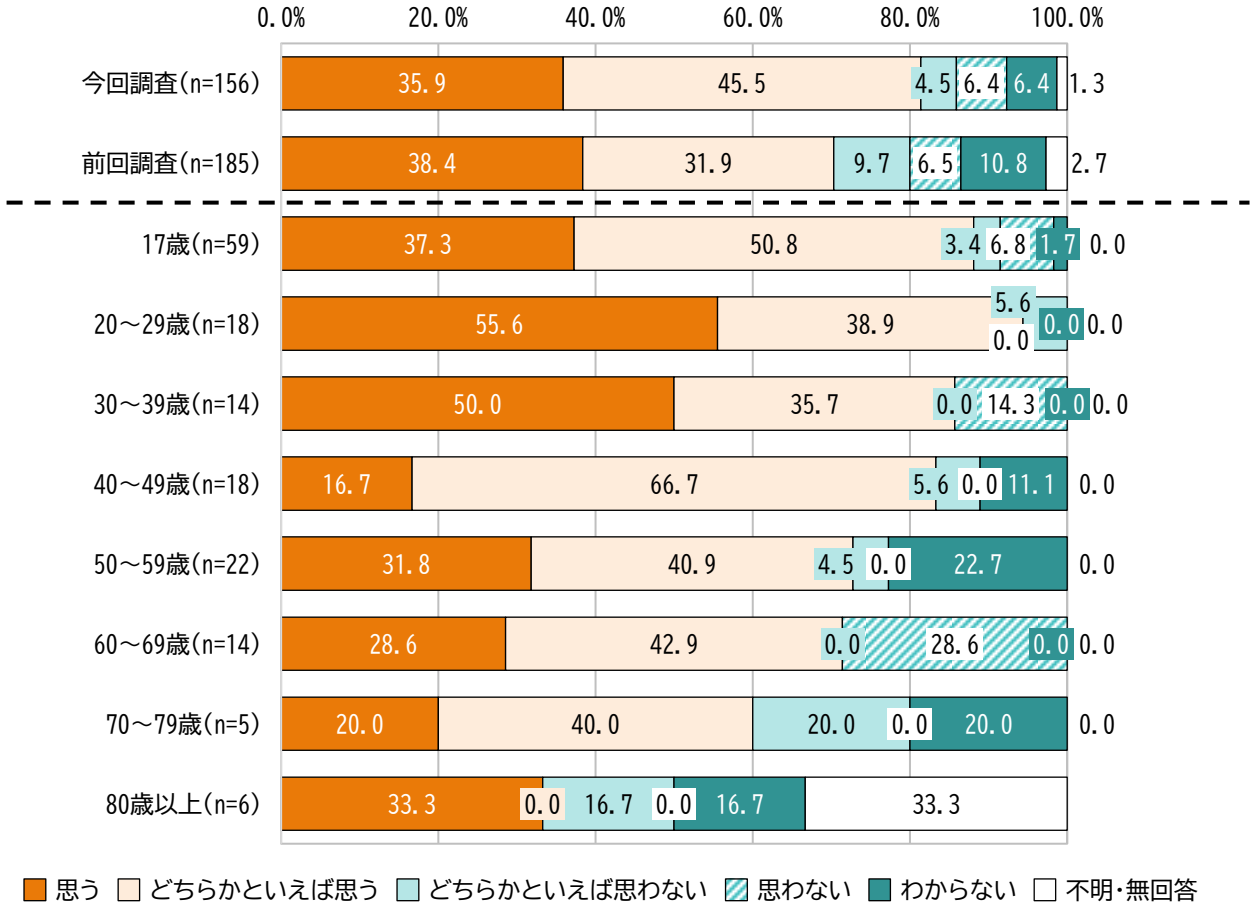
単位：%		仕事や就職の上で生かしている	日常の生活や地域での活動に生かしている	人生を豊かにするために生かしている	健康の維持・増進に役立っている	仲間づくり	他の人の活動に生かしている	特に生かしていない	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=156)		20.5	23.7	**52.6**	**27.6**	22.4	2.6	9.0	1.3	3.2	0.0
年齢別	17歳（n=59）	10.2	25.4	**57.6**	11.9	**28.8**	1.7	8.5	1.7	8.5	0.0
	20～29歳（n=18）	**50.0**	33.3	**44.4**	16.7	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳（n=14）	**35.7**	21.4	**50.0**	**50.0**	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
	40～49歳（n=18）	16.7	11.1	**33.3**	**50.0**	27.8	0.0	22.2	5.6	0.0	0.0
	50～59歳（n=22）	27.3	**40.9**	**59.1**	31.8	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳（n=14）	**21.4**	7.1	**64.3**	**21.4**	**21.4**	0.0	**21.4**	0.0	0.0	0.0
	70～79歳（n=5）	0.0	20.0	20.0	**80.0**	**40.0**	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上（n=6）	0.0	0.0	**66.7**	**50.0**	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

問 15 生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。
（単数回答）

生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思うかについてみると、「どちらかといえば思う」が 45.5%と最も多く、次いで「思う」が 35.9%、「思わない」「わからない」が 6.4%となっています。

前回調査と比べると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が 11.1 ポイント増加しています。

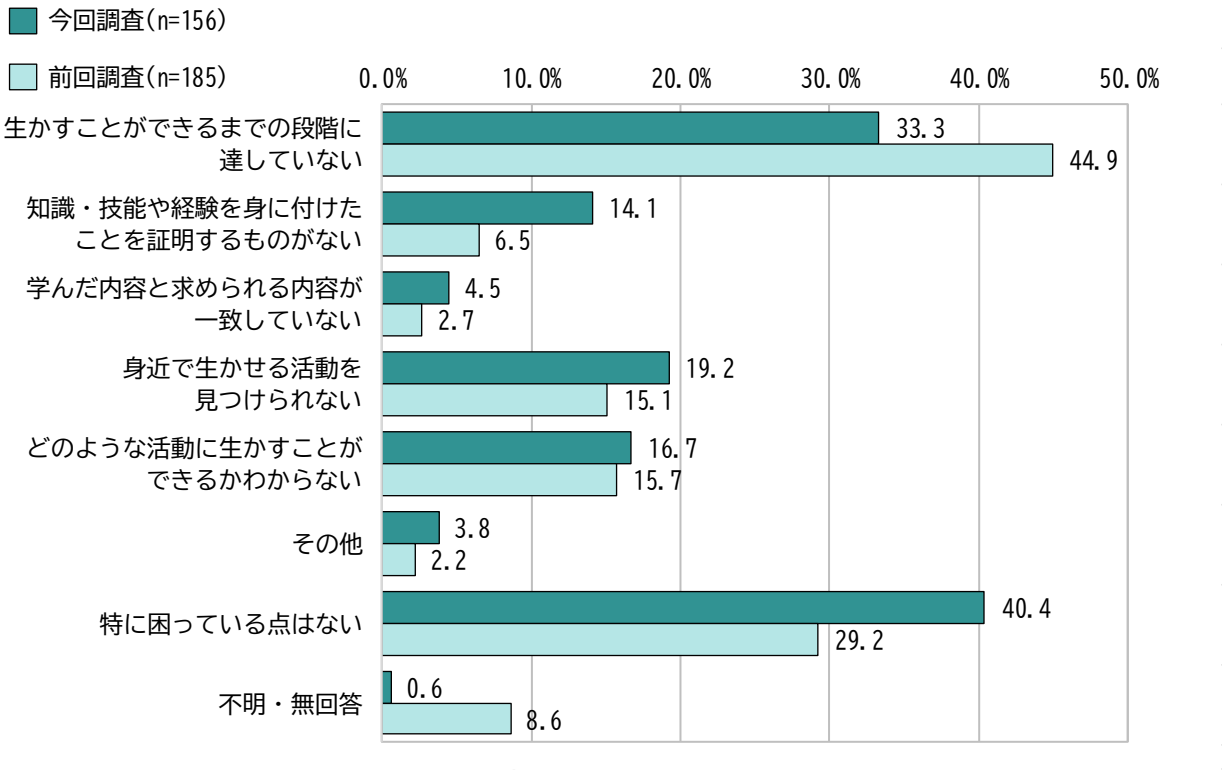
年齢別にみると、〈17 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈70～79 歳〉では、「どちらかといえば思う」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈80 歳以上〉では、「思う」が最も多くなっており、いずれの年齢においても、「思う」または「どちらかといえば思う」が最も多くなっています。また、〈60～69 歳〉では、「思わない」が他の年齢に比べて多くなっています。



問 16 生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。（複数回答）

生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたって困っていることについてみると、「特に困っている点はない」が 40.4%と最も多く、次いで「生かすことができるまでの段階に達していない」が 33.3%、「身近で生かせる活動を見つけられない」が 19.2%となっています。

前回調査と比べると、「特に困っている点はない」が 11.2 ポイント増加しており、「生かすことができるまでの段階に達していない」が 11.6 ポイント減少しています。



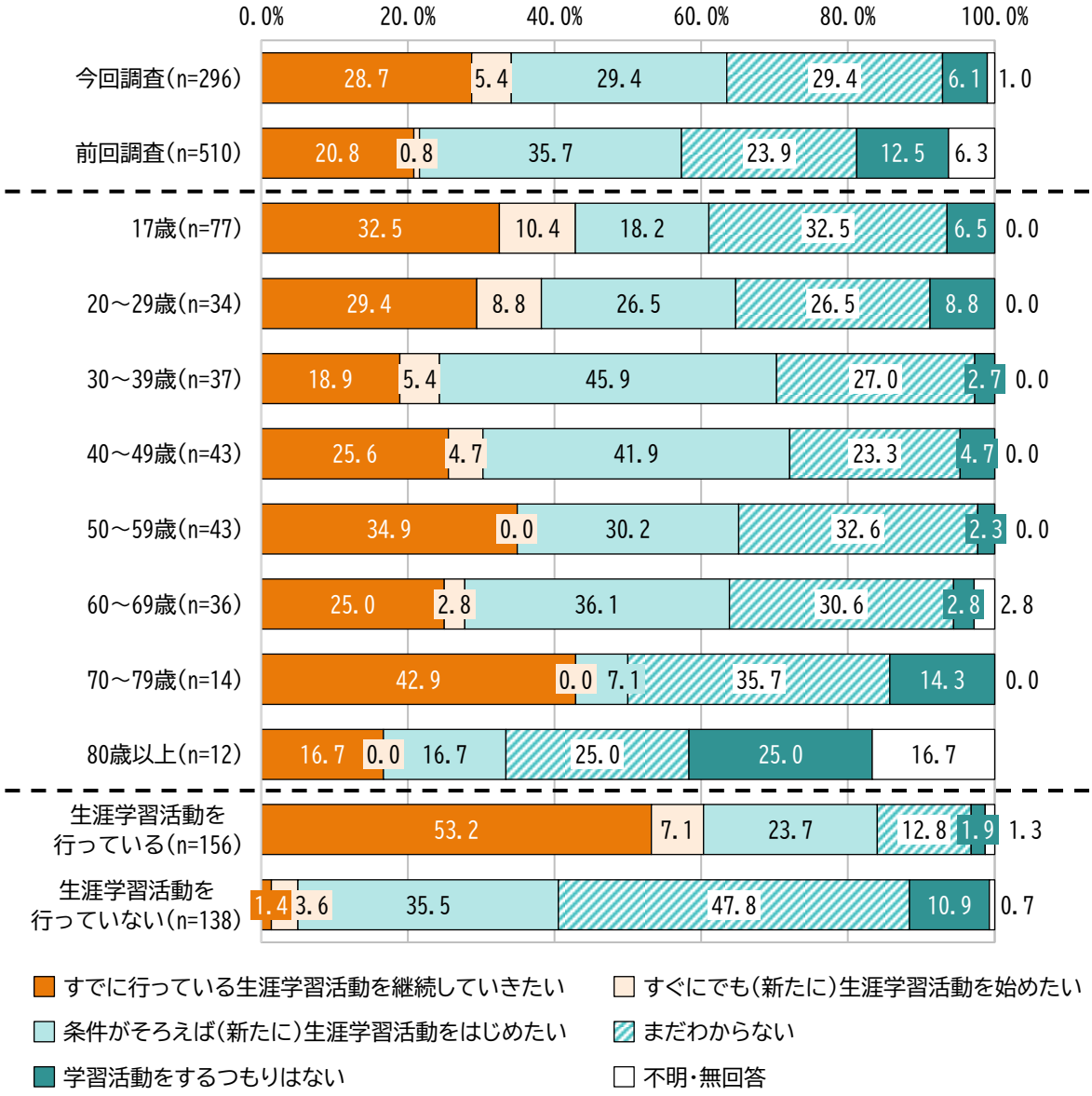
（3）今後の生涯学習活動に関する意向について

問 17　今後の生涯学習活動に関するあなたのご意向をうかがいます。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。　（単数回答）

今後の生涯学習活動に関する意向についてみると、「条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい」、「まだわからない」が 29.4％と最も多く、次いで「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が 28.7％、「学習活動をするつもりはない」が 6.1％となっています。

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」、「まだわからない」、〈20～29 歳〉〈50～59 歳〉〈70～79 歳〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」、〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈60～69 歳〉では、「条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい」、〈80 歳以上〉では、「まだわからない」、「学習活動をするつもりはない」が最も多くなっています。

生涯学習活動の活動状況別にみると、〈行っている〉では、「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」が 53.2％と最も多く、次いで「条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい」が 23.7％、「まだわからない」が 12.8％、〈行っていない〉では、「まだわからない」が 47.8％と最も多く、次いで「条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい」が 35.5％、「学習活動をするつもりはない」が 10.9％となっています。

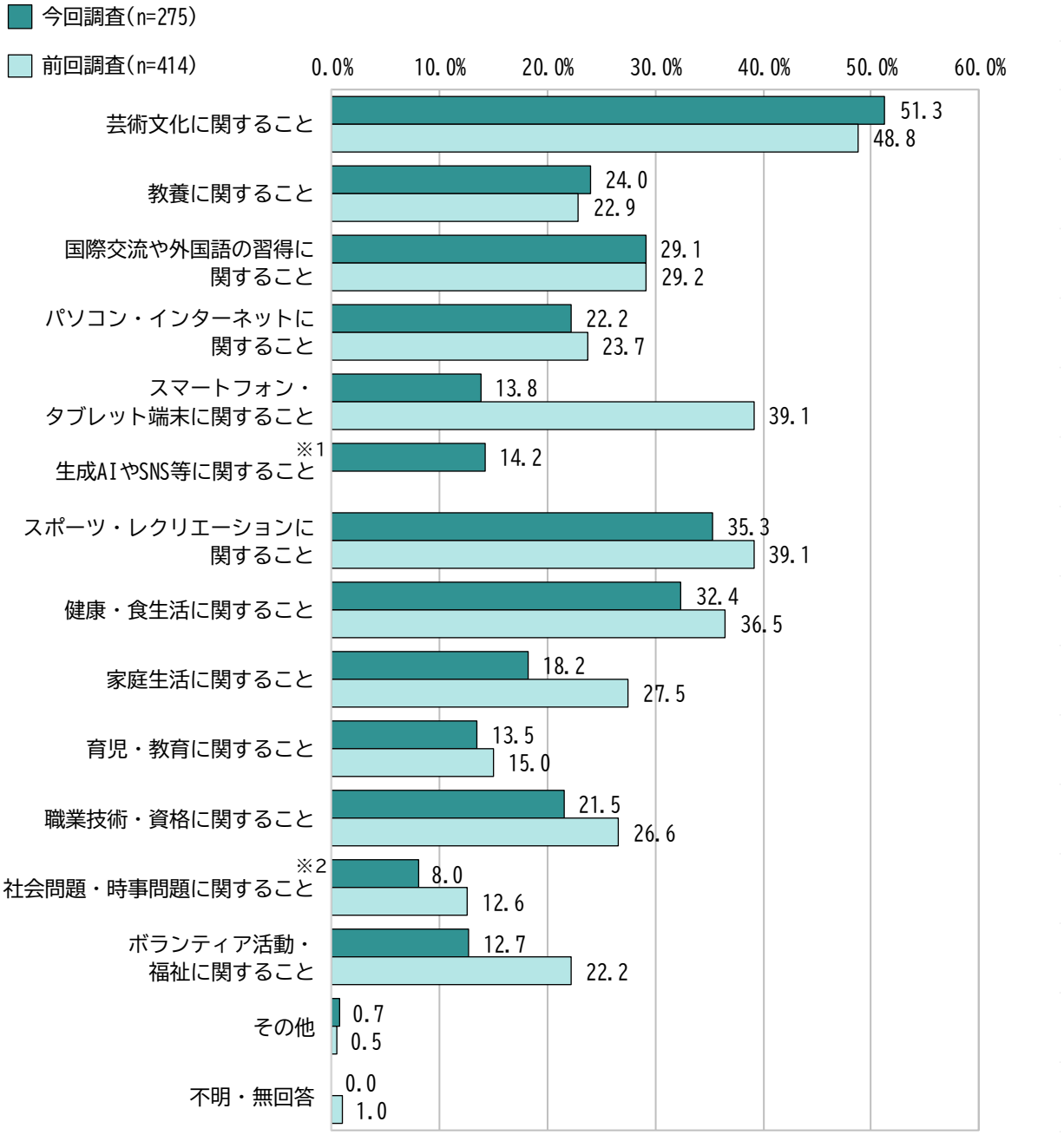


問18・問19は、問17で「学習活動をするつもりはない」以外を選択した方におたずねします。

問 18 生涯学習活動をする場合、今後、あなたの希望する分野は次のうちどれにあたりますか。
（複数回答）

今後希望する分野についてみると、「芸術文化に関すること（音楽・美術・華道・園芸・舞踊・書道・短歌・囲碁・将棋など）」が 51.3%と最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーションに関すること」が 35.3%、「健康・食生活に関すること」が 32.4%となっています。

前回調査と比べると、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が 25.3 ポイント減少しています。



※１：今回調査の新規選択肢
※２：前回調査は「地域の社会問題・時事問題に関すること」

性別にみると、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」では、12.6 ポイント男性が女性を上回っています。また、「家庭生活に関すること」では、22.6 ポイント女性が男性を上回っています。

年齢別にみると、〈17 歳〉〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「芸術文化に関すること」、〈70～79 歳〉では、「スポーツ、レクリエーションに関すること」、〈80 歳以上〉では、「芸術文化に関すること」、「健康・食生活に関すること」が最も多くなっています。また、〈30～39 歳〉では、「育児・教育に関すること」、〈80 歳以上〉では、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

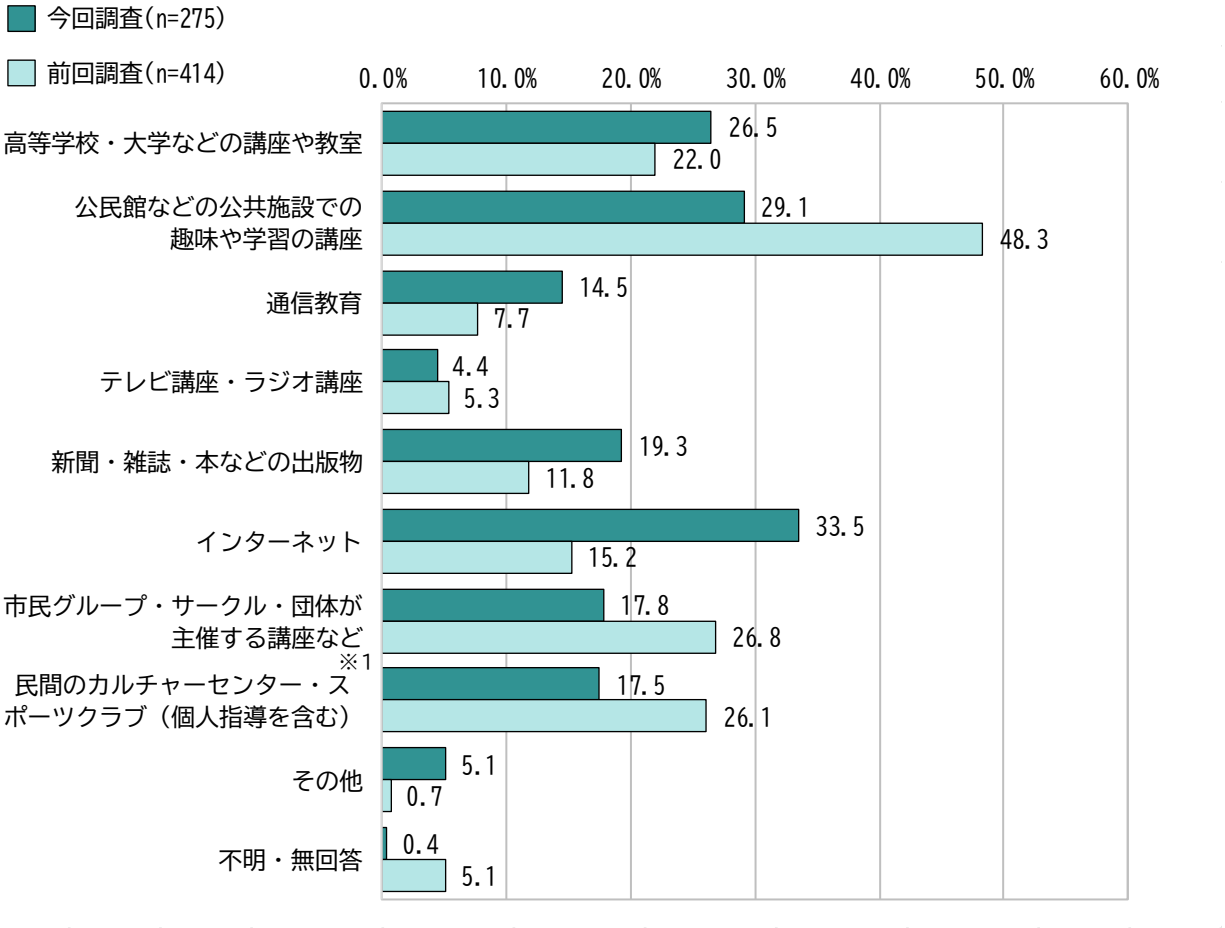
単位：%		芸術文化に関すること	教養に関すること	国際交流や外国語の習得に関すること	パソコン・インターネットに関すること	スマートフォン・タブレット端末に関すること	生成AIやSNS等に関すること	スポーツ・レクリエーションに関すること	健康・食生活に関すること	家庭生活に関すること	育児・教育に関すること	職業技術・資格に関すること
全体(n=275)		**51.3**	24.0	29.1	22.2	13.8	14.2	**35.3**	32.4	18.2	13.5	21.5
性別	男性（n=101）	**44.6**	26.7	23.8	22.8	21.8	20.8	**35.6**	31.7	4.0	9.9	21.8
	女性（n=173）	**55.5**	22.5	31.8	22.0	9.2	10.4	**35.3**	32.9	26.6	15.6	20.8
年齢別	17歳（n=72）	**45.8**	22.2	22.2	19.4	18.1	16.7	23.6	19.4	12.5	13.9	**26.4**
	20～29歳（n=31）	**48.4**	29.0	32.3	29.0	16.1	25.8	32.3	19.4	9.7	9.7	**38.7**
	30～39歳（n=36）	**52.8**	27.8	44.4	27.8	8.3	19.4	38.9	**47.2**	36.1	36.1	25.0
	40～49歳（n=41）	**56.1**	24.4	**36.6**	14.6	7.3	4.9	34.1	29.3	26.8	17.1	31.7
	50～59歳（n=42）	**57.1**	19.0	33.3	28.6	9.5	11.9	**54.8**	50.0	16.7	9.5	9.5
	60～69歳（n=34）	**58.8**	26.5	23.5	26.5	17.6	8.8	35.3	**38.2**	17.6	0.0	5.9
	70～79歳（n=12）	**25.0**	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	**50.0**	16.7	8.3	0.0	0.0
	80歳以上（n=7）	**57.1**	**28.6**	14.3	0.0	**28.6**	14.3	14.3	**57.1**	0.0	0.0	0.0

単位：%		社会問題・時事問題に関すること	ボランティア活動・福祉に関すること	その他	不明・無回答
全体(n=275)		8.0	12.7	0.7	0.0
性別	男性（n=101）	10.9	7.9	0.0	0.0
	女性（n=173）	6.4	15.6	1.2	0.0
年齢別	17歳（n=72）	8.3	9.7	0.0	0.0
	20～29歳（n=31）	9.7	6.5	3.2	0.0
	30～39歳（n=36）	16.7	5.6	2.8	0.0
	40～49歳（n=41）	2.4	19.5	0.0	0.0
	50～59歳（n=42）	4.8	21.4	0.0	0.0
	60～69歳（n=34）	5.9	14.7	0.0	0.0
	70～79歳（n=12）	8.3	16.7	0.0	0.0
	80歳以上（n=7）	14.3	0.0	0.0	0.0

問 19 生涯学習活動をする場合、今後あなたはどのような手段、方法を希望しますか。
（２つまで回答）

希望する手段、方法についてみると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が 33.5％と最も多く、次いで「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が 29.1％、「高等学校・大学などの講座や教室」が 26.5％となっています。

前回調査と比べると、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」が 18.3 ポイント増加しており、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」が 19.2 ポイント減少しています。



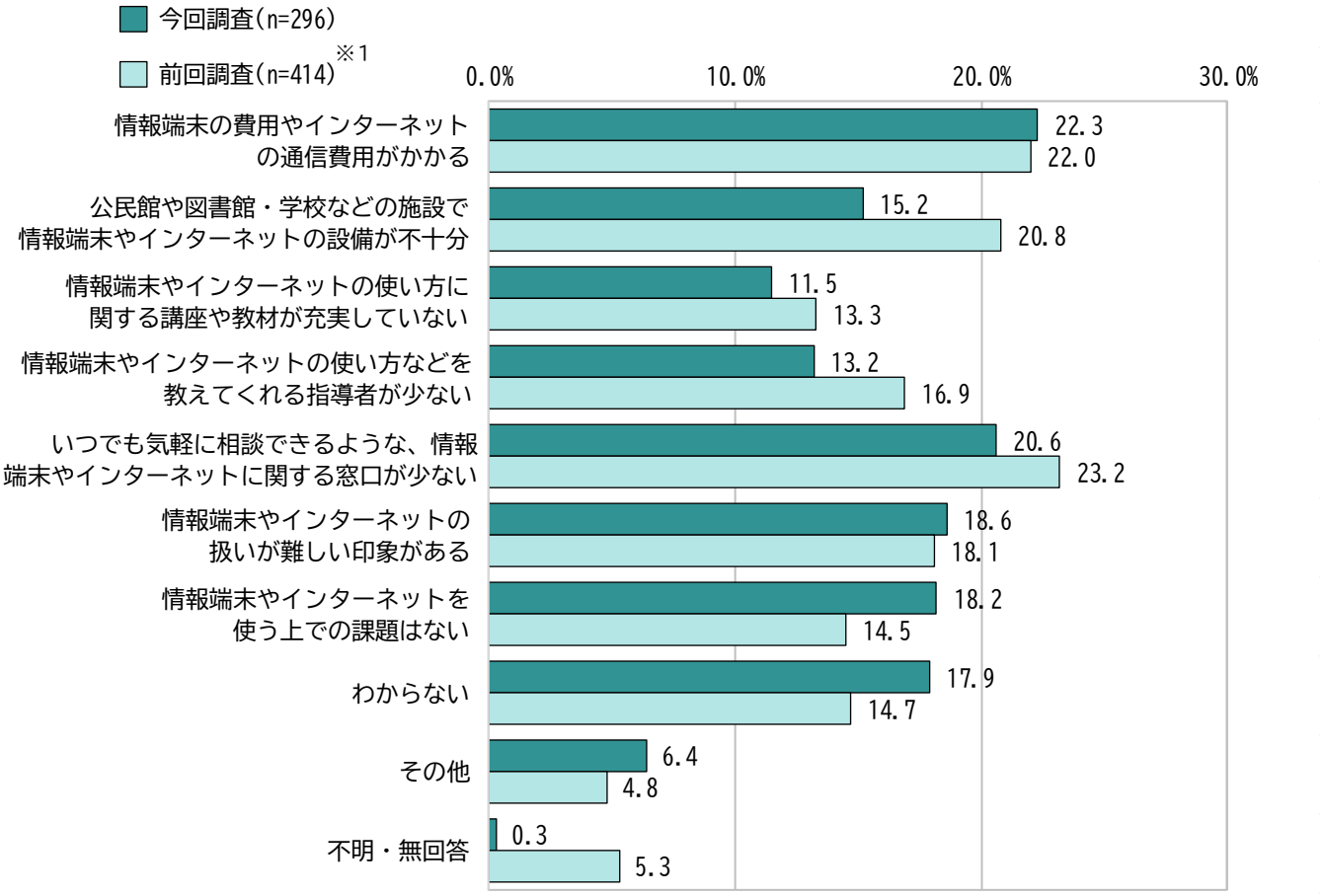
※１：前回調査は「民間カルチャーセンター・スポーツクラブ」、「個人による指導」の合算

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「高等学校・大学などの講座や教室」、〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉では、「インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等）」、〈40～49 歳〉では、「民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導を含む）」、〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉〈70～79 歳〉では、「公民館などの公共施設での趣味や学習の講座」、〈80 歳以上〉では、「新聞・雑誌・本などの出版物」が最も多くなっています。また、〈30～39 歳〉では、「通信教育」、〈70～79 歳〉では、「市民グループ・サークル・団体が主催する講座など」が、それぞれ他の年齢に比べて多くなっています。

単位：%		高等学校・大学などの講座や教室	公民館などの公共施設での趣味や学習の講座	通信教育	テレビ講座・ラジオ講座	新聞・雑誌・本などの出版物	インターネット	市民グループ・サークル・団体が主催する講座など	民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ（個人指導を含む）	その他	不明・無回答
全体(n=275)		26.5	**29.1**	14.5	4.4	19.3	**33.5**	17.8	17.5	5.1	0.4
年齢別	17歳（n=72）	**62.5**	12.5	9.7	2.8	16.7	**33.3**	9.7	6.9	5.6	0.0
	20～29歳（n=31）	19.4	9.7	12.9	6.5	**29.0**	**54.8**	6.5	12.9	9.7	0.0
	30～39歳（n=36）	13.9	30.6	27.8	2.8	**33.3**	**52.8**	13.9	11.1	0.0	0.0
	40～49歳（n=41）	14.6	**29.3**	17.1	2.4	17.1	19.5	19.5	**41.5**	7.3	2.4
	50～59歳（n=42）	14.3	**35.7**	11.9	7.1	11.9	**33.3**	31.0	21.4	4.8	0.0
	60～69歳（n=34）	14.7	**61.8**	11.8	5.9	11.8	17.6	**20.6**	**20.6**	5.9	0.0
	70～79歳（n=12）	0.0	**58.3**	16.7	0.0	8.3	25.0	**41.7**	8.3	0.0	0.0
	80歳以上（n=7）	0.0	**28.6**	14.3	14.3	**42.9**	14.3	**28.6**	14.3	0.0	0.0

問 20 情報端末やインターネット（オンライン配信等）による生涯学習には、どのような課題があるとおもいますか。（複数回答）

情報端末やインターネットによる生涯学習における課題についてみると、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」が 22.3%と最も多く、次いで「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」が 20.6%、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」が 18.6%となっています。



※1：前回調査は問 17 で「学習活動をするつもりはない」以外を選択した方のみが回答

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、〈20～29 歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、「わからない」、〈30～39 歳〉では、「情報端末やインターネットを使う上での課題はない」、〈40～49 歳〉では、「情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる」、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、「情報端末やインターネットを使う上での課題はない」、〈50～59 歳〉では、「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」、〈60～69 歳〉では、「いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない」、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、〈70～79 歳〉では、「情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある」、〈80 歳以上〉では、「わからない」が最も多くなっています。

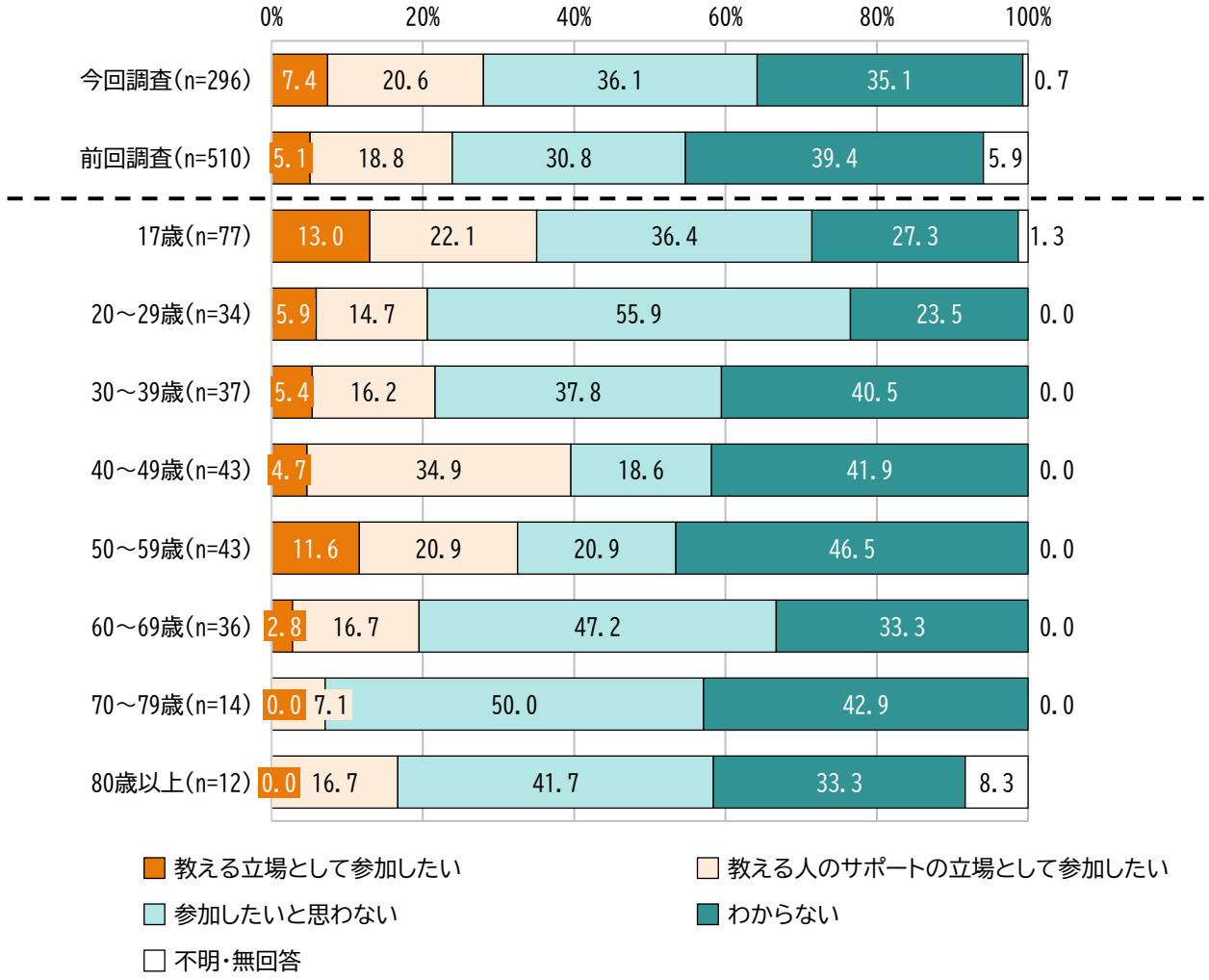
単位：%		情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる	公民館や図書館、学校などの施設で情報端末やインターネットの設備が不十分	情報端末やインターネットの使い方に関する講座や教材が充実していない	情報端末やインターネットの使い方などを教えてくれる指導者が少ない	いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない	情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある	情報端末やインターネットを使う上での課題はない	わからない	その他	不明・無回答
全体(n=296)		**22.3**	15.2	11.5	13.2	**20.6**	18.6	18.2	17.9	6.4	0.3
年齢別	17歳（n=77）	**33.8**	**19.5**	15.6	14.3	18.2	15.6	14.3	18.2	7.8	1.3
	20～29歳（n=34）	**23.5**	17.6	**20.6**	11.8	14.7	5.9	11.8	**23.5**	8.8	0.0
	30～39歳（n=37）	16.2	16.2	5.4	13.5	**21.6**	8.1	**40.5**	13.5	0.0	0.0
	40～49歳（n=43）	**20.9**	11.6	9.3	14.0	**16.3**	**20.9**	**20.9**	11.6	14.0	0.0
	50～59歳（n=43）	**20.9**	18.6	2.3	11.6	**25.6**	14.0	18.6	**20.9**	4.7	0.0
	60～69歳（n=36）	13.9	13.9	**22.2**	16.7	**33.3**	**33.3**	11.1	11.1	5.6	0.0
	70～79歳（n=14）	7.1	0.0	0.0	7.1	**21.4**	**50.0**	14.3	**21.4**	0.0	0.0
	80歳以上（n=12）	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	**33.3**	8.3	**41.7**	0.0	0.0

（４）「地域や社会における教育」について

問 21 あなたは、「地域や社会における教育」の支援や指導に参加してみたいですか。 （単数回答）

「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「参加したいと思わない」が 36.1%が最も多く、次いで「わからない」が 35.1%、「教える人のサポート（運営・進行補助など）の立場として参加したい」が 20.6%となっています。

年齢別にみると、〈17 歳〉〈20～29 歳〉〈60～69 歳〉〈70～79 歳〉〈80 歳以上〉では、「参加したいと思わない」、〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉では、「わからない」が最も多くなっています。また、〈40～49 歳〉では、「教える人のサポートの立場として参加したい」が他の年齢に比べて多くなっています。



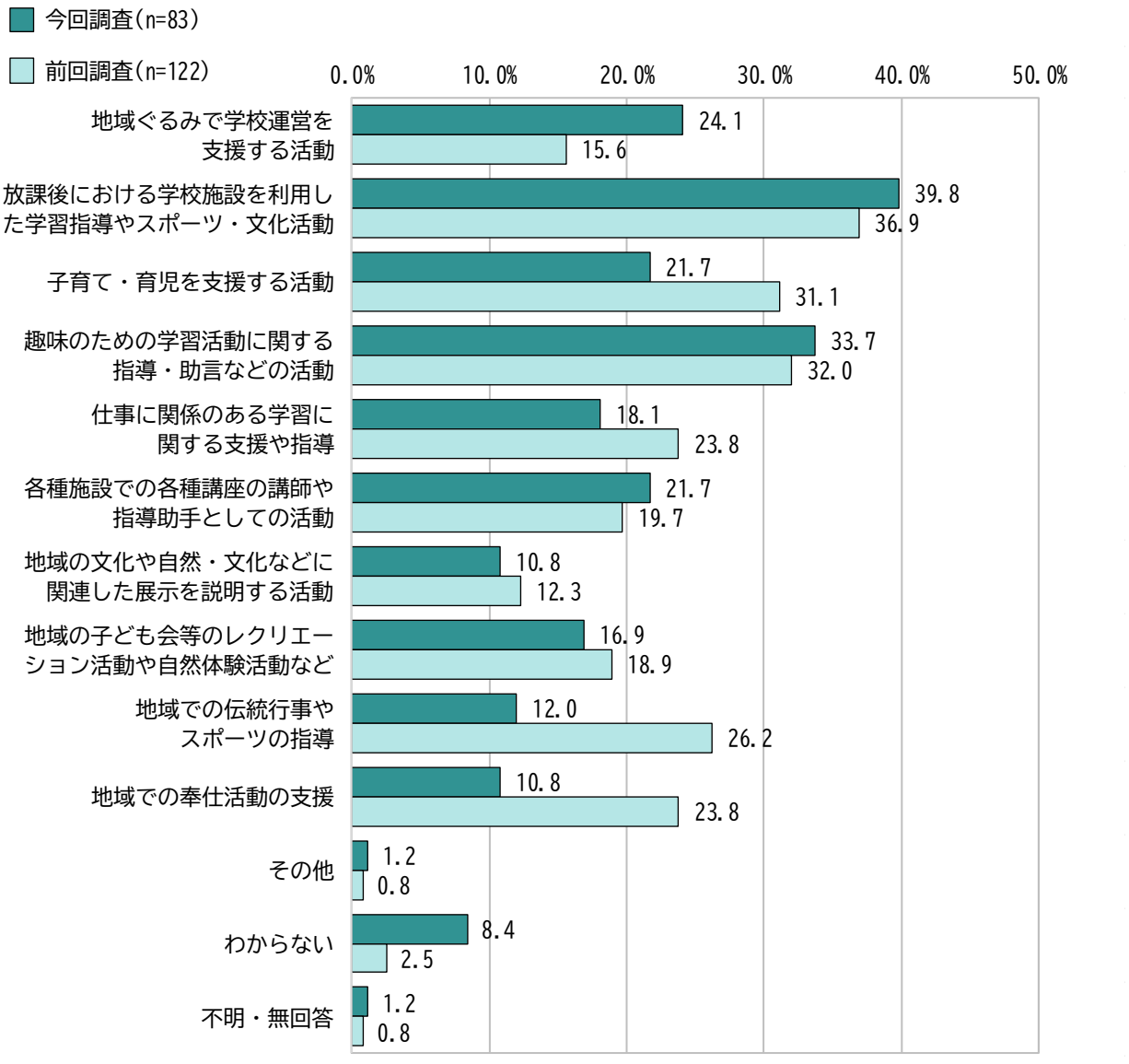
問21で「教える立場として参加したい」、「教える人のサポートの立場として参加したい」と回答した方におたずねします。

問 22 「地域や社会における教育」のどのような支援や指導に参加してみたいと思いますか。

（複数回答）

参加してみたい「地域や社会における教育」の支援や指導についてみると、「放課後における学校施設を利用した学習指導やスポーツ・文化活動」が 39.8%と最も多く、次いで「趣味のための学習活動に関する指導・助言などの活動」が 33.7%、「地域ぐるみで学校運営を支援する活動」が 24.1%となっています。

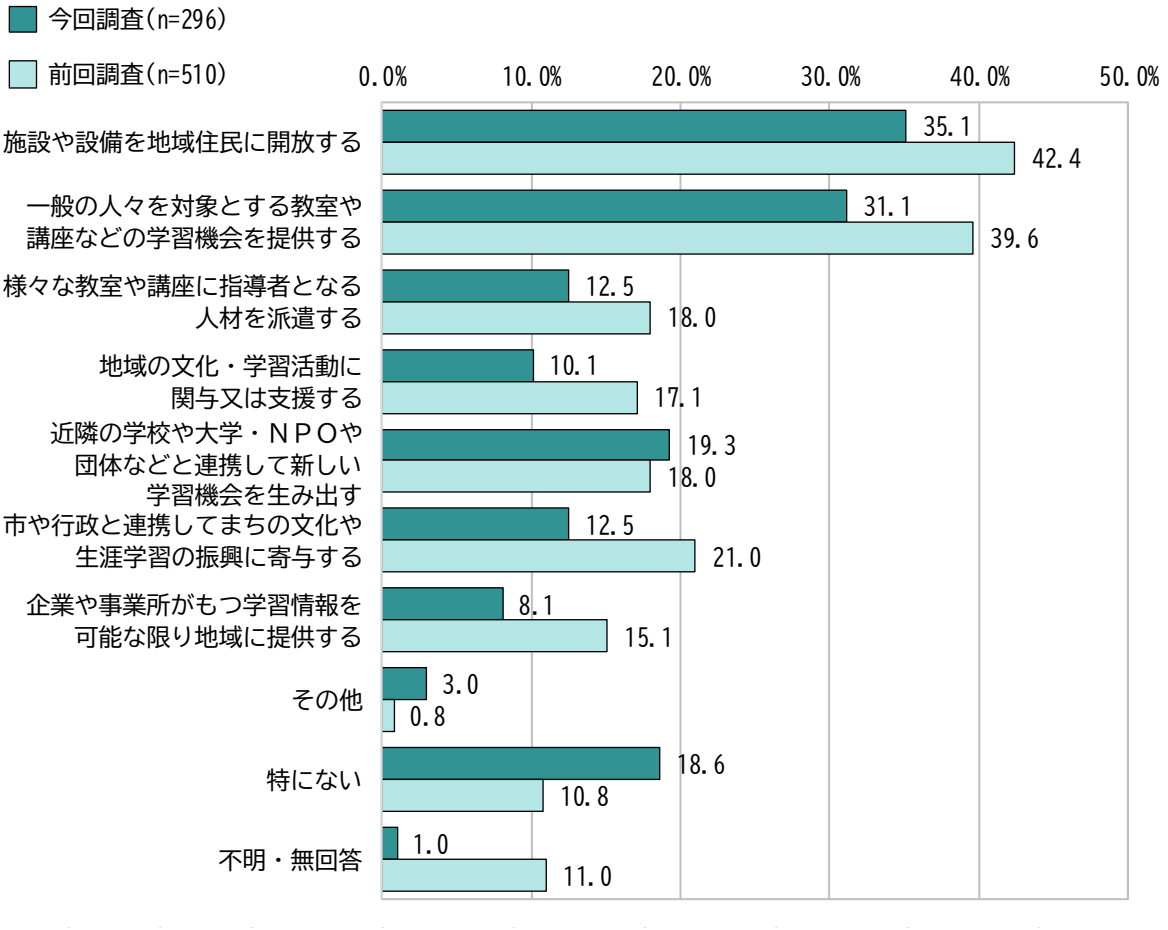
前回調査と比べると、「地域での伝統行事やスポーツの指導」、「地域での奉仕活動の支援」が減少しています。



（５）企業・事業所との関係について

問 23　人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所にどのようなことを期待しますか。　（２つまで回答※）

人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所に期待することついてみると、「施設や設備を地域住民に開放する」が 35.1％と最も多く、次いで「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が 31.1％、「近隣の学校や大学、ＮＰＯや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」が 19.3％となっています。



※前回調査は３つまで回答

年齢別にみると、〈17 歳〉〈20～29 歳〉〈40～49 歳〉では、「施設や設備を地域住民に開放する」、〈30～39 歳〉〈50～59 歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」、〈60～69 歳〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」、「近隣の学校や大学・ＮＰＯや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す」、〈70～79 歳〉〈80 歳以上〉では、「特にない」が最も多くなっています。また、〈80 歳以上〉では、「一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する」が他の年齢に比べて少なくなっています。

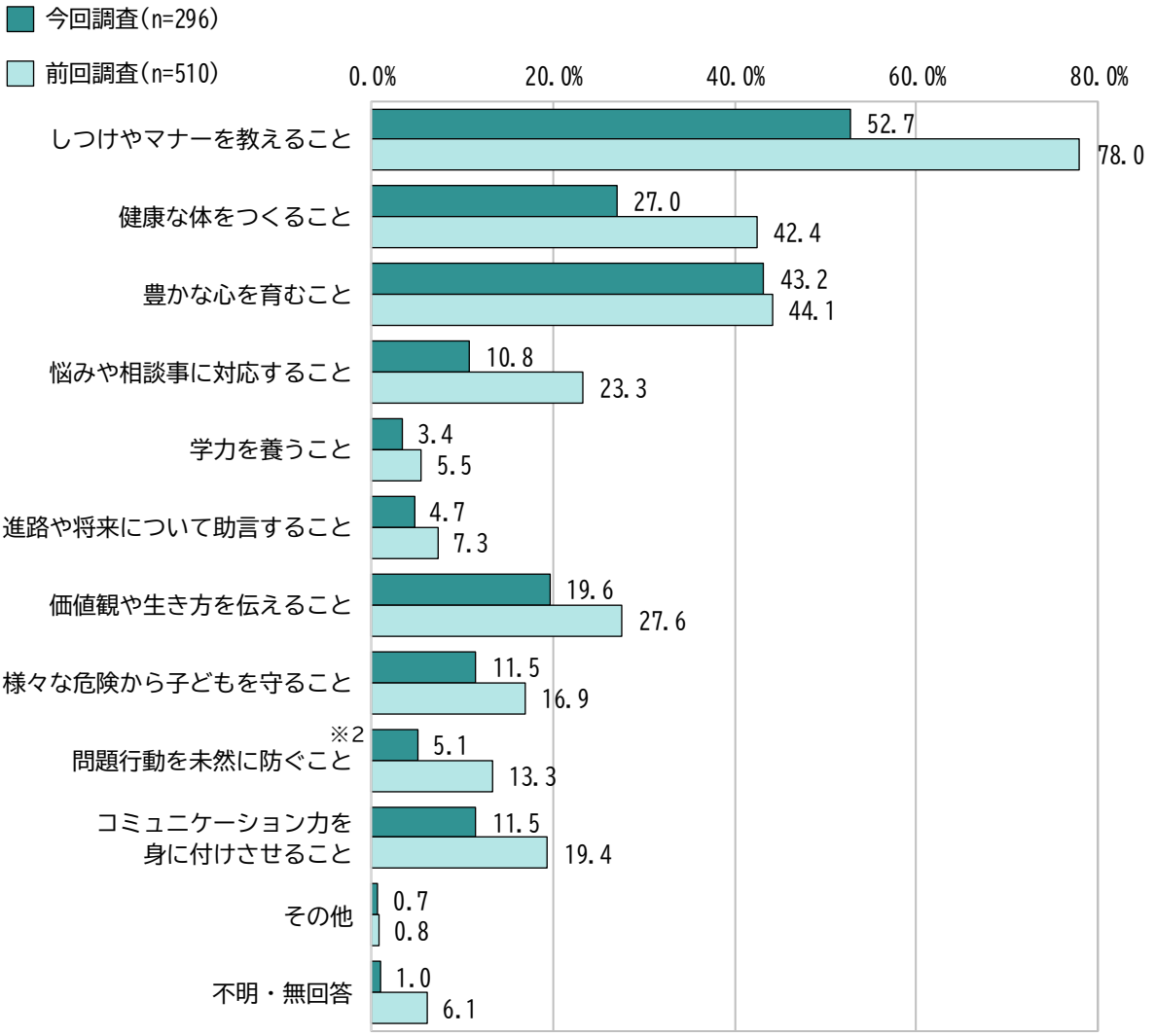
単位：％		施設や設備を地域住民に開放する	一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する	様々な教室や講座に指導者となる人材を派遣する	地域の文化・学習活動に関与又は支援する	近隣の学校や大学・ＮＰＯや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す	市や行政と連携してまちの文化や生涯学習の振興に寄与する	企業や事業所がもつ学習情報を可能な限り地域に提供する	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)		**35.1**	**31.1**	12.5	10.1	19.3	12.5	8.1	3.0	18.6	1.0
年齢別	17歳（n=77）	**41.6**	24.7	6.5	13.0	22.1	7.8	5.2	3.9	**27.3**	0.0
	20～29歳（n=34）	**47.1**	**32.4**	17.6	11.8	5.9	11.8	5.9	2.9	11.8	0.0
	30～39歳（n=37）	**29.7**	**48.6**	16.2	8.1	18.9	10.8	16.2	8.1	8.1	2.7
	40～49歳（n=43）	**44.2**	**30.2**	4.7	9.3	23.3	20.9	11.6	2.3	9.3	0.0
	50～59歳（n=43）	**32.6**	**37.2**	18.6	9.3	20.9	11.6	4.7	0.0	18.6	0.0
	60～69歳（n=36）	19.4	**30.6**	**25.0**	11.1	**30.6**	19.4	8.3	2.8	11.1	0.0
	70～79歳（n=14）	**21.4**	**21.4**	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	**42.9**	0.0
	80歳以上（n=12）	**16.7**	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	**16.7**	0.0	**41.7**	**16.7**

（６）子どもの教育について

問 24 子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことは、どのようなことだと思いますか。
（２つまで回答※1）

子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことについてみると、「しつけやマナーを教えること」が 52.7%と最も多く、次いで「豊かな心を育むこと」が 43.2%、「健康な体をつくること」が 27.0%となっています。

前回調査と比べると、「しつけやマナーを教えること」、「健康な体をつくること」、「悩みや相談事に対応すること」が減少しています。

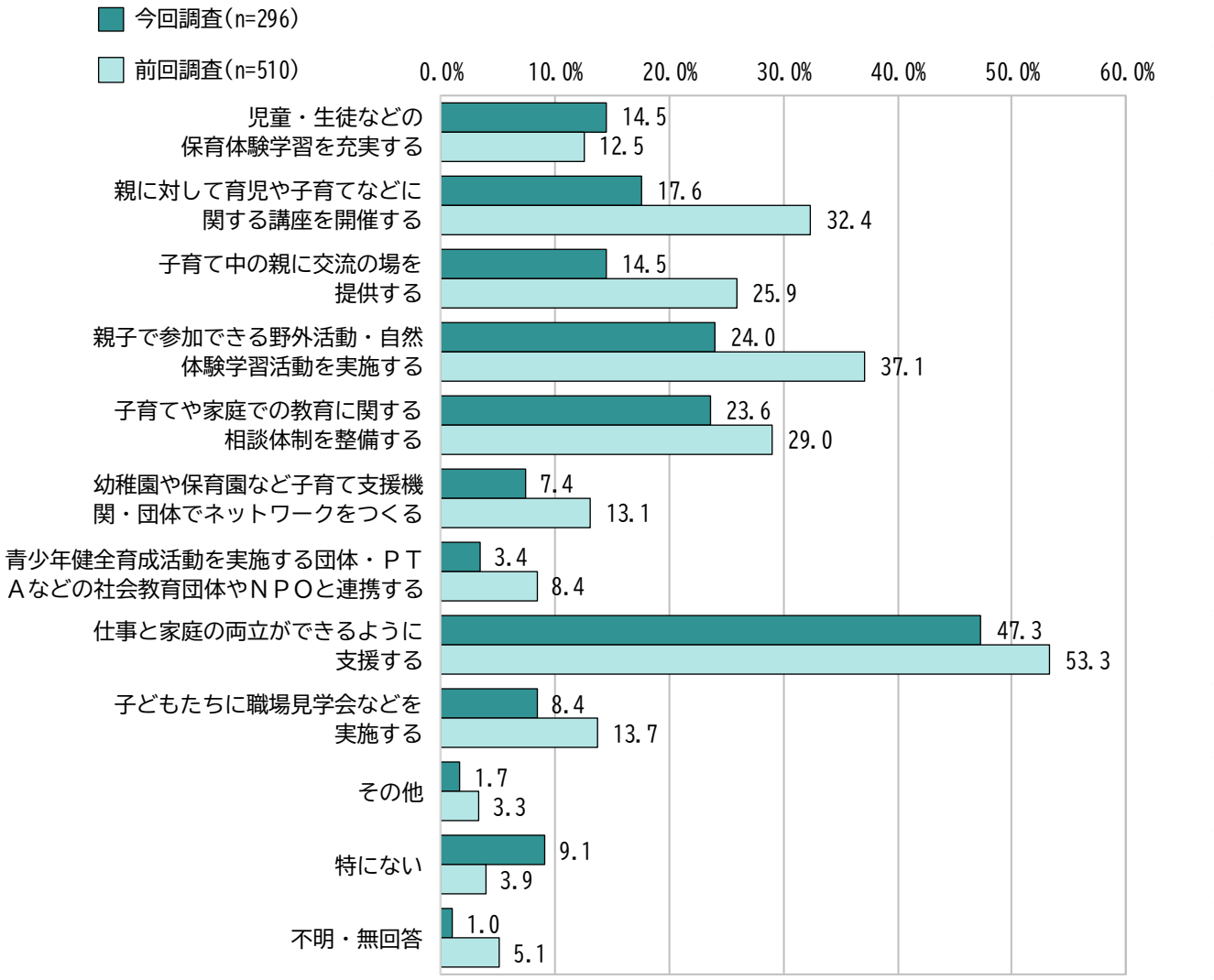


※１：前回調査は３つまで回答
※２：前回調査は「非行や問題行動を未然に防ぐこと」

問 25 家庭の教育力を向上させるために、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。
（２つまで回答※）

家庭の教育力を向上させるために、市が力を入れるべき点についてみると、「仕事と家庭の両立ができるように支援する」が 47.3％と最も多く、次いで「親子で参加できる野外活動、自然体験学習活動を実施する」が 24.0％、「子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する」が 23.6％となっています。

前回調査と比べると、「親に対して育児や子育てなどに関する講座を開催する」、「子育て中の親に交流の場を提供する」、「親子で参加できる野外活動・自然体験学習活動を実施する」が減少しています。



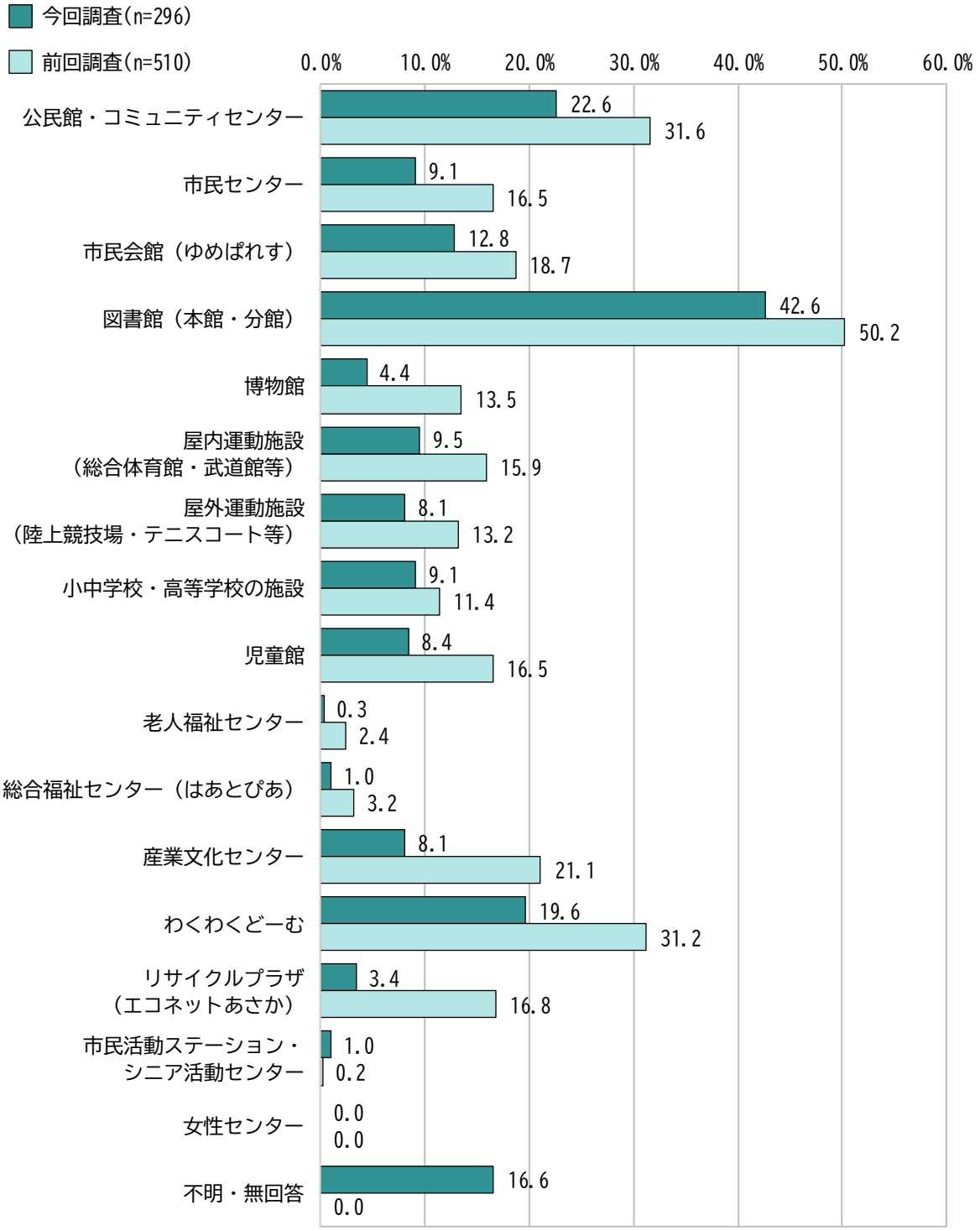
※前回調査は３つまで回答

（7）朝霞市の施設について

問 26 朝霞市には、市民の生涯学習の場として、次の施設があります。よく利用する施設はどれですか。（３つまで回答）

よく利用する施設についてみると、「図書館（本館・分館）」が 42.6％と最も多く、次いで「公民館・コミュニティセンター」が 22.6％、「わくわくどーむ」が 19.6％となっています。

前回調査と比べると、「産業文化センター」、「わくわくどーむ」、「リサイクルプラザ（エコネットあさか）」が減少しています。



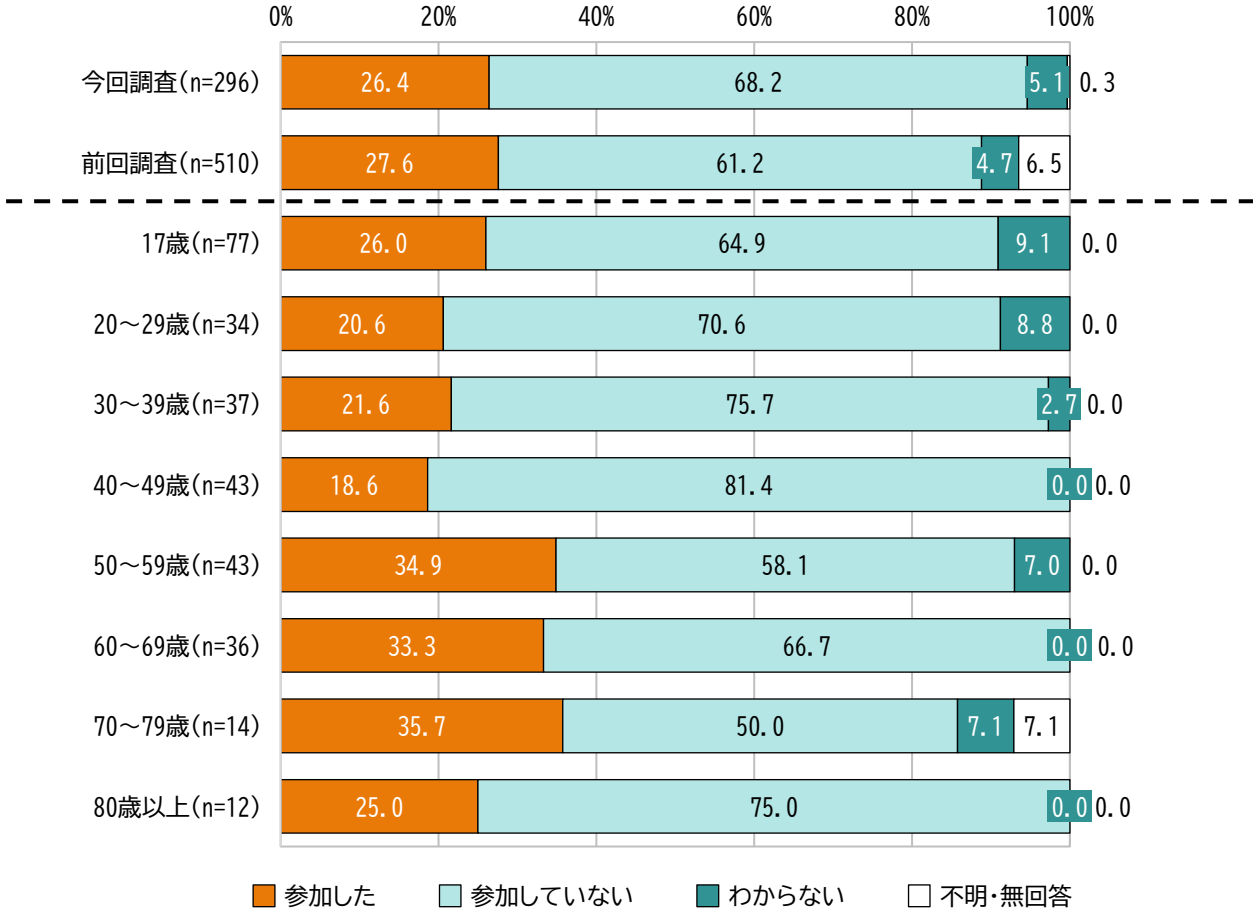
※前回調査は「よく利用する」、「時々利用する」の合算

（８）「人とのつながりに関する活動」について

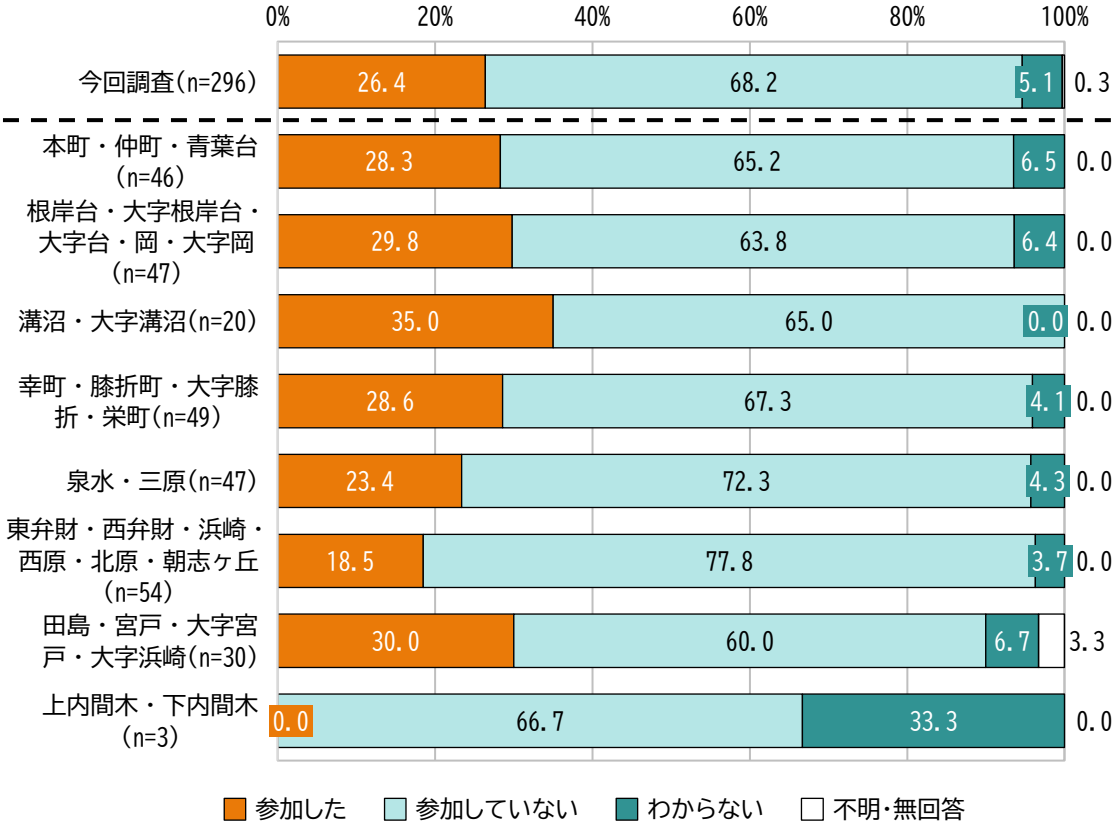
問 27 この１年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。　（単数回答）

１年間に「人とのつながりに関する活動」に参加したかについてみると、「参加した」が 26.4%、「参加していない」が 68.2%、「わからない」が 5.1%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢においても、「参加していない」が最も多くなっています。



地区別にみると、いずれの地区においても、「参加していない」が最も多くなっています。

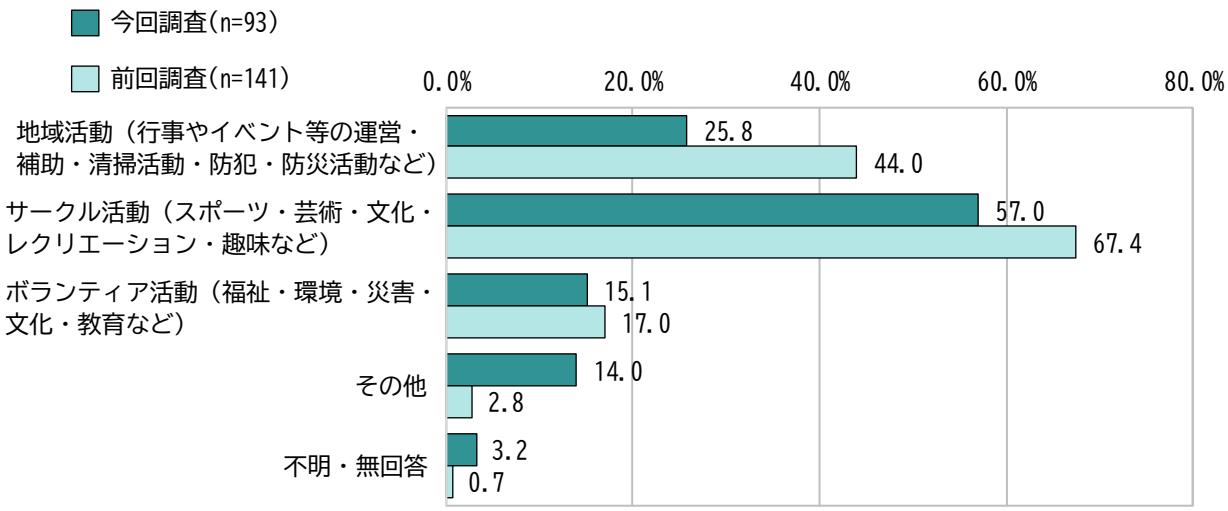


問27で「参加した」と回答した方におたずねします。

問 28 この１年くらいの間に、どのような「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。
（単数回答）

「人とのつながりに関する活動」の内容についてみると、「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が 57.0%と最も多く、次いで「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」が 25.8%、「ボランティア活動（福祉・環境・災害・文化・教育など）」が 15.1%となっています。

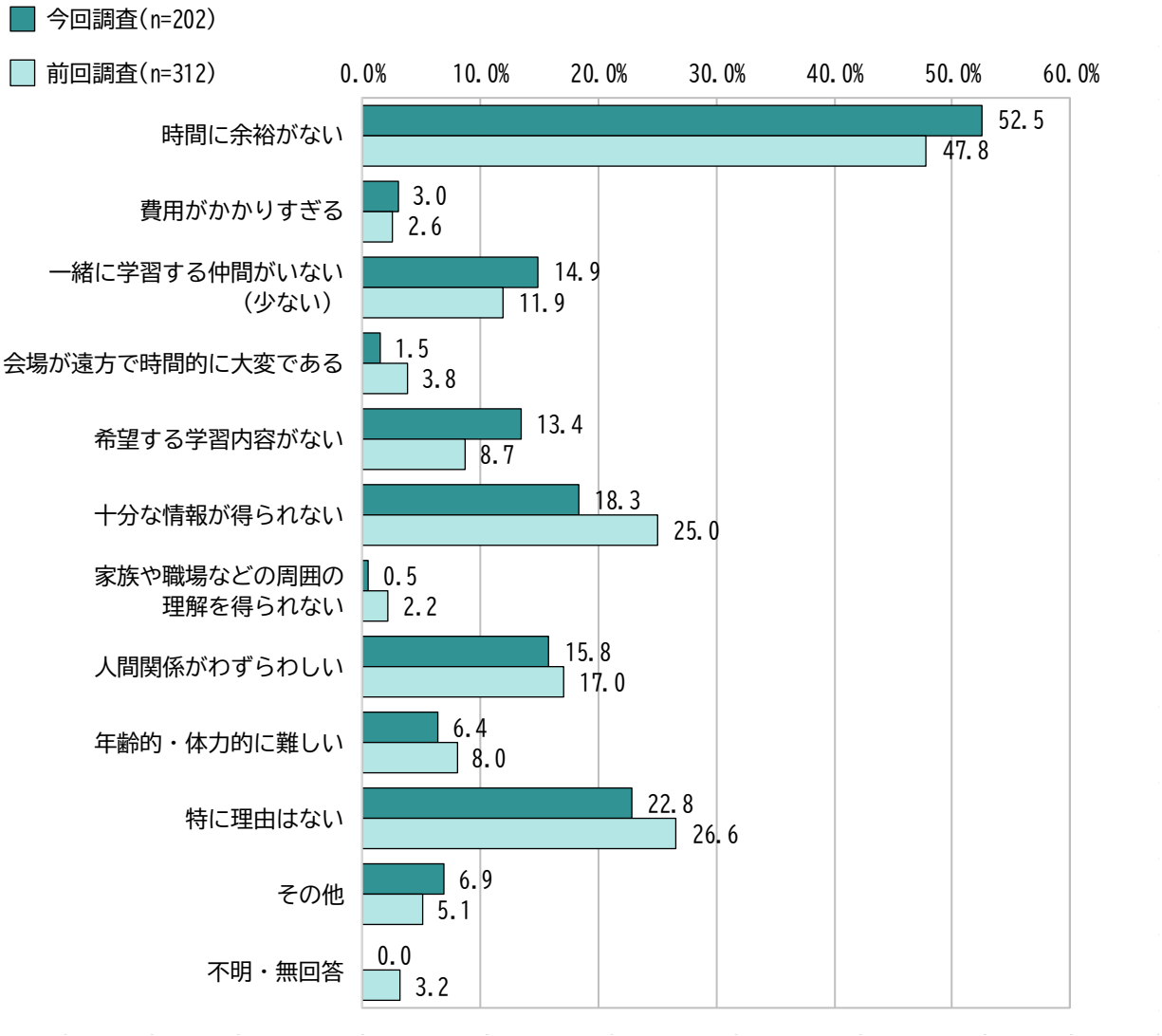
前回調査と比べると、「その他」が増加しており、「地域活動（行事やイベント等の運営・補助・清掃活動・防犯・防災活動など）」、「サークル活動（スポーツ・芸術・文化・レクリエーション・趣味など）」が減少しています。



問27で「参加していない」と回答した方におたずねします。

問 29 この１年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由は何ですか。
（複数回答）

「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由についてみると、「時間に余裕がない」が 52.5%と最も多く、次いで「特に理由はない」が 22.8%、「十分な情報が得られない」が 18.3%となっています。



年齢別にみると、〈17 歳〉〈20～29 歳〉〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈50～59 歳〉〈60～69 歳〉では、「時間に余裕がない」、〈70～79 歳〉では、「特に理由はない」、〈80 歳以上〉では、「年齢・体力的に難しい」が最も多くなっています。

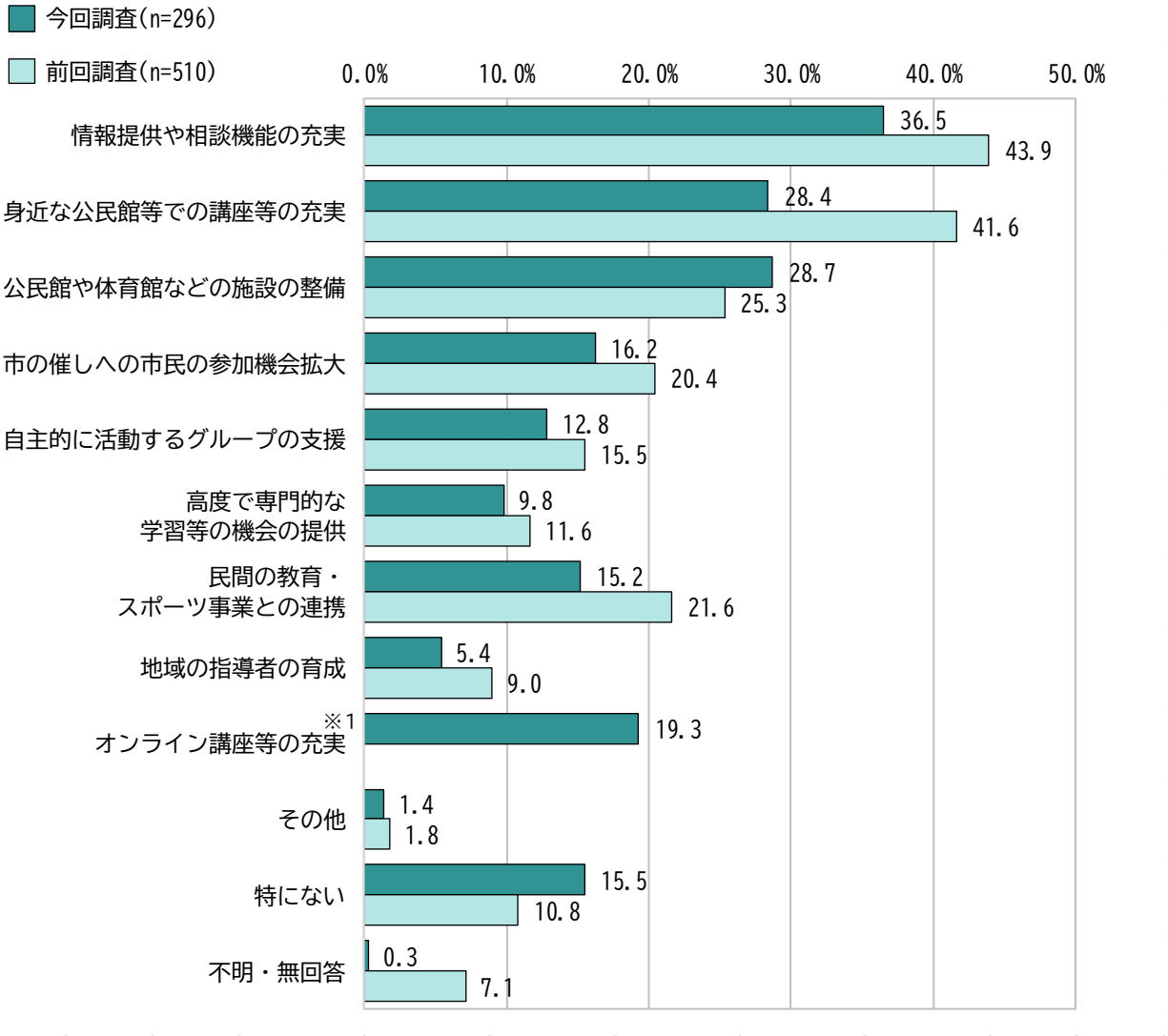
単位：%		時間に余裕がない	費用がかかりすぎる	一緒に学習する仲間がいない（少ない）	会場が遠方で時間的に大変である	希望する学習内容がない	十分な情報が得られない	家族や職場などの周囲の理解を得られない	人間関係がわずらわしい	年齢的・体力的に難しい	特に理由はない	その他	不明・無回答
全体(n=202)		**52.5**	3.0	14.9	1.5	13.4	18.3	0.5	15.8	6.4	**22.8**	6.9	0.0
年齢別	17歳（n=50）	**64.0**	6.0	**24.0**	0.0	14.0	22.0	0.0	16.0	2.0	20.0	4.0	0.0
	20～29歳（n=24）	**54.2**	0.0	8.3	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	4.2	**29.2**	12.5	0.0
	30～39歳（n=28）	**60.7**	3.6	17.9	3.6	7.1	14.3	3.6	14.3	3.6	**21.4**	7.1	0.0
	40～49歳（n=35）	**45.7**	2.9	11.4	2.9	11.4	**25.7**	0.0	17.1	0.0	20.0	8.6	0.0
	50～59歳（n=25）	**52.0**	4.0	8.0	0.0	20.0	20.0	0.0	16.0	4.0	**28.0**	8.0	0.0
	60～69歳（n=24）	**58.3**	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	4.2	**20.8**	8.3	0.0
	70～79歳（n=7）	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	**28.6**	**28.6**	**42.9**	0.0	0.0
	80歳以上（n=9）	**11.1**	0.0	0.0	**11.1**	**11.1**	0.0	0.0	**11.1**	**66.7**	**11.1**	0.0	0.0

（9）市への要望などについて

問 30 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。
（３つまで回答）

市の生涯学習を充実していくために、市に望む取り組みについてみると、「情報提供や相談機能の充実」が 36.5%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が 28.7%、「身近な公民館等での講座等の充実」が 28.4%となっています。

前回調査と比べると、「身近な公民館等での講座等の充実」が 13.2 ポイント減少しています。



※１：今回調査の新規選択肢

年齢別にみると、〈17 歳〉では、「公民館や体育館などの施設の整備」、〈20～29 歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、「特にない」、〈30～39 歳〉〈40～49 歳〉〈60～69 歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、〈50～59 歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」、「身近な公民館等での講座等の充実」、〈70～79 歳〉〈80 歳以上〉では、「身近な公民館等での講座等の充実」が最も多くなっています。また、〈60～69 歳〉では、「自主的に活動するグループの支援」が他の年齢に比べて多くなっており、〈70～79 歳〉では、「情報提供や相談機能の充実」が他の年齢に比べて少なくなっています。

単位：%		情報提供や相談機能の充実	身近な公民館等での講座等の充実	公民館や体育館などの施設の整備	市の催しへの市民の参加機会拡大	自主的に活動するグループの支援	高度で専門的な学習等の機会の提供	民間の教育・スポーツ事業との連携	地域の指導者の育成	オンライン講座等の充実	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=296)		**36.5**	28.4	**28.7**	16.2	12.8	9.8	15.2	5.4	19.3	1.4	15.5	0.3
年齢別	17歳（n=77）	**24.7**	18.2	**41.6**	7.8	14.3	10.4	15.6	5.2	7.8	1.3	20.8	0.0
	20～29歳（n=34）	**32.4**	8.8	**26.5**	11.8	11.8	14.7	11.8	2.9	23.5	0.0	**32.4**	0.0
	30～39歳（n=37）	**51.4**	**32.4**	21.6	21.6	10.8	13.5	13.5	5.4	29.7	2.7	5.4	0.0
	40～49歳（n=43）	**41.9**	25.6	**34.9**	23.3	11.6	7.0	20.9	7.0	23.3	4.7	2.3	0.0
	50～59歳（n=43）	**41.9**	**41.9**	16.3	16.3	9.3	11.6	20.9	0.0	**32.6**	0.0	9.3	0.0
	60～69歳（n=36）	**52.8**	**36.1**	27.8	19.4	27.8	5.6	11.1	8.3	19.4	0.0	11.1	0.0
	70～79歳（n=14）	7.1	**57.1**	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	**35.7**	7.1
	80歳以上（n=12）	**25.0**	**41.7**	**25.0**	**25.0**	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	**25.0**	0.0

問 31 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

１．生涯学習全般について（22件）

☆生涯学習をしたいと思うが、市で行っているものは平日ばかりで、土日に休みの人は利用したくてもできません。【女性/60～69歳/会社員】

☆夕方以降でないと参加出来ないので、オンライン講座や、夕方以降の講座等の選択肢が増えると参加意欲につながります。ご検討お願いします。【女性/40～49歳/会社員】

☆都内でフルタイム勤務をしており、興味のある講座を見かけても平日開催が多いので参加は難しく、土日開催のものがあるといいと思います。地域にももっと知り合いがほしいと思っているのですが、子供もおりませんのでなかなか知り合う機会がありません。【女性/40～49歳/その他】

☆公民館での企画があるが、平日に行われるため興味がある内容でも参加ができません。平日は仕事の方も多く参加が難しいので、できれば土日にしていただけるともっと参加しやすくなるのではないでしょうか。【女性/50～59歳/パートタイマー】

☆昨今は平日休みの企業が増えてきているにも関わらず、市が開催・紹介しているイベント等が土日に集中している。私も平日休みの企業に務めているので、興味がある講座や催し物があっても参加できない。平日開催の物が増えると嬉しい。【女性/40～49歳/会社員】

☆市が主導となり、もっと生成ＡＩなど新しい取り組みを学ぶ場を設けて欲しい。【男性/50～59歳/会社員】

☆手話の勉強を続けたいが、ある程度のレベルに達しているため通う講座がない。手話通訳を目指す以外に通える講座があると嬉しい。【女性/50～59歳/会社員】

☆子どもと一緒に参加するものや高齢者が対象のものばかりで、私のように中年の独身女性が参加できるものも極端に少ない。【女性/40～49歳/会社員】

☆市の講座は定員があり、人気があるものは倍率2.5倍で半数以上の人が落選で受けれない。週２回や１日２部に増やして継続して受講できるよう要望も出しています。現在開講しているものをニーズに合わせて見直していく体制にして欲しい。【女性/50～59歳/家事専業】

☆コミュニティを作る上で地元の方ばかりではなく新しく入ってくる方々が活動しやすい（入りやすい）ように整備する事は必要かと思います。また市だけではなく、民間企業やスポーツ事業者の方との連携を強くしていく事も必要かと思います。【男性/40～49歳/会社員】

☆子育てが終わってからは必要がないので１度も活動などには参加していないのでわかりません。また、フルタイムで仕事をしていると時間がないのと地域の方達との人間関係がとても煩わしいので参加したくありません。プライベートでも付き合わないといけなかったり個人情報が知られるのも良くないと感じています。【女性/60～69歳/会社員】

２．施設・設備について（14件）

☆図書館分館も本館のように学生が学びやすい雰囲気にしてほしい。狭いのは承知だが、勉強してると冷たい目線で見られる。高齢の方が寝ているよりも学生が勉強した方が座席の使い方としては適切だと思う。Wi-Fiを使えるようにしてくれると図書館で市が開くオンラインの講座とかも受けられるようになると思う。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆自分はバスケをしていて、バスケットコートがとても少ないと感じるので、もっとバスケットコートを増やして欲しいです。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆生成ＡＩ利用に関する費用の補助や、陸上競技場のより利用しやすい時間での開放拡大、高性能な端末購入への補助に対して、視野に入れて検討してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】

☆無償で学習ができるような施設（スペース）をもっと増やしてほしい【女性/17歳/学生又は高校生】
☆自習室や学生が気軽にサークル活動や文化活動を行える施設が少ないように感じる。児童館や公民館をもっと気軽に利用できるように解放してほしい。【男性/17歳/学生又は高校生】
☆町内会館を公民館と同じ様に使用出来たらと思います。黒板とかもあったらいいと思う。調理実習が近くにあったら、田島には近くには内間木公民館があります、利用したいと思います。【女性/80歳以上/無職】
☆自主学習できる場所がもっと欲しい。社会人が勉強できる場所が有料でもいいので提供されると嬉しい。【男性/40～49歳/会社員】
☆図書館で専門的な知識を得られる本などが増えると嬉しいです。個人的なことですが、例えばプログラミング言語を活用できるUnityというゲームを作れるツールを学習できる本など、子供たちにとって「こんな世界もあるんだ。やってみよう、やりたい」など夢を育むことも大切だと思います。私は子供のころにもっと図書館に通っていればよかったと最近思いました。そんな時、色々な選択肢があると未来が広がります。【男性/20～29歳/無職】
☆趣味を活かしてお菓子販売や曜日別で気軽にカフェやランチができるレンタルキッチン付きの施設を作って、地域の高齢者や子育てママ達が気軽に集えるコミュニティを活性化させてほしい。【女性/40～49歳/会社員】
☆学習できる場所を増やして欲しい。または現在の図書館などの学習できる場所を効率的に運用できる仕組みにして欲しい。【男性/40～49歳/会社員】
☆図書館が少し古い感じがします。自習スペースを増やしたり、蔵書以外にも魅力的な設備が欲しいと思う。（ＶＲ試聴とか？）【女性/40～49歳/家事専業】

３．情報発信について（６件）

☆情報提供をもっと伝えて欲しい【女性/17歳/学生又は高校生】
☆市の生涯学習活動をよく知らない。学校や職場での周知や、SNSなどを活用してもよいのでは。【男性/17歳/学生又は高校生】
☆ボランティア活動の実施日や場所をオンラインなどで確認できるツールなどがあると参加しやすいと思います。【男性/20～29歳/無職】
☆『広報あさか』で惹かれた催し・講座は二次元コードから詳細にとんでみたりしますが、ここで得られる情報がもう少し詳しく魅力的だと良いと思います。【女性/50～59歳/家事専業】
☆また、これは生涯学習の中で、朝霞市のマスコットキャラクターのぽぽたんの魅力を発信していくような活動があったら参加したいです。他のゆるキャラに比べてグッズも少ないし、ＳＮＳでの発信も少ないので、増やしていって、アニメーションなども作成してもっとキャラを確立すればファンは増えると思います。ぽぽたんの存在をもっと売り出すことは朝霞の発展において、かなり近道だと思い、今のままでは勿体無いと思います。ご検討よろしくお願いします。【女性/30～39歳/会社員】

４．高齢社会における生涯学習について（３件）

☆ボケ防止の為マージャン教室を開催してほしい。【女性/60～69歳/無職】
☆現在老人ホームに入居中で何も参加出来ません。【女性/80歳以上/無職】

5．子育て中の生涯学習について（２件）

☆兄弟が多い世代が多いので、できれば未就園児から参加できるスポーツイベントなどがあると嬉しいです。【女性/30～39歳/パートタイマー】

☆小さい子供がいると、どうしても行動が制限されてしまう。自分の時間がとれなかったり、預けられる場所がないから参加できないことも多々ある。生涯学習をする上で、気軽に子供を預けられる場所がほしい。収入に余裕があるわけではないので、手の届く価格での預け先、学習先があると良い。【女性/30～39歳/家事専業】

6．児童・生徒の生涯学習について（４件）

☆子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことはという質問は２つまでしか選択できませんでしたが、個人的には選択肢のうちに重要でないものなどないと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆また、生涯学習、学校教育関わらず何かを学ぶことは個人のやる気次第でしかないので、何かをやりたいと思えた人が我慢せず行動できるようにサークル等の間口は多いに越したことはないと思います。ですが、上記の通り個人でやる気を出した人はしがらみがあっても強引に行動に移すので、本気でやりたい人にサポートなんてほとんどいらないと思います。といっても、それは自分である程度自由にできるお金があったり、環境が整っている場合に限ったことなので、そういったものに恵まれない子どもたちが興味のある事を始めるきっかけを作れたらいいなと思います。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆学生の海外留学への支援を充実させてほしいです。学生で海外留学したいけど費用がなくできない人が多いと思うからです。さいたま市などではそのような支援が充実してていいなと思いました。国際系に進みたい人が私の周りにも多いのでぜひ検討していただきたいです。【女性/17歳/学生又は高校生】

☆家庭環境によって、学習する機会が得られないお子様も居るので、地域の子供達に学習する機会を均等に提供出来る体制を作ってもらいたいです。居場所作りだけではなく、その先の将来に繋がるスキルを身につける事が出来る場所があればと思います。衣食住を満たすだけではなく、心の成長や学習する事の喜びや学び方を教えてあげられたら良いと思います。私個人としては、教員免許も取得しながら、活用出来ていないので、地域のお子様の学習サポートが出来る場所があれば、お手伝いしたいと思っています。今後は地域の皆様に自分が出来る事をして、少しでもお役に立てればと考えておりますし、そうする事で、新たな学びを得たいと思っています。【女性/50～59歳/公務員】

7．学習活動の参加支援について（２件）

☆一つ希望することは宮戸地区は中心から離れ遠い。参加したくとも宮戸地区での催しが少ない。特に北朝霞公民館はすべて狭くて使用しにくい。市の中心だけの行事だけでなく市民参加しやすい身近な場所を望む。【女性/80歳以上/その他】

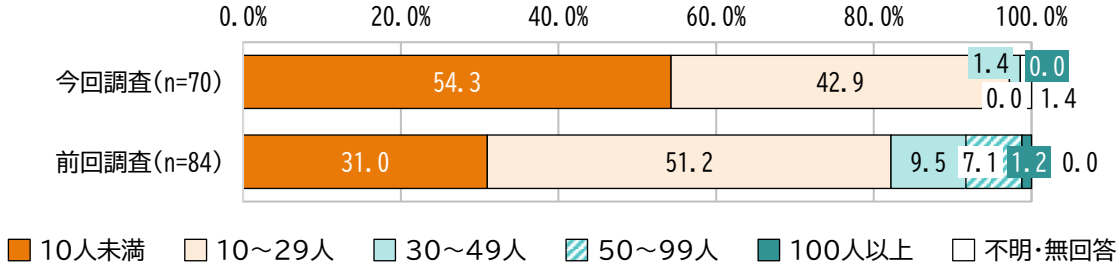
☆博物館・産業文化センター・旧高橋家住宅などでの講座は、魅力的と感じますが。ただ、自身は目が悪く自家用車や自転車を使えないため、交通アクセスの点で二の足を踏んでしまっています。幸町からだと駅に出て乗り換えて…が多いので。黒目川清掃活動などのボランティア活動も同じく。この壁がもう少し低ければと思います。【女性/50～59歳/家事専業】

第４章 生涯学習団体調査の結果

（１）日ごろの活動について

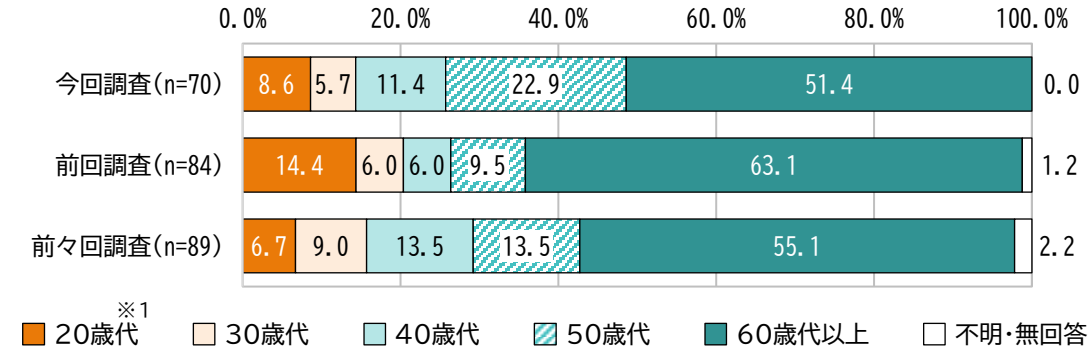
問１　１回の活動に参加される平均の人数はどのくらいですか。　（数量回答）

１回の活動に参加する平均の人数についてみると、「10 人未満」が 54.3%と最も多く、次いで「10～29 人」が 42.9%、「30～49 人」が 1.4%となっています。
前回調査と比べると、「10 人未満」が 23.3 ポイント増加しています。



問２　会員の平均年齢はいくつですか。　（単数回答）

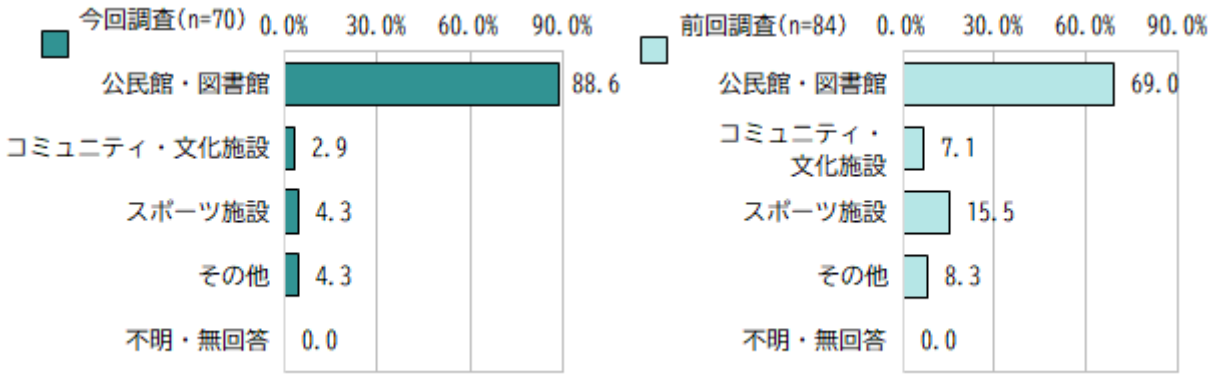
会員の平均年齢についてみると、「60 歳代以上」が 51.4%と最も多く、次いで「50 歳代」が 22.9%、「40 歳代」が 11.4%となっています。



※１：前回調査、前々回調査は「10 歳未満」、「10 歳代」、「20 歳代」の合算

問３　日ごろ利用している主な施設はどれですか。　（単数回答）

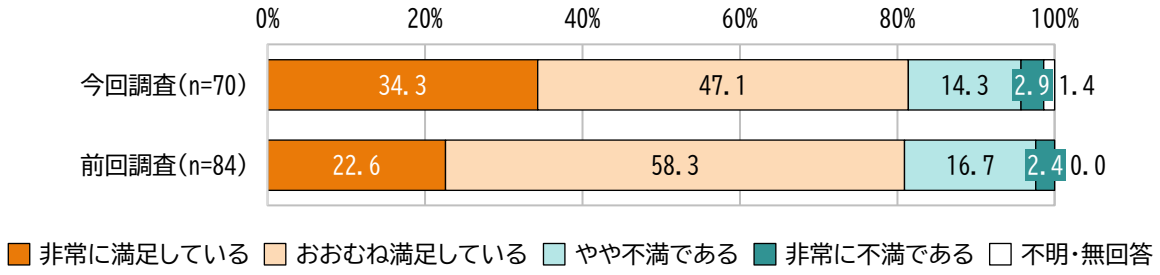
日ごろ利用している主な施設についてみると、「公民館・コミュニティセンター」が 88.6%と最も多く、次いで「スポーツ施設」、「その他」が 4.3%、「市民会館」が 2.9%となっています。



問４　よく利用する施設や設備の満足度はどのくらいですか。　（単数回答）

よく利用する施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が 47.1%と最も多く、次いで「非常に満足している」が 34.3%、「やや不満である」が 14.3%となっています。また、「非常に満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足している』は 81.4%となっています。

前回調査と比べると、「非常に満足している」が 11.7 ポイント増加しており、「おおむね満足している」が 11.2 ポイント減少しています。

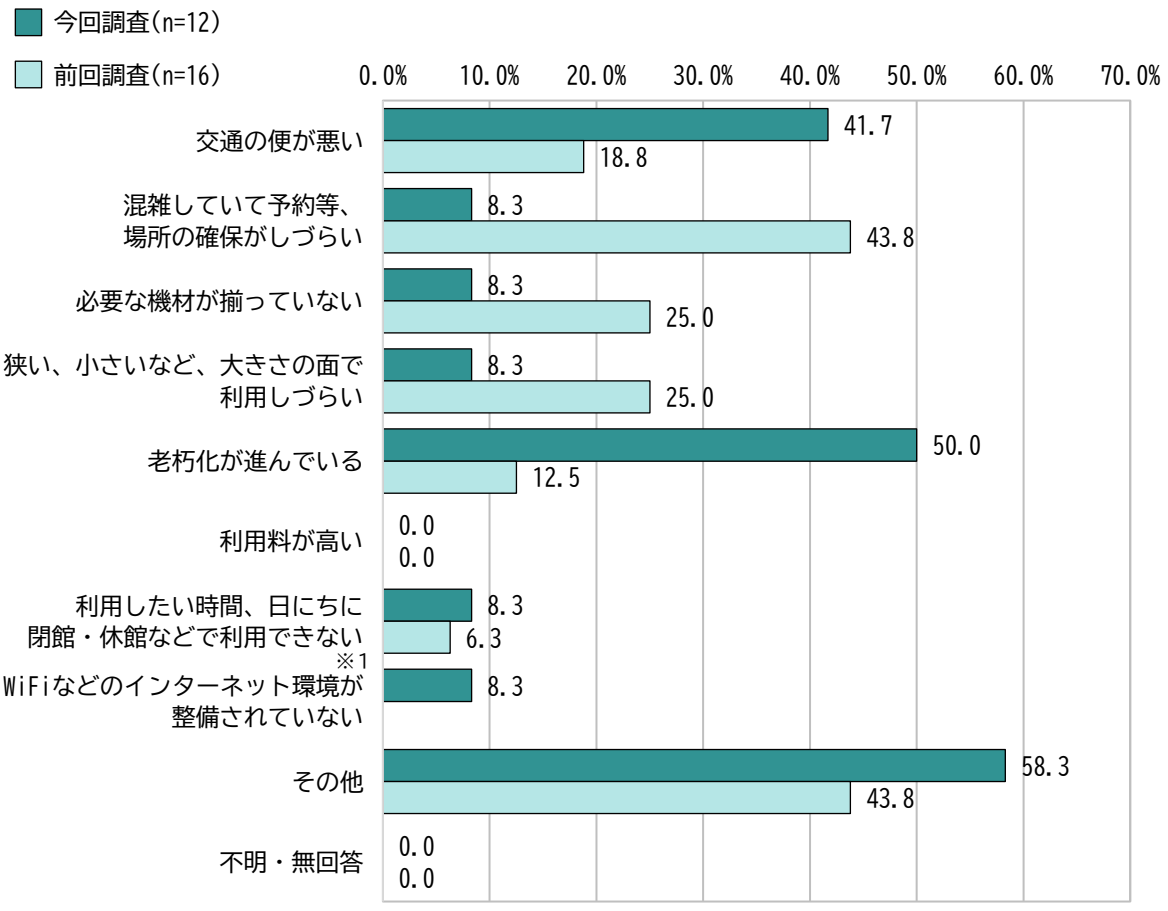


問４で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した団体におたずねします。

問５　施設や設備に不満を感じる理由はなんですか。　（複数回答）

施設や設備に不満を感じる理由についてみると、「その他」が 58.3%と最も多く、次いで「老朽化が進んでいる」が 50.0%、「交通の便が悪い」が 41.7%となっています。

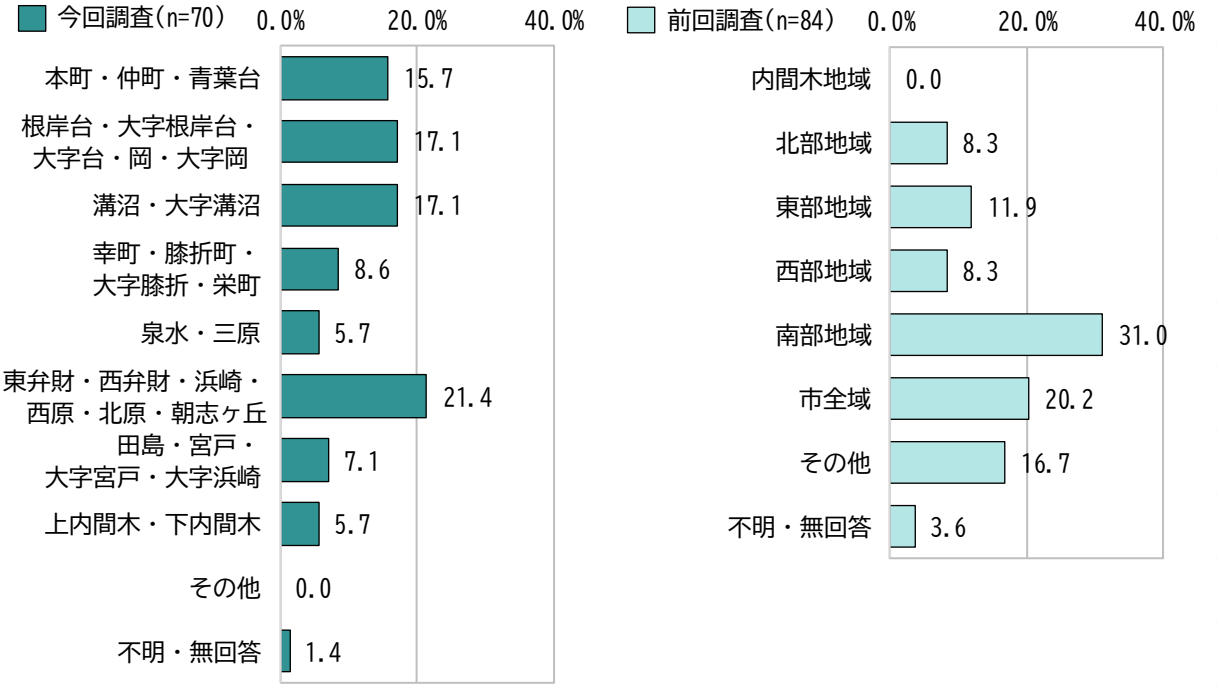
前回調査と比べると、「交通の便が悪い」、「老朽化が進んでいる」、「その他」が増加しており、「混雑していて予約等、場所の確保がしづらい」、「必要な機材が揃っていない」、「狭い、小さいなど、大きさの面で利用しづらい」が減少しています。



※１：今回調査の新規選択肢

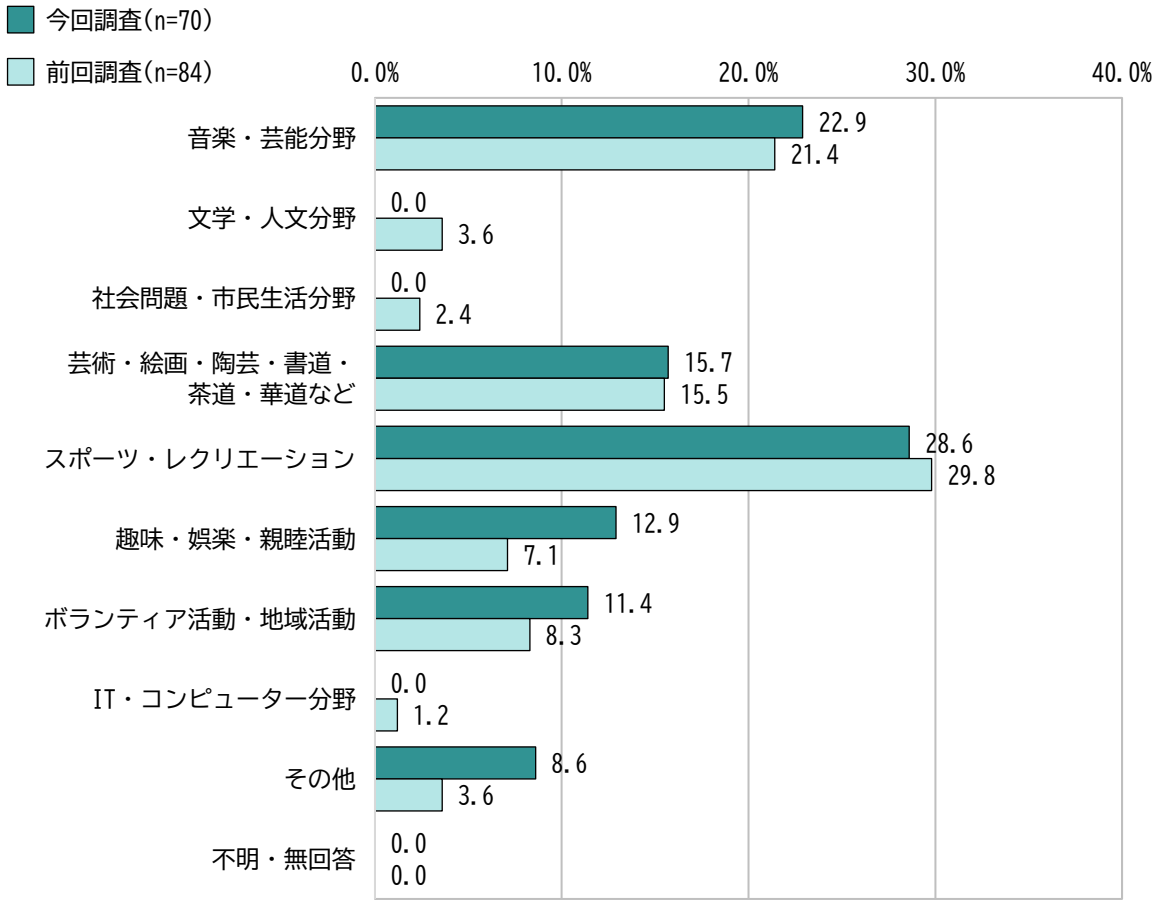
問６ 日ごろ活動されている主な地域はどこですか。 （単数回答）

日ごろ活動している主な地域についてみると、「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が 21.4％と最も多く、次いで「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「溝沼・大字溝沼」が 17.1％、「本町・仲町・青葉台」が 15.7％となっています。



問７ 主な活動の分野はどれですか。 （単数回答）

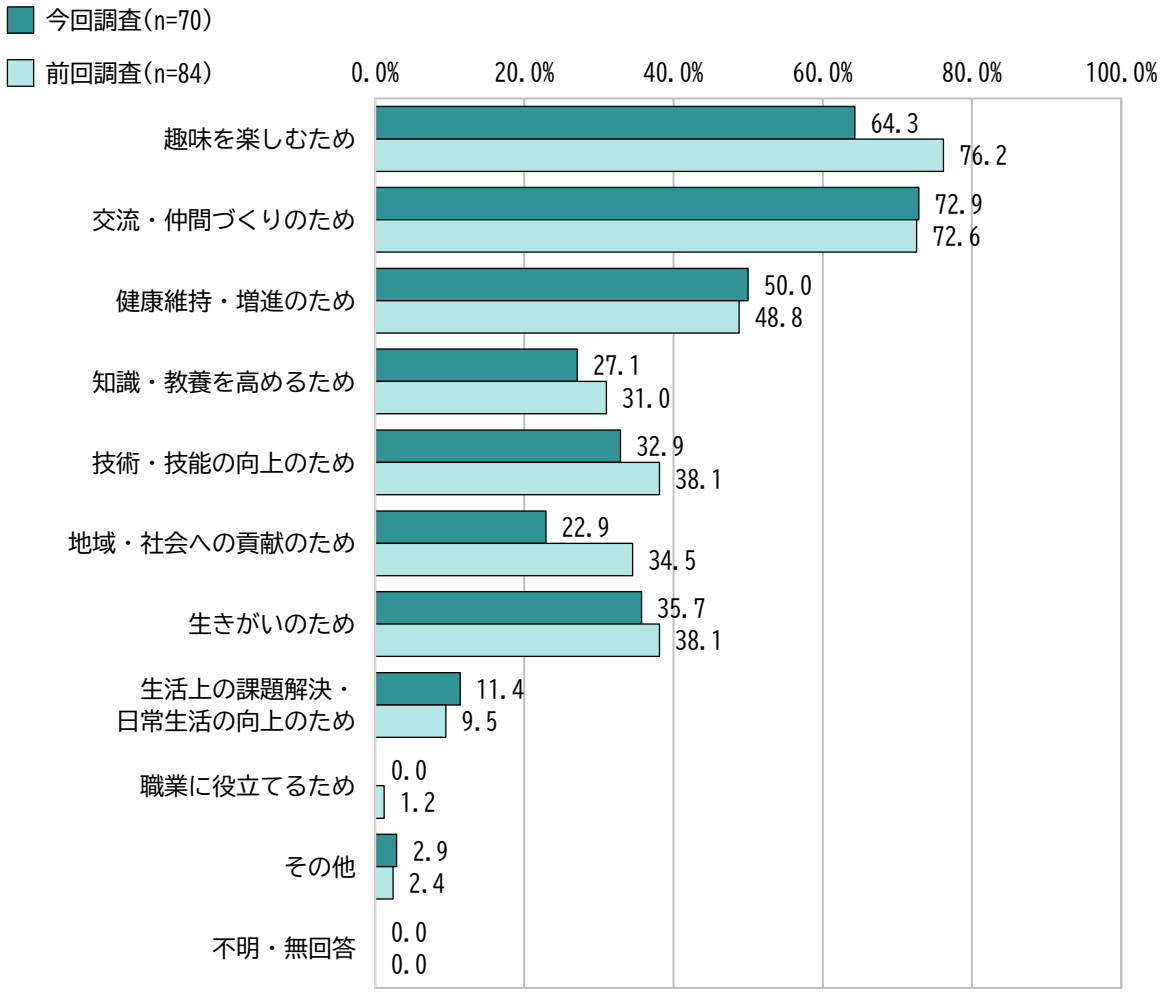
主な活動の分野についてみると、「スポーツ・レクリエーション」が 28.6%と最も多く、次いで「音楽・芸能分野（コーラス・器楽演奏・舞踊・演劇など)」が 22.9%、「芸術・絵画・陶芸・書道・茶道・華道など」が 15.7%となっています。



問８ 活動の目的はなんですか。 （複数回答）

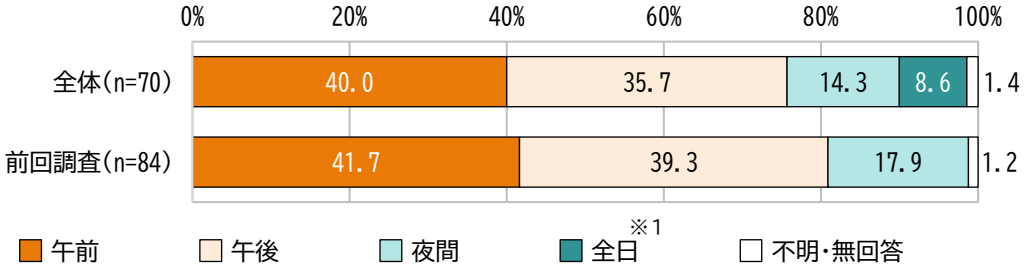
活動の目的についてみると、「交流・仲間づくりのため」が 72.9%と最も多く、次いで「趣味を楽しむため」が 64.3%、「健康維持・増進のため」が 50.0%となっています。

前回調査と比べると、「趣味を楽しむため」、「地域・社会への貢献のため」が減少しています。



問９ 主な活動時間はいつですか。 （単数回答）

主な活動時間についてみると、「午前」が 40.0%と最も多く、次いで「午後」が 35.7%、「夜間」が 14.3%となっています。

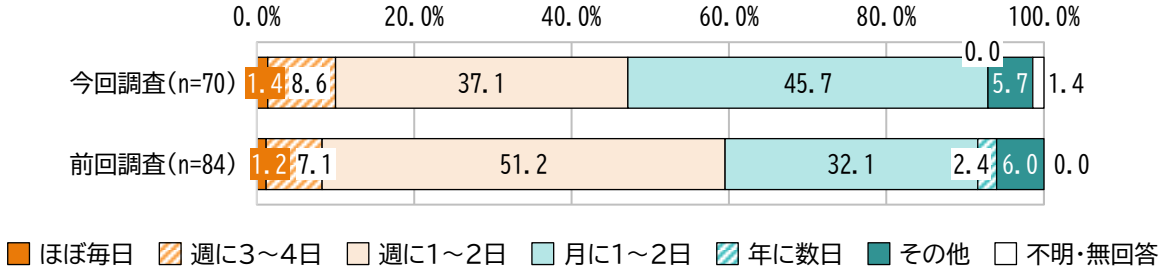


※１：今回調査の新規選択肢

問 10 活動頻度はどのくらいですか。　（単数回答）

活動頻度についてみると、「月に１～２日」が 45.7%と最も多く、次いで「週に１～２日」が 37.1%、「週に３～４日」が 8.6%となっています。

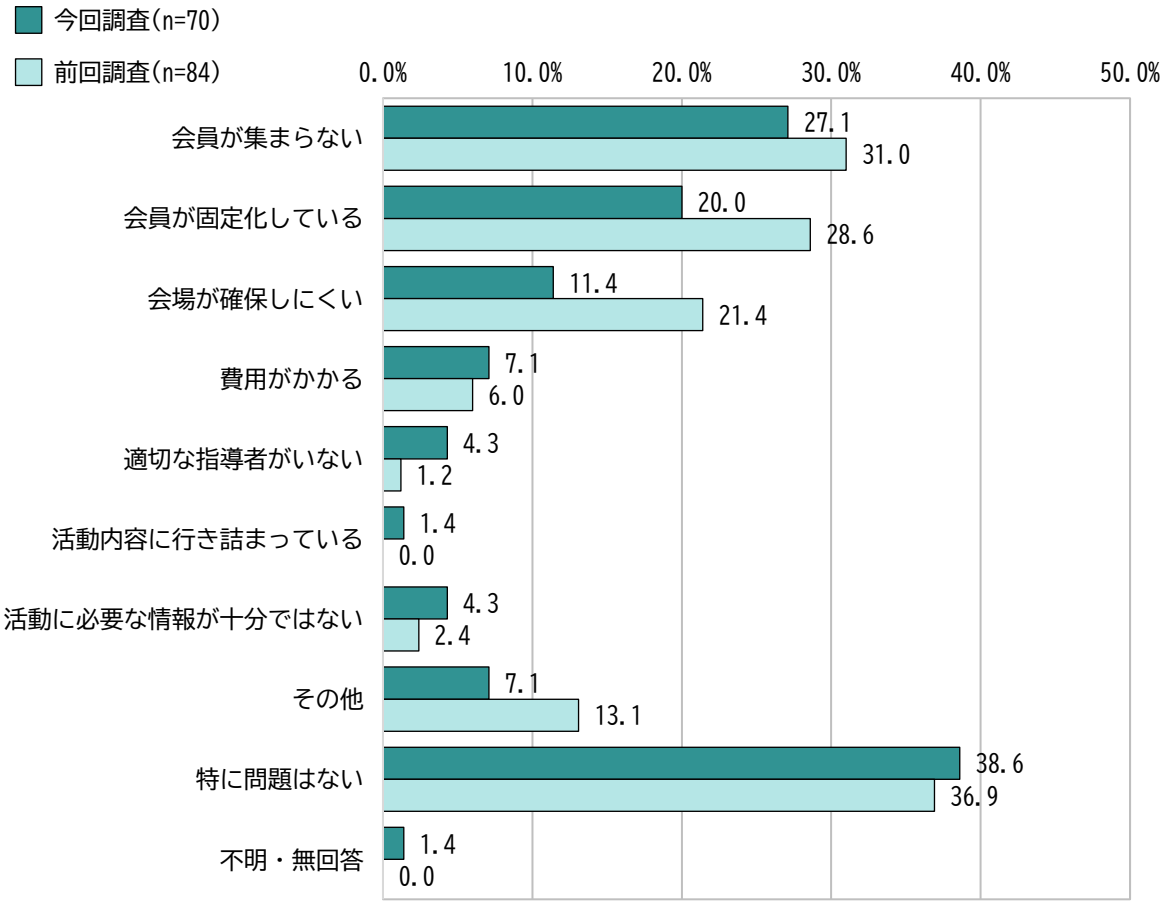
前回調査と比べると、「月に１～２日」が 13.6 ポイント増加しており、「週に１～２日」が 14.1 ポイント減少しています。



問 11 活動における課題はなんですか。　（複数回答）

活動における課題についてみると、「特に問題はない」が 38.6%と最も多く、次いで「会員が集まらない」が 27.1%、「会員が固定化している」が 20.0%となっています。

前回調査と比べると、「会場が確保しにくい」が 10.0 ポイント減少しています。

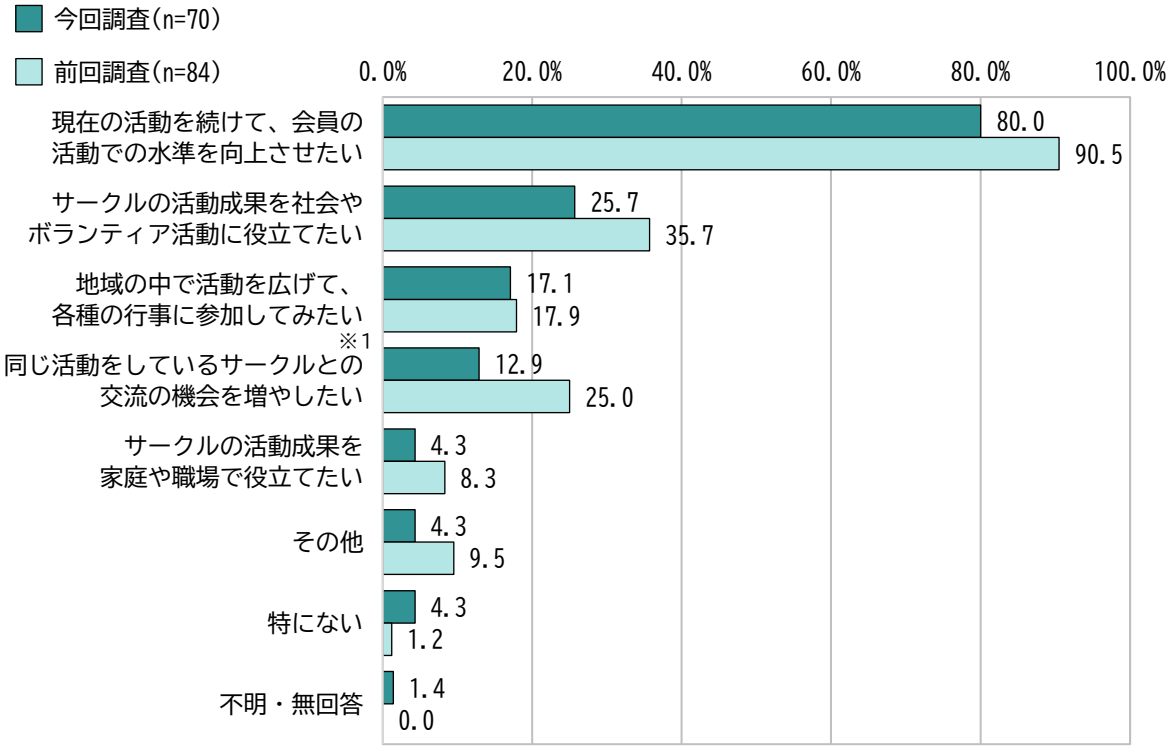


（２）今後の活動について

問 12 今後の活動の進め方についてはどのようにお考えですか。　（複数回答）

今後の活動の進め方についてみると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」が 80.0%と最も多く、次いで「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」が 25.7%、「地域の中で活動を広げて、各種の行事に参加してみたい」が 17.1%となっています。

前回調査と比べると、「現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい」、「サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい」、「同じ活動をしているサークルとの交流の機会を増やしたい」が減少しています。

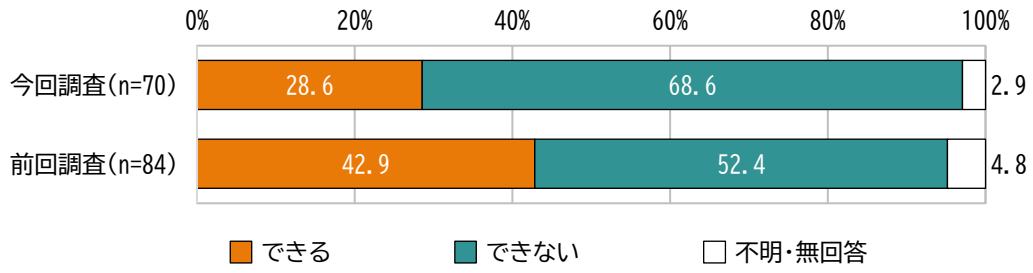


※１：前回調査は「同じ活動をしている団体・サークルとの交流の機会を増やしたい」

問 13 貴団体から市の生涯学習事業に講師を派遣することは可能ですか。　（単数回答）

市の生涯学習事業に講師を派遣することについてみると、「できる」が 28.6%、「できない」が 68.6%となっています。

前回調査と比べると、「できる」が 14.3 ポイント減少しています。

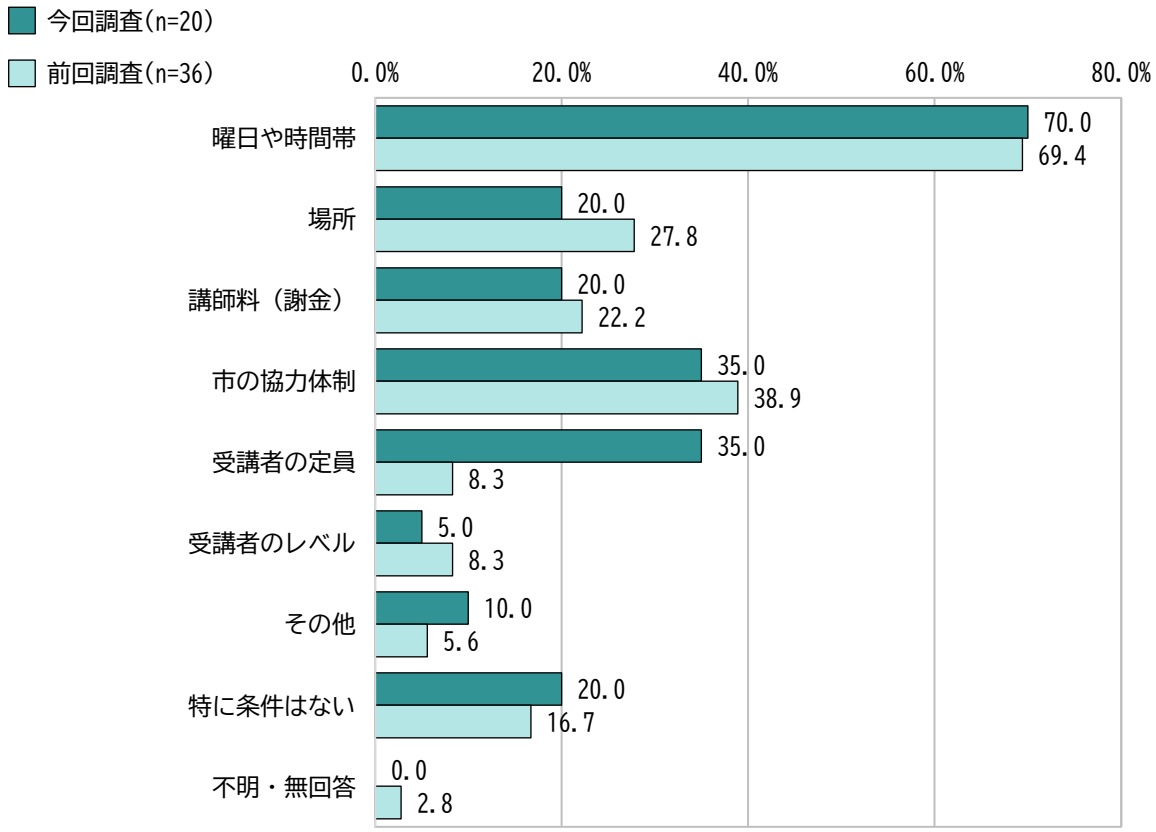


問13で「できる」と回答した団体におたずねします。

問 14 講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件はなんですか。　（複数回答）

講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件についてみると、「曜日や時間帯」が 70.0%と最も多く、次いで「市の協力体制」、「受講者の定員」が 35.0%、「場所」、「講師料（謝金）」、「特に条件はない」が 20.0%となっています。

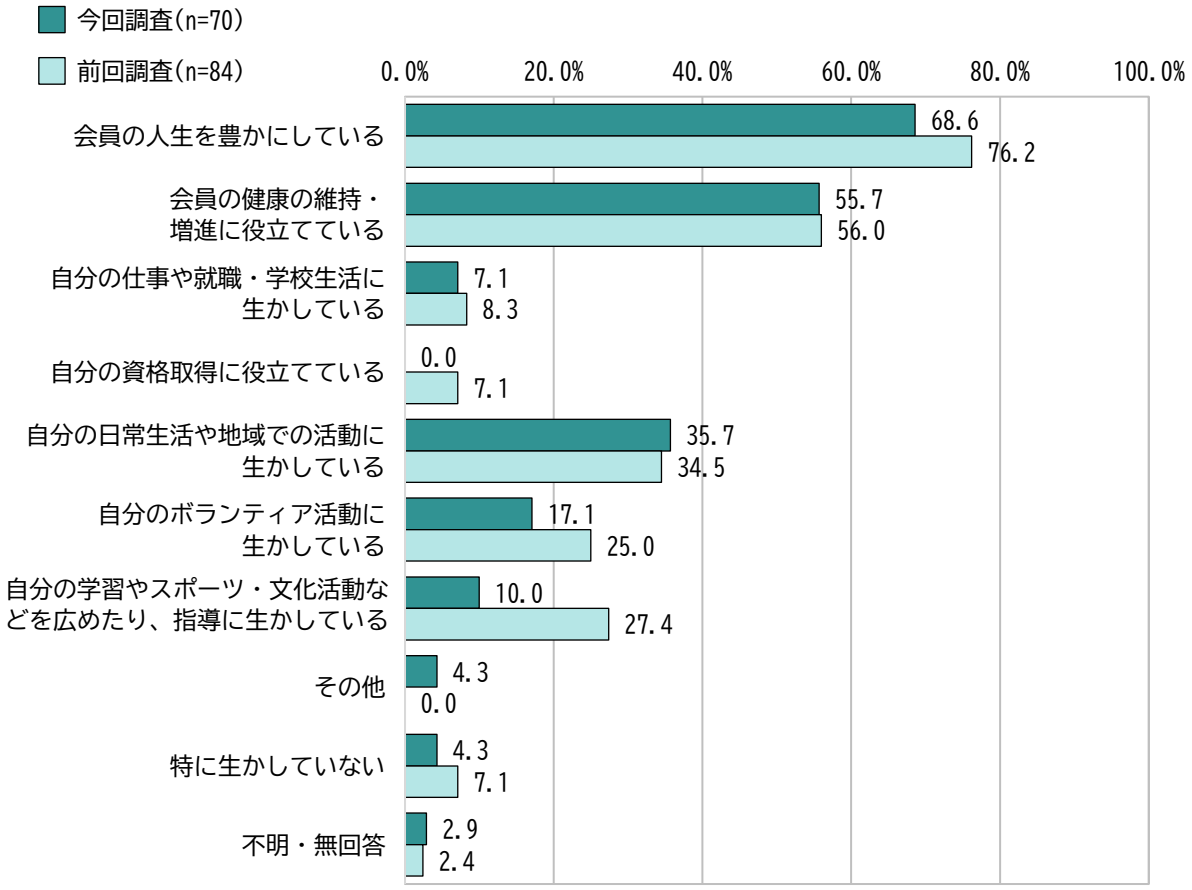
前回調査と比べると、「受講者の定員」が 26.7 ポイント増加しています。



問 15 生涯学習で身につけたことや活動成果はどのように生かしていますか。　（複数回答）

生涯学習で身につけたことや活動成果をどのように生かしているかについてみると、「会員の人生を豊かにしている」が 68.6％と最も多く、次いで「会員の健康の維持・増進に役立てている」が 55.7％、「自分の日常生活や地域での活動に生かしている」が 35.7％となっています。

前回調査と比べると、「自分の学習やスポーツ・文化活動などを広めたり、指導に生かしている」が 17.4 ポイント減少しています。



問 16 最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1．生涯学習全般について（13件）

☆障害者の地域参加において、一般市民との相互理解にはまだ大きな距離があると感じます。現状、市民の方から「障害者はかわいそうだから支援すべき」「特別だから融通しなくては」といった意識が見受けられます。支援の必要性は認めつつも、もっとフラットに一市民として自然に受け入れられる関係性が理想です。また、そこにはご家庭の意識改革も必要です。例えば、市内障害者施設で働く人材を地域と障害者の間に立つ「橋渡し役」として活用すること、現場を熟知した職員がコーディネーターとなることでよりスムーズな交流が可能になるのではと思います。また、障害者施設の横のつながりを強化することはもっと必要と思います。例えば参加施設による合同実行委員会を設立し、施設対抗スポーツ大会や芸術作品展、音楽発表会などを企画してはどうでしょうか。施設の枠を超え企画段階から共に創り上げる活動を通じて各施設も支援のあり方や地域参加のあり方を考える機会になるのではと思います。

☆公民館を利用する子どもが以前に比べ大幅に減りました。その為、活動を見学に来る事が無く小学生の会員が増えません。何か子ども達を呼び込む魅力のあるコンテンツがあるといいなぁと思います。

☆施設を利用しているのは高齢者や児童が多く、どんどん辞めていくサークルが多く、もう少し足の便が良ければと願う。

☆活動における課題として、高齢化が進み、意思疎通ができない人もいる。

☆どの会も高齢化で人が少なくなっている。増員する為の計画をたてているが、なかなか難しい。

☆今後はフレイル対策等にも講座があるとよいと思います。

☆小中学生対象で、生け花を教えています。朝霞市内の小中学生に是非伝統文化（茶道や着付け等含む）を体験できる機会を設けて欲しいです。朝霞の学校だから伝統文化を体験出来るようになると良いなと思います。

2．施設・設備について（13件）

☆高齢の会員も増え施設にエレベーターがないことが、活動の妨げとなっている。多目的トイレもない公共施設がありそこから整備してほしい。

☆高齢化にともない施設の改築。特にエレベーターの設置を希望します。

☆複数のサークルで公民館などを利用していますが、なかなか活動日が取れません。施設を増やして欲しいです。

☆ダンス、舞踊はある程度広い場所が必要なのだが鏡等が足りない。

☆ミニテニスを楽しくさせて頂いていてとても感謝しております。東公民館だけはネットの具合が悪すぎて、鉄に当たり怪我人がいつか出るのではないかと危惧しています。

3．情報発信について（４件）

☆教育委員会と市役所各課との連携がもっと見える様になるといいと思います。広報でのＰＲの際、公共施設以外を会場にすると掲載が難しいということをなく、広く取り上げてほしい。

☆生涯学習活動の市民へのアピール。

☆市民伝言板について、掲載が途中の行で終わり、上の行で始まるような事はわかりにくいのでいかがなものでしょうか。余白があったのに残念です。

☆幅広い分野の活動を広く知らせてほしい。

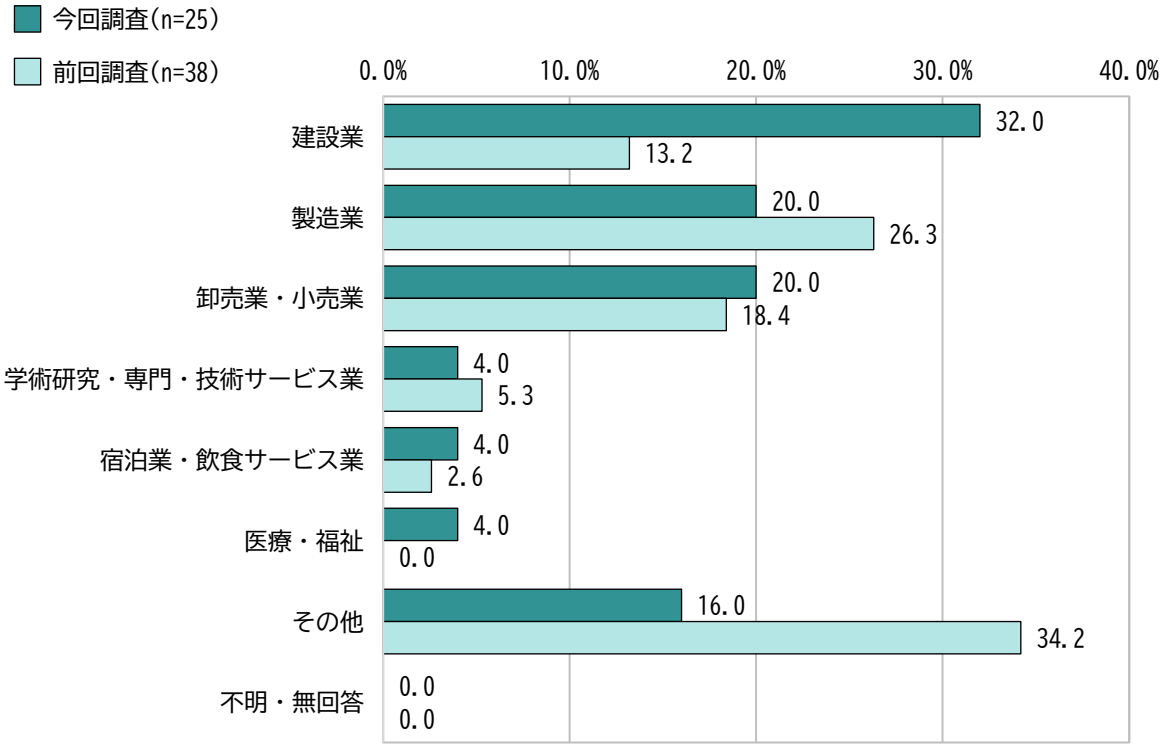
第５章 事業所調査の結果

（１）事業所について

問１ 業種をお答えください。 （単数回答）

業種についてみると、「建設業」が 32.0％と最も多く、次いで「製造業」、「卸売業・小売業」が 20.0％、「その他」が 16.0％となっています。

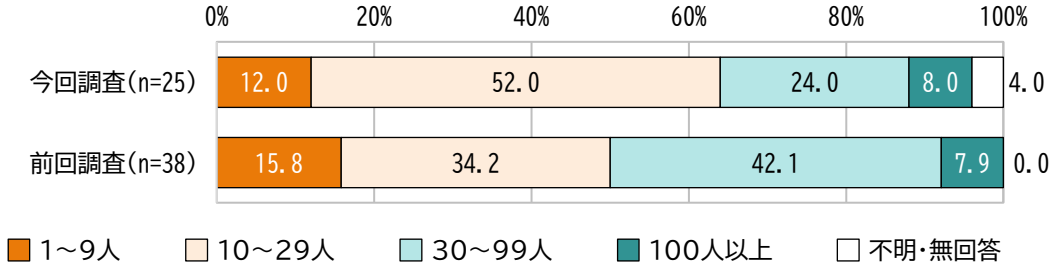
前回調査と比べると、「建設業」が 18.8 ポイント増加しており、「その他」が 18.2 ポイント減少しています。



問２ 従業員規模をお答えください。 （数量回答）

従業員規模についてみると、「10～29 人」が 52.0％と最も多く、次いで「30～99 人」が 24.0％、「１～９人」が 12.0％となっています。

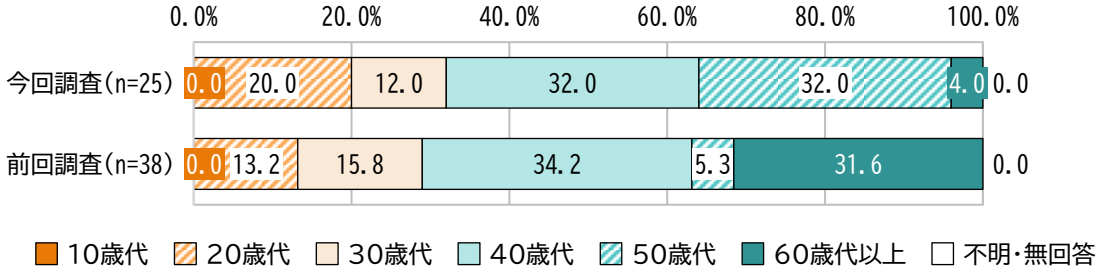
前回調査と比べると、「10～29 人」が 17.8 ポイント増加しており、「30～99 人」が 18.1 ポイント減少しています。



問３　従業員の年齢で、最も多い世代は何歳代ですか。　（単数回答）

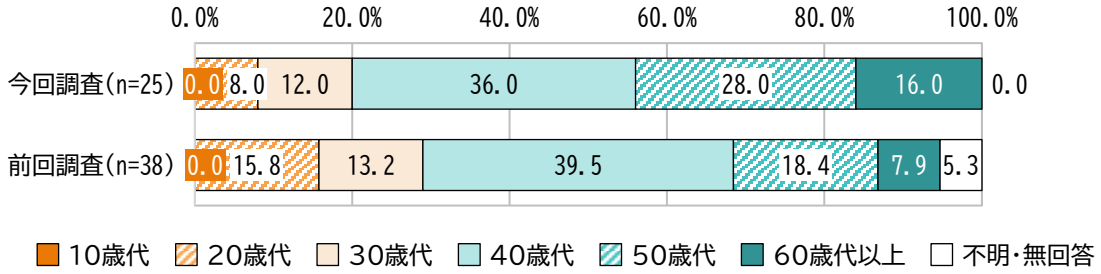
最も多い従業員の世代についてみると、「40 歳代」、「50 歳代」が 32.0％と最も多く、次いで「20 歳代」が 20.0％となっています。

前回調査と比べると、「50 歳代」が 26.7 ポイント増加しており、「60 歳代」が 27.6 ポイント減少しています。



問４　従業員の年齢で、２番目に多い世代は何歳代ですか。　（単数回答）

２番目に多い従業員の世代についてみると、「40 歳代」が 36.0％と最も多く、次いで「50 歳代」が 28.0％、「60 歳代以上」が 16.0％となっています。

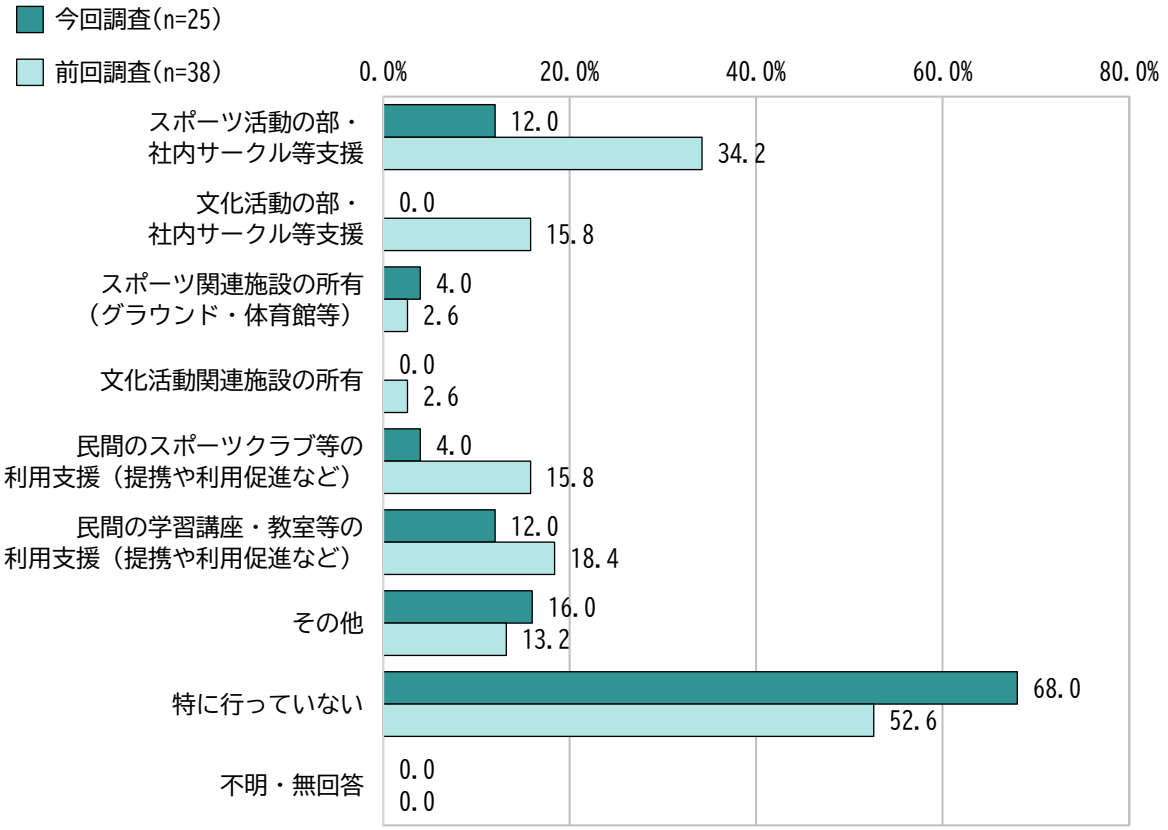


（２）事業所における生涯学習活動の状況等について

問５ 福利厚生・余暇対策等で、次のような取り組みを行っていますか。 （複数回答）

福利厚生・余暇対策等で行っている取り組みについてみると、「特に行っていない」が 68.0％と最も多く、次いで「その他」が 16.0％、「スポーツ活動の部、社内サークル等支援」「民間の学習講座・教室等の利用支援」が 12.0％となっています。

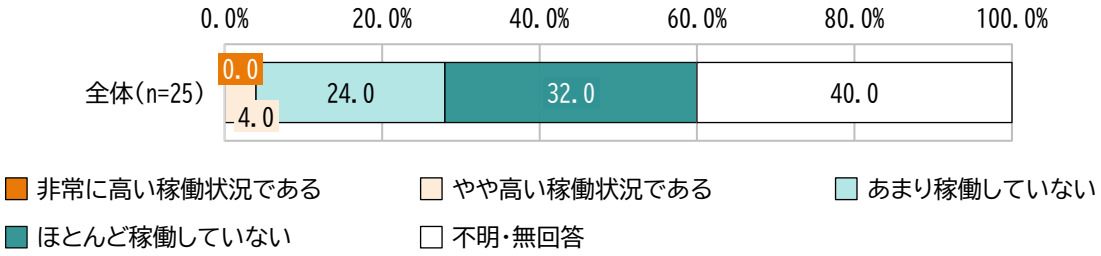
前回調査と比べると、「特に行っていない」が 15.4 ポイント増加しており、「スポーツ活動の部・社内サークル等支援」、「文化活動の部・社内サークル等支援」、「民間のスポーツクラブ等の利用支援（提携や利用促進など）」が減少しています。



問６と問７は、福利厚生・余暇対策としての設備を所有している事業所におたずねします。（※）

問６ 所有している施設や設備の稼働状況はどうですか。 （単数回答）

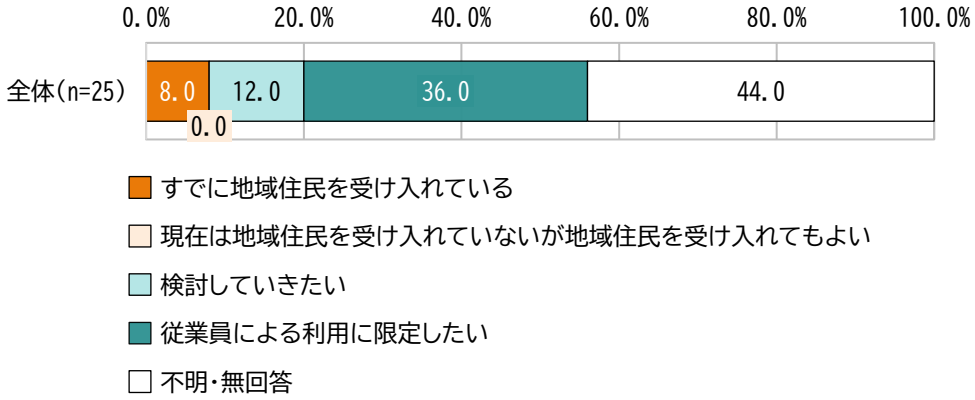
所有している施設や設備の稼働状況についてみると、「ほとんど稼働していない」が 32.0％と最も多く、次いで「あまり稼働していない」が 24.0％、「やや高い稼働状況である」が 4.0％となっています。



※集計の都合上、設備を所有していないと思われる事業所も含めて掲載しています。

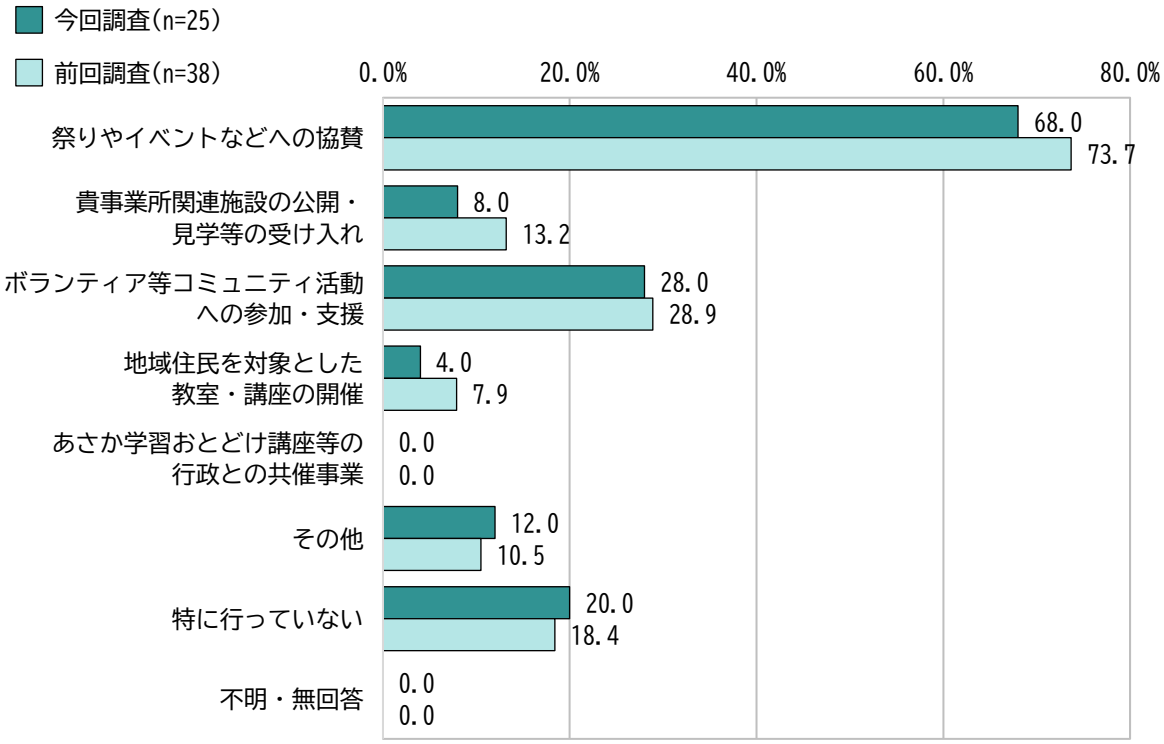
問７ 所有する各種施設や設備を地域へ開放することについて、どうお考えですか。 （単数回答）

所有する各種施設や設備を地域へ開放することへの考えについてみると、「従業員による利用に限定したい」が 36.0%と最も多く、次いで「検討していきたい」が 12.0%、「すでに地域住民を受け入れている」が 8.0%となっています。



問８ 所在地域とのつながりとして、どのような取り組みを行っていますか。 （複数回答）

所在する地域とのつながりについてみると、「祭りやイベントなどへの協賛」が 68.0%と最も多く、次いで「ボランティア等コミュニティ活動への参加・支援」が 28.0%、「特に行っていない」が 20.0%となっています。

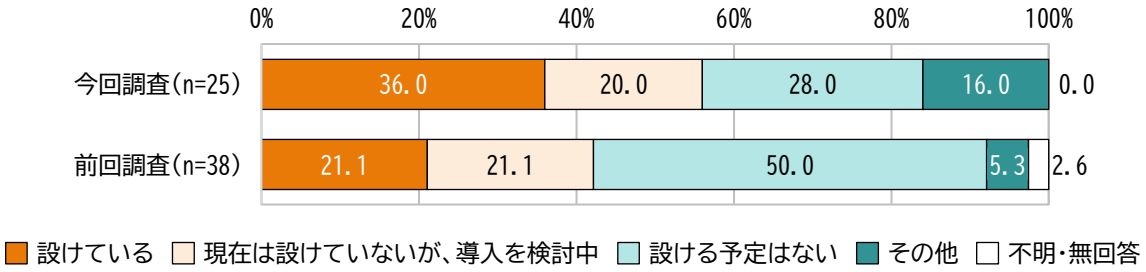


（3）従業員と生涯学習活動について

問９　従業員が資格取得など、職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けていますか。
（単数回答）

従業員の職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けているかについてみると、「設けている」が 36.0%と最も多く、次いで「設ける予定はない」が 28.0%、「現在は設けていないが、導入を検討中」が 20.0%となっています。

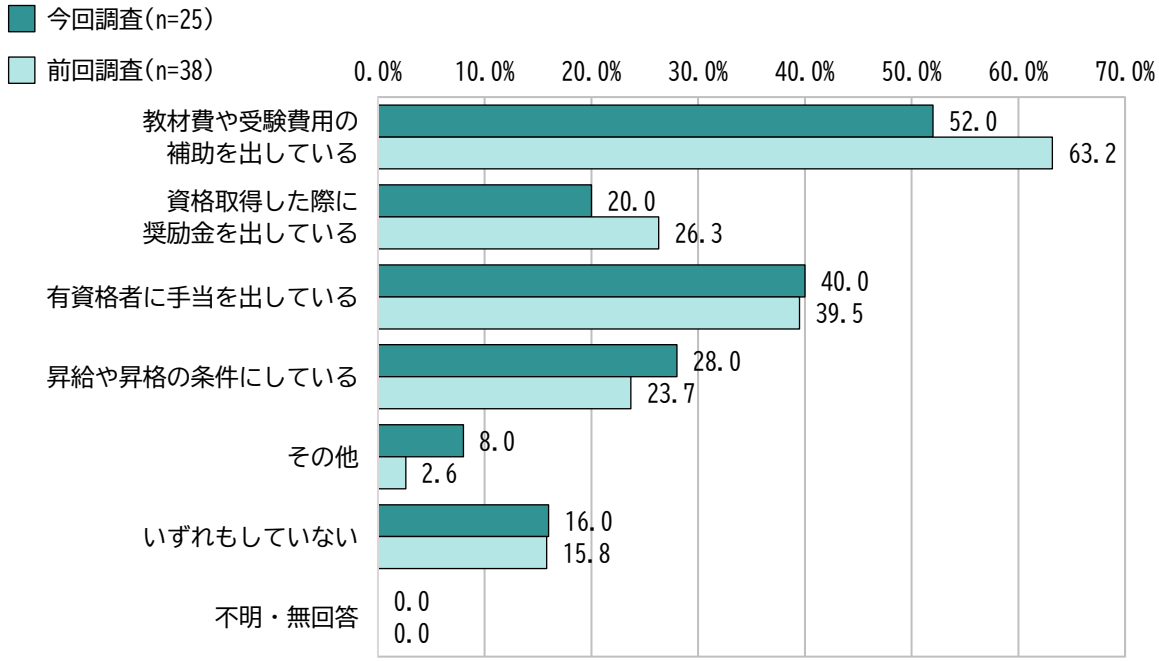
前回調査と比べると、「設けている」、「その他」が増加しており、「設ける予定はない」が 22.0 ポイント減少しています。



問 10　従業員が資格を取得することに対する支援や奨励を行っていますか。　（複数回答）

従業員が資格を取得することに対する支援や奨励の状況についてみると、「教材費や受験費用の補助を出している」が 52.0%と最も多く、次いで「有資格者に手当を出している」が 40.0%、「昇給や昇格の条件にしている」が 28.0%となっています。

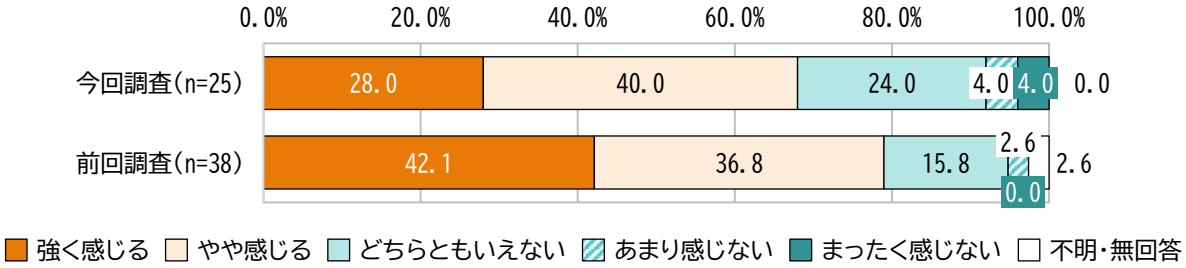
前回調査と比べると、「教材費や受験費用の補助を出している」が 11.2 ポイント減少しています。



問 11 業務に必要か否かを問わず、従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性を感じますか。（単数回答）

従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性についてみると、「やや感じる」が 40.0%と最も多く、次いで「強く感じる」が 28.0%、「どちらともいえない」が 24.0%となっています。

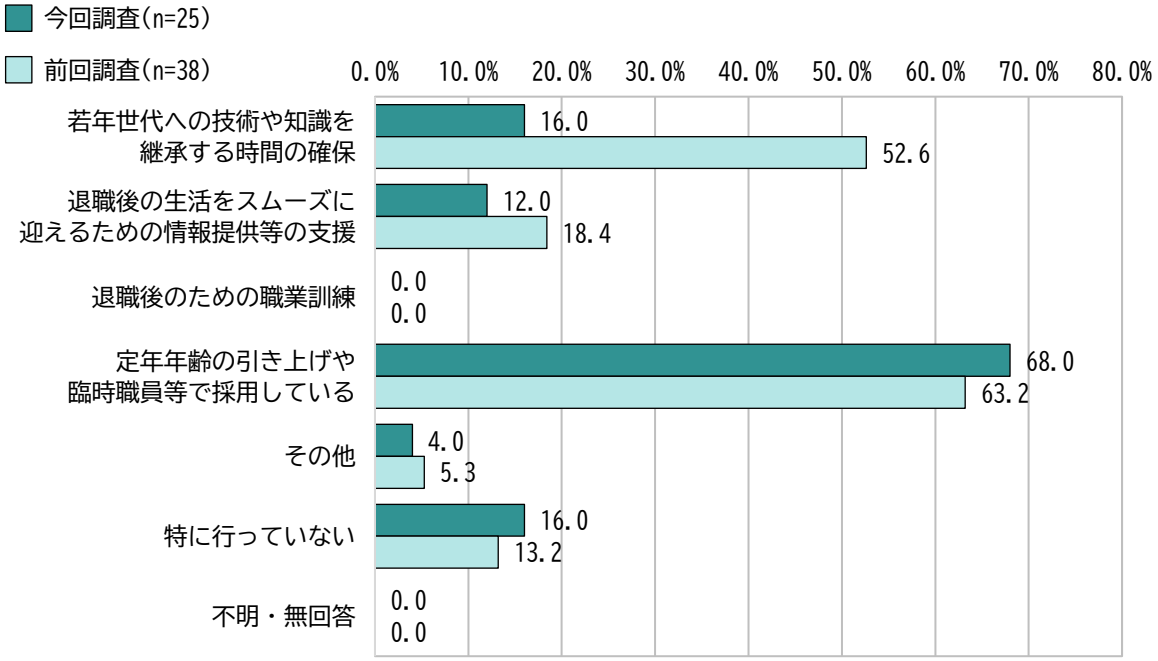
前回調査と比べると、「強く感じる」が 14.1 ポイント減少しています。



問 12 定年を迎えて、退職される方にどのような取り組みを行っていますか。（複数回答）

定年を迎えて退職する方への取り組みについてみると、「定年年齢の引き上げや臨時職員等で採用している」が 68.0%と最も多く、次いで「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」、「特に行っていない」が 16.0%となっています。

前回調査と比べると、「若年世代への技術や知識を継承する時間の確保」が 36.6 ポイント減少しています。

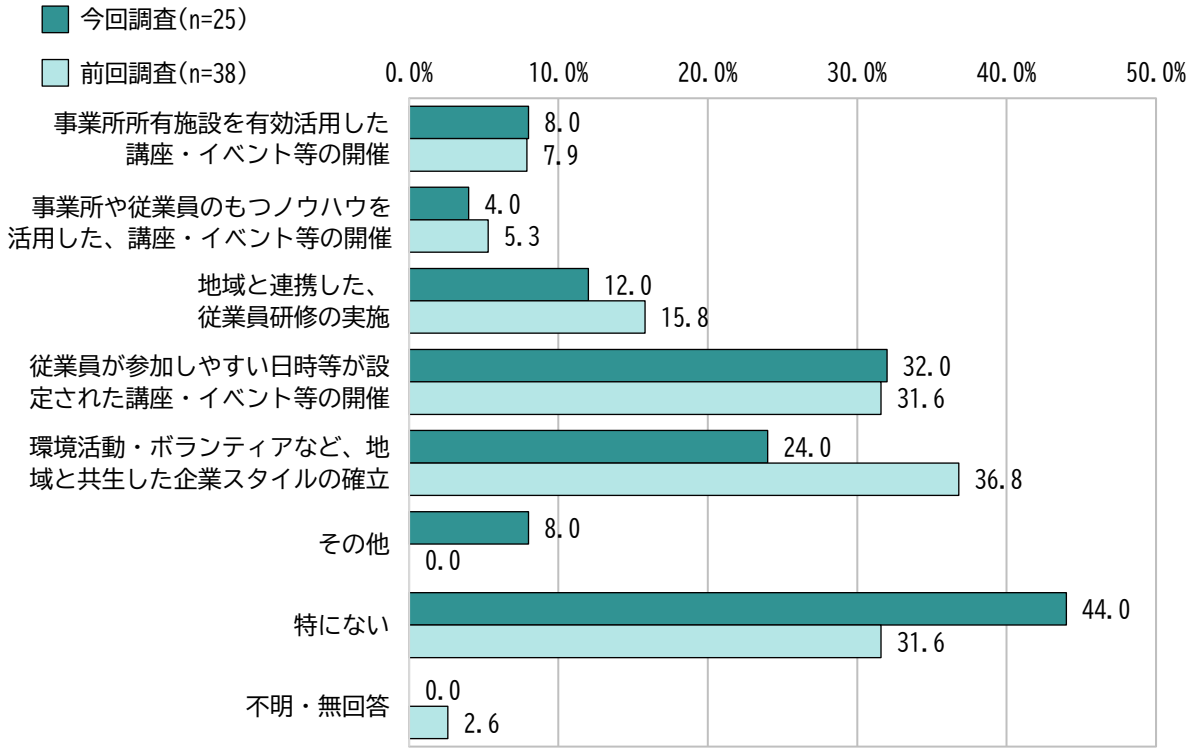


（４）朝霞市との連携について

問 13 事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものはどのようなものがありますか。
（複数回答）

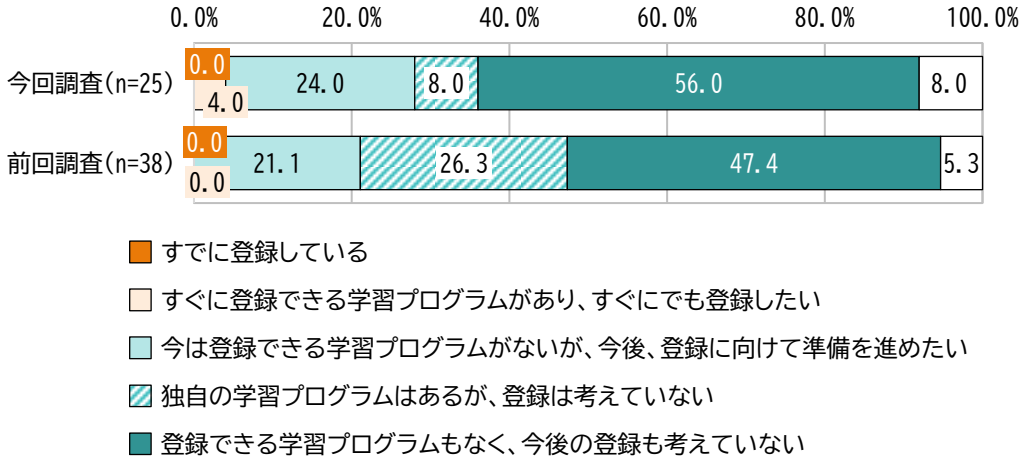
事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものについてみると、「特にない」が 44.0%と最も多く、次いで「従業員が参加しやすい日時等が設定された講座、イベント等の開催」が 32.0%、「環境活動、ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が 24.0%となっています。

前回調査と比べると、「特にない」が 12.4 ポイント増加しており、「環境活動・ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立」が 12.8 ポイント減少しています。



問 14 「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録について、どのようにお考えですか。
（単数回答）

「あさか学習おとどけ講座」の企業メニューへの登録についてみると、「登録できる学習プログラムもなく、今後の登録も考えていない」が 56.0%と最も多く、次いで「今は登録できる学習プログラムがないが、今後、登録に向けて準備を進めたい」が 24.0%、「独自の学習プログラムはあるが、登録は考えていない」が 8.0%となっています。



問 15 貴事業所が生涯学習に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。

1．今後の生涯学習について（3件）

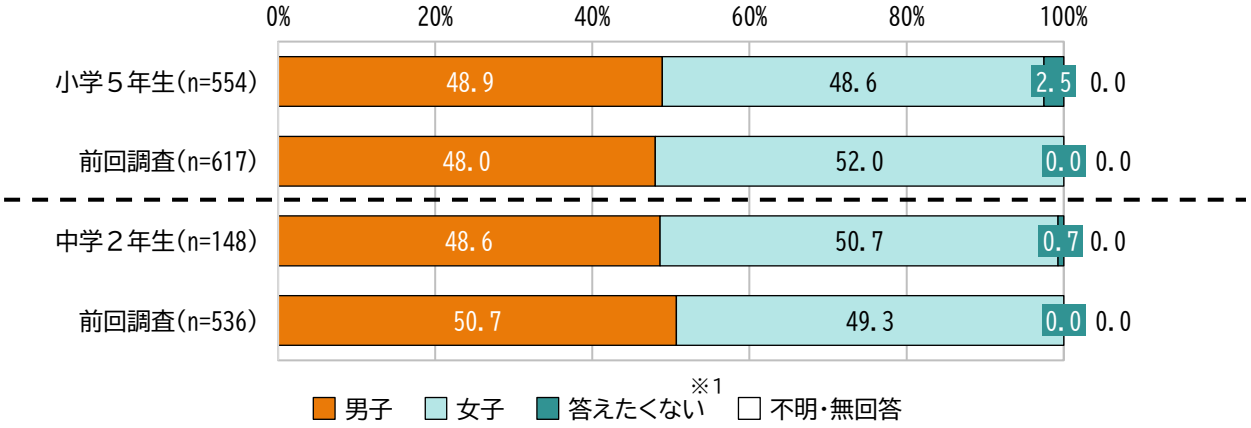
☆ボランティアを通じて地域社会との繋がりを強固なものにしたい。
☆少子高齢化が進むなか、孤独な人が増えていくことで、地域で孤立する方が予想されますので、
誰もが参加しやすいイベントや講座が必要だと思います。
☆ＩＴリテラシーの強化や情報の取捨選択能力を引き上げることが重要と思う。

第６章 小中学生調査の結果

（１）回答者自身について

問１ あなたの性別をお答えください。 （単数回答）

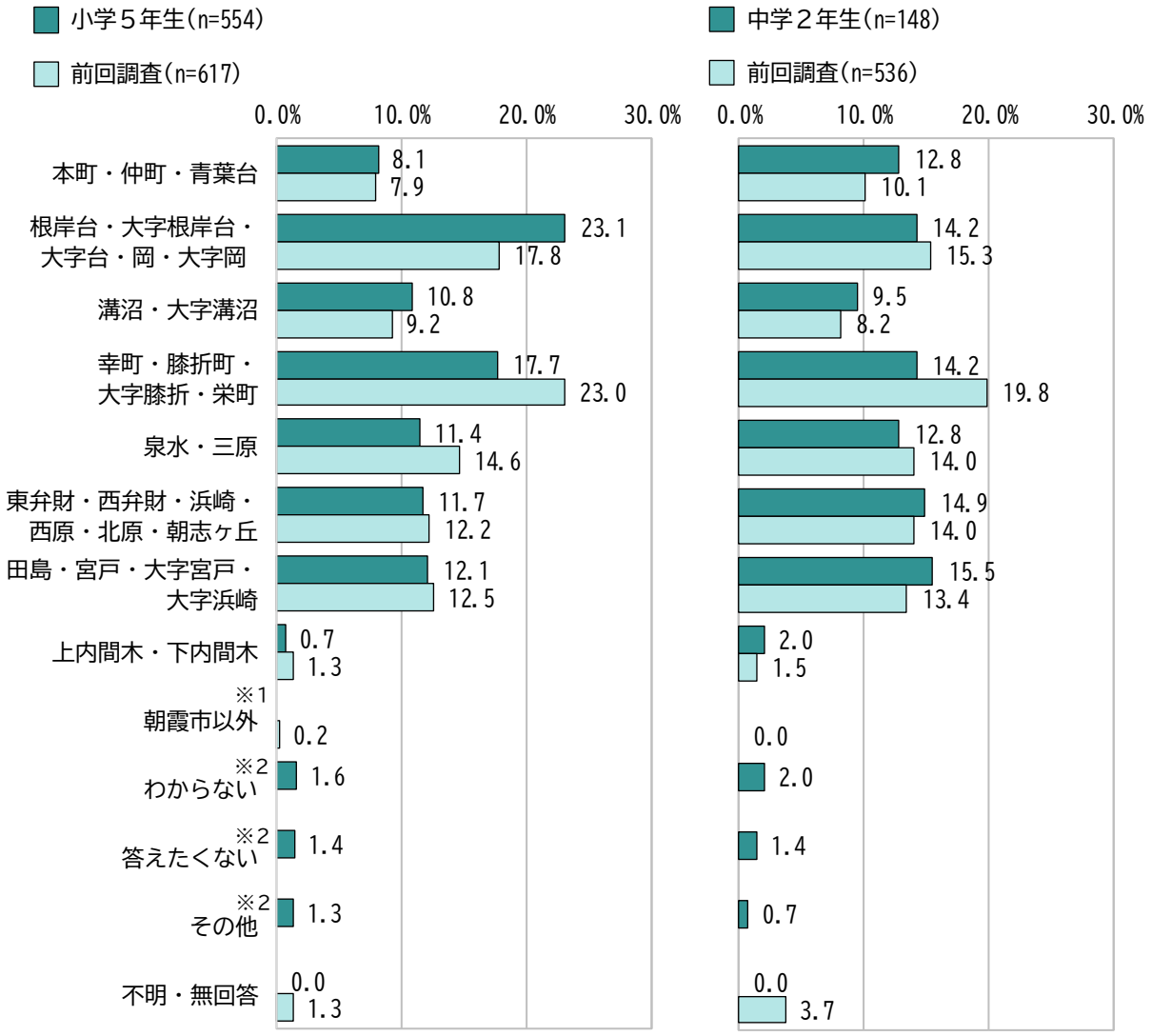
性別についてみると、小学５年生では、「男子」が 48.9%、「女子」が 48.6%、「答えたくない」が 2.5%、中学２年生では、「男子」が 48.6%、「女子」が 50.7%、「答えたくない」が 0.7%となっています。



※１：今回調査の新規選択肢

問２　あなたのお住まいの地区をお答えください。　（単数回答）

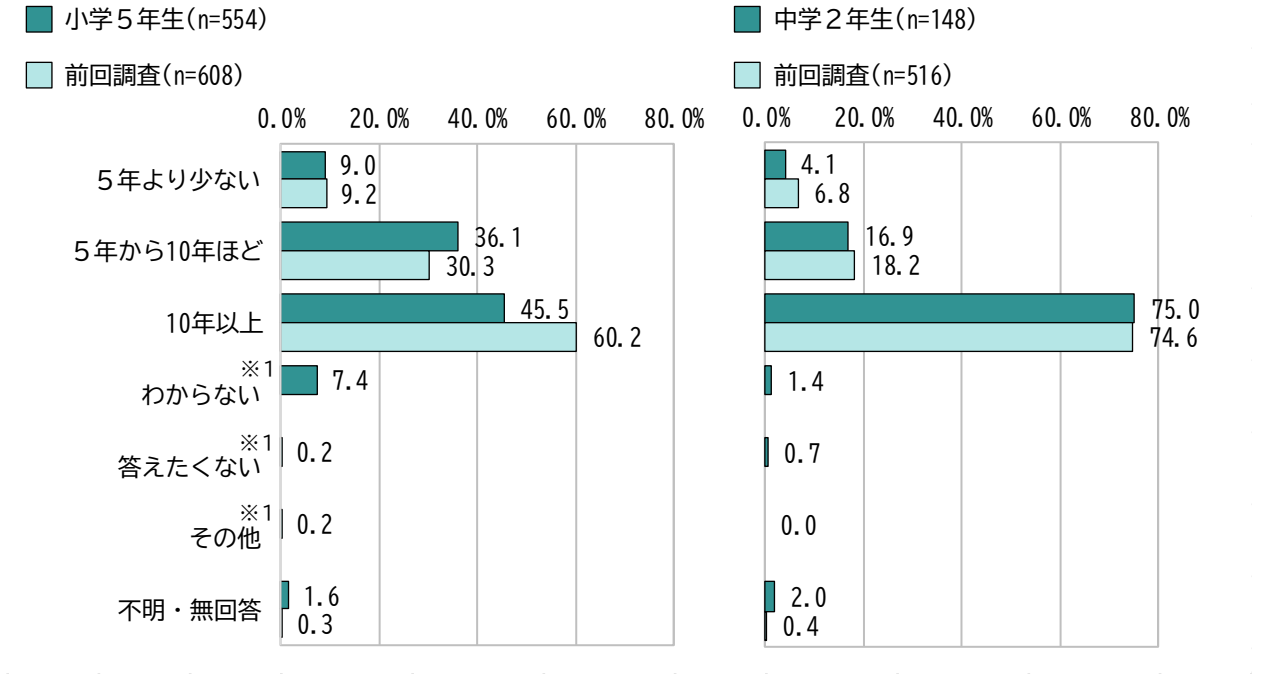
住んでいる地区についてみると、小学５年生では、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」が 23.1％と最も多く、次いで「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が 17.7％、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が 12.1％、中学２年生では、「田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎」が 15.5％と最も多く、次いで「東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘」が 14.9％、「根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡」、「幸町・膝折町・大字膝折・栄町」が 14.2％となっています。



※１：今回調査はなし
※２：今回調査の新規選択肢

問３ 朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。 （単数回答）

朝霞市に住んでいる年数についてみると、小学５年生では、「10 年以上」が 45.5%と最も多く、次いで「５年から 10 年ほど」が 36.1%、「５年より少ない」が 9.0%、中学２年生では、「10 年以上」が 75.0%と最も多く、次いで「５年から 10 年ほど」が 16.9%、「５年より少ない」が 4.1%となっています。

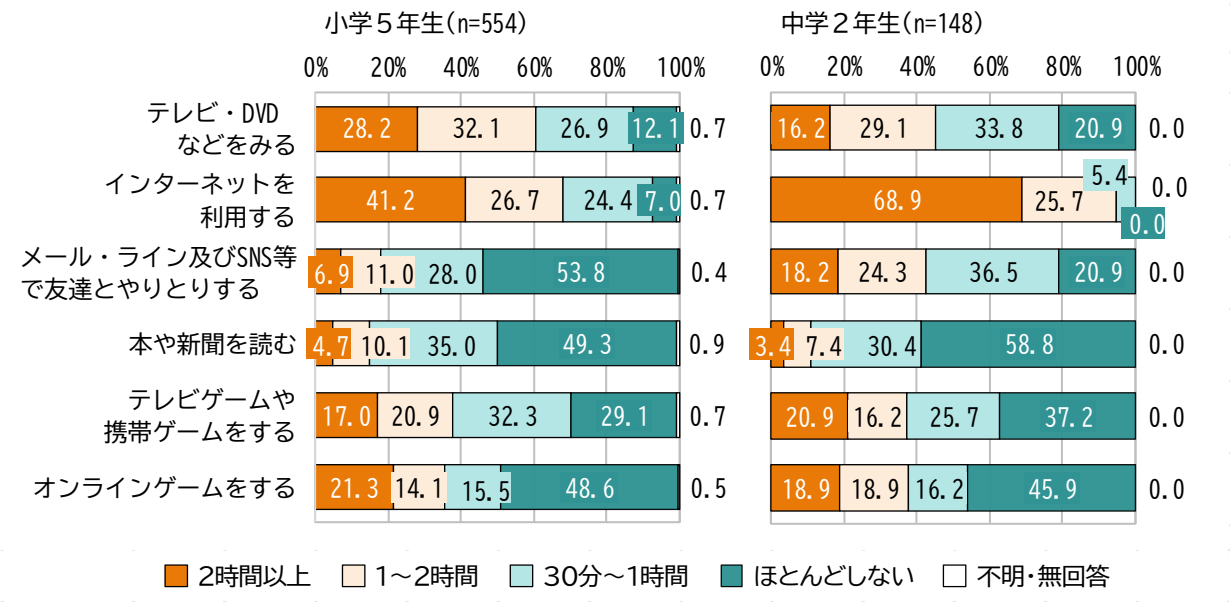


※１：今回調査の新規選択肢

（２）ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問４　ふだんの生活で、次のようなことを１日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。
（単数回答）

１日に行っている活動の平均時間についてみると、「インターネットを利用する」では、１時間以上行っている割合が、小学５年生で 67.9%、中学２年生で 94.6%となっています。また、「オンラインゲームをする」では、１時間以上行っている割合が、小学５年生で 35.4%、中学２年生で 37.8%となっています。



小学５年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、「テレビ・ＤＶＤなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」、「メール・ライン及びＳＮＳ等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

中学２年生の結果を前回調査や前々回調査と比較すると、小学５年生同様に「テレビ・ＤＶＤなどをみる」の時間は減少傾向にある一方、「インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する」、「メール・ライン及びＳＮＳ等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする」の時間が増加していることがうかがえます。

小学５年生

今回調査(n=554) 前回調査(n=617) 前々回調査(n=1,064)		２時間以上	１～２時間	30分～１時間	ほとんどしない	不明・無回答
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	28.2	32.1	26.9	12.1	0.7
	前回調査	36.8	34.0	22.0	6.5	0.6
	前々回調査	44.0	33.3	19.6	2.9	0.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	41.2	26.7	24.4	7.0	0.7
	前回調査	7.3	12.8	27.2	51.4	1.3
	前々回調査	3.0	10.2	27.3	58.5	0.9
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	6.9	11.0	28.0	53.8	0.4
	前回調査	1.1	1.0	10.2	85.6	2.1
	前々回調査	1.5	2.8	13.1	81.0	1.6
本や新聞を読む	今回調査	4.7	10.1	35.0	49.3	0.9
	前回調査	7.5	10.2	44.4	36.5	1.5
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	17.0	20.9	32.3	29.1	0.7
	前回調査	16.0	20.1	34.2	29.0	0.6
オンラインゲームをする	今回調査	21.3	14.1	15.5	48.6	0.5
	新規設問					

中学２年生

今回調査(n=148) 前回調査(n=536) 前々回調査(n=518)		２時間以上	１～２時間	30分～１時間	ほとんどしない	不明・無回答
テレビ・DVDなどをみる	今回調査	16.2	29.1	33.8	20.9	0.0
	前回調査	37.1	36.0	19.4	7.1	0.4
	前々回調査	48.8	32.2	12.9	4.8	1.2
インターネット（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）を利用する	今回調査	68.9	25.7	5.4	0.0	0.0
	前回調査	24.4	23.3	31.5	20.3	0.4
	前々回調査	14.9	15.8	27.2	41.1	1.0
メール・ライン及びSNS等（パソコン・スマートフォン・タブレットなど）で友達とやりとりする	今回調査	18.2	24.3	36.5	20.9	0.0
	前回調査	17.5	17.2	31.7	33.0	0.6
	前々回調査	18.5	11.4	30.9	38.0	1.2
本や新聞を読む	今回調査	3.4	7.4	30.4	58.8	0.0
	前回調査	6.3	12.1	31.2	49.6	0.7
テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする	今回調査	20.9	16.2	25.7	37.2	0.0
	前回調査	19.4	22.4	25.4	32.1	0.7
オンラインゲームをする	今回調査	18.9	18.9	16.2	45.9	0.0
	新規設問					

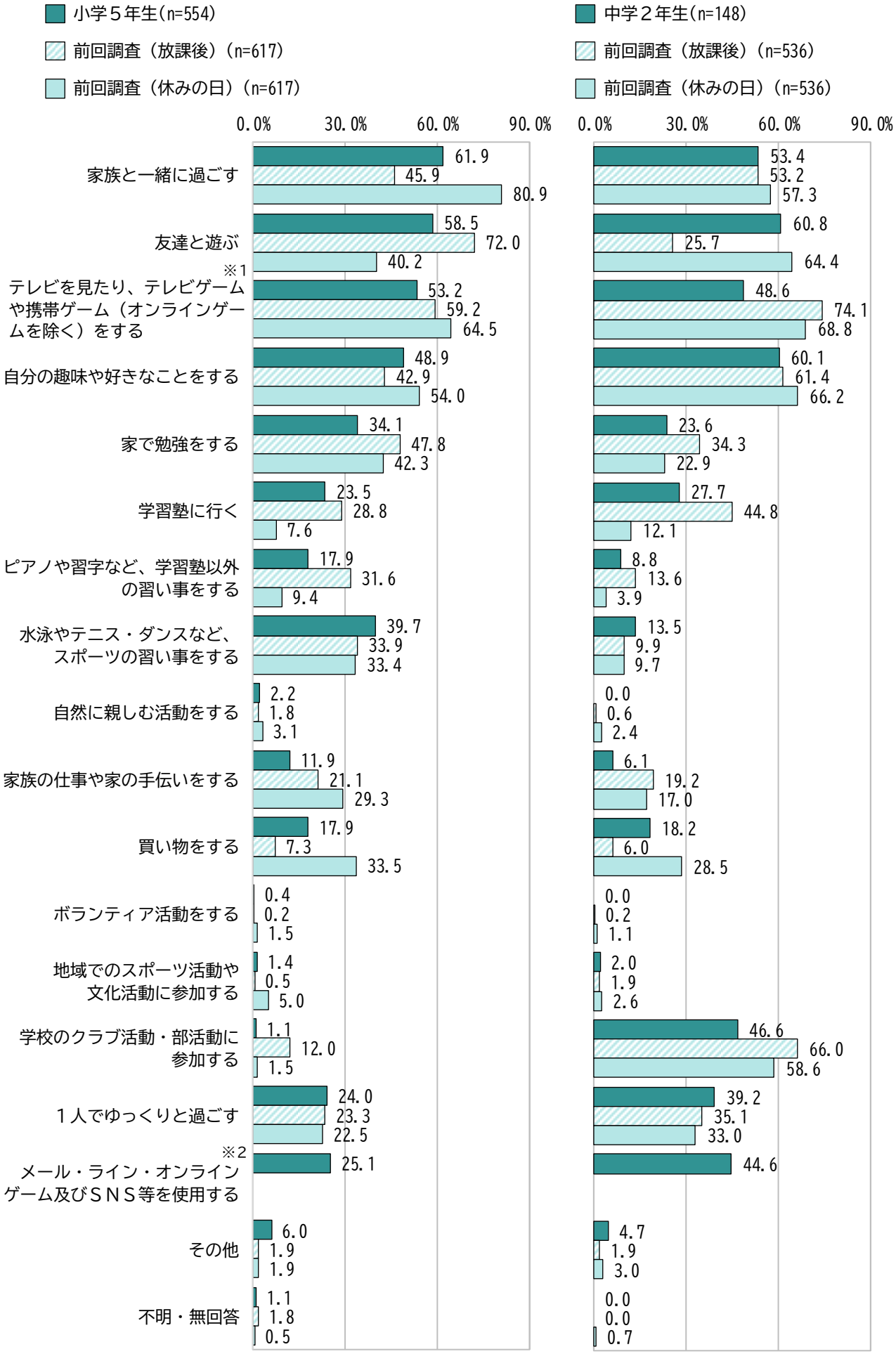
問５ 放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。　　（５つまで回答）

放課後や休みの日の過ごし方についてみると、小学５年生では、「家族と一緒に過ごす」が 61.9%と最も多く、次いで「友達と遊ぶ」が 58.5%、「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする」が 53.2%、中学２年生では、「友達と遊ぶ」が 60.8%と最も多く、次いで「自分の趣味や好きなことをする」が 60.1%、「家族と一緒に過ごす」が 53.4%となっています。

前回調査において、放課後の過ごし方については、小学５年生で「友だちと遊ぶ」が 72.0%で最も多く、次いで「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が 59.2%、「家で勉強をする」が 47.8%、中学２年生で「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が 74.1%で最も多く、次いで「学校のクラブ活動・部活動に参加する」が 66.0%、「自分の趣味や好きなことをする」が 61.4%となっています。

休みの日の過ごし方については、小学５年生で「家族と一緒に過ごす」が 80.9%で最も多く、次いで「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が 64.5%、「自分の趣味や好きなことをする」が 54.0%、中学２年生で「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」が 68.8%で最も多く、次いで「自分の趣味や好きなことをする」が 66.2%、「友達と遊ぶ」が 64.4%となっています。

表は次ページに掲載



※１：前回調査は「テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲームをする」
※２：今回調査の新規選択肢

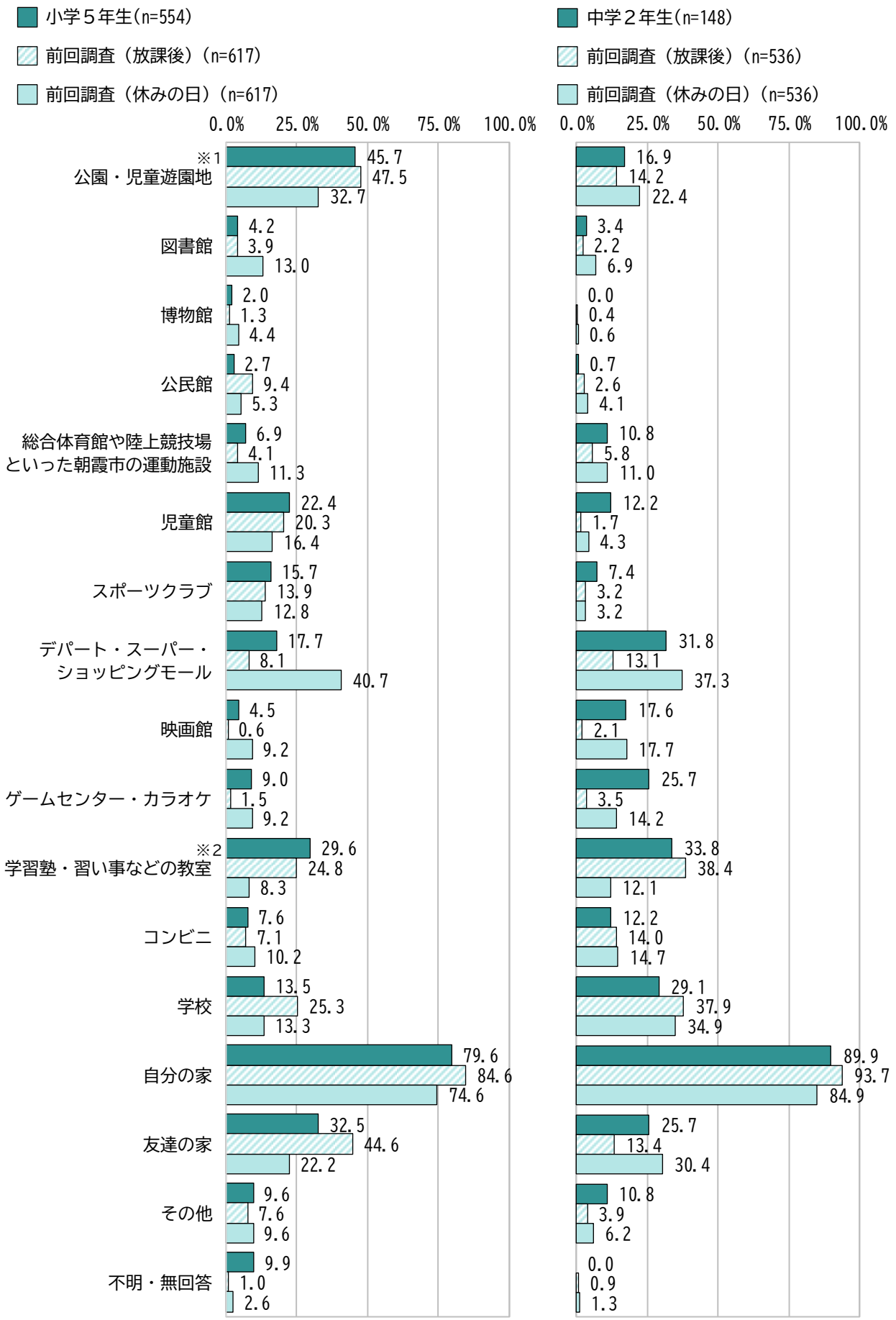
問６ 放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。　（複数回答）

放課後や休みの日を過ごす場所についてみると、小学５年生では、「自分の家」が 79.6%と最も多く、次いで「公園・児童遊園地」が 45.7%、「友達の家」が 32.5%、中学２年生では、「自分の家」が 89.9%と最も多く、次いで「学習塾・習い事などの教室」が 33.8%、「デパート・スーパー・ショッピングモール」が 31.8%となっています。

前回調査において、放課後に過ごす場所については、小学５年生で「自分の家」が 84.6%で最も多く、次いで「公園・近所の空き地」が 47.5%、「友達の家」が 44.6%、中学２年生で「自分の家」が 93.7%で最も多く、次いで「学習塾」が 38.4%、「学校」が 37.9%となっています。

休みの日に過ごす場所については、小学５年生で「自分の家」が 74.6%で最も多く、次いで「デパート・スーパー・ショッピングモール」が 40.7%、「公園・近所の空き地」が 32.7%、中学２年生で「自分の家」が 84.9%で最も多く、次いで「デパート・スーパー・ショッピングモール」が 37.3%、「学校」が 34.9%となっています。

表は次ページに掲載

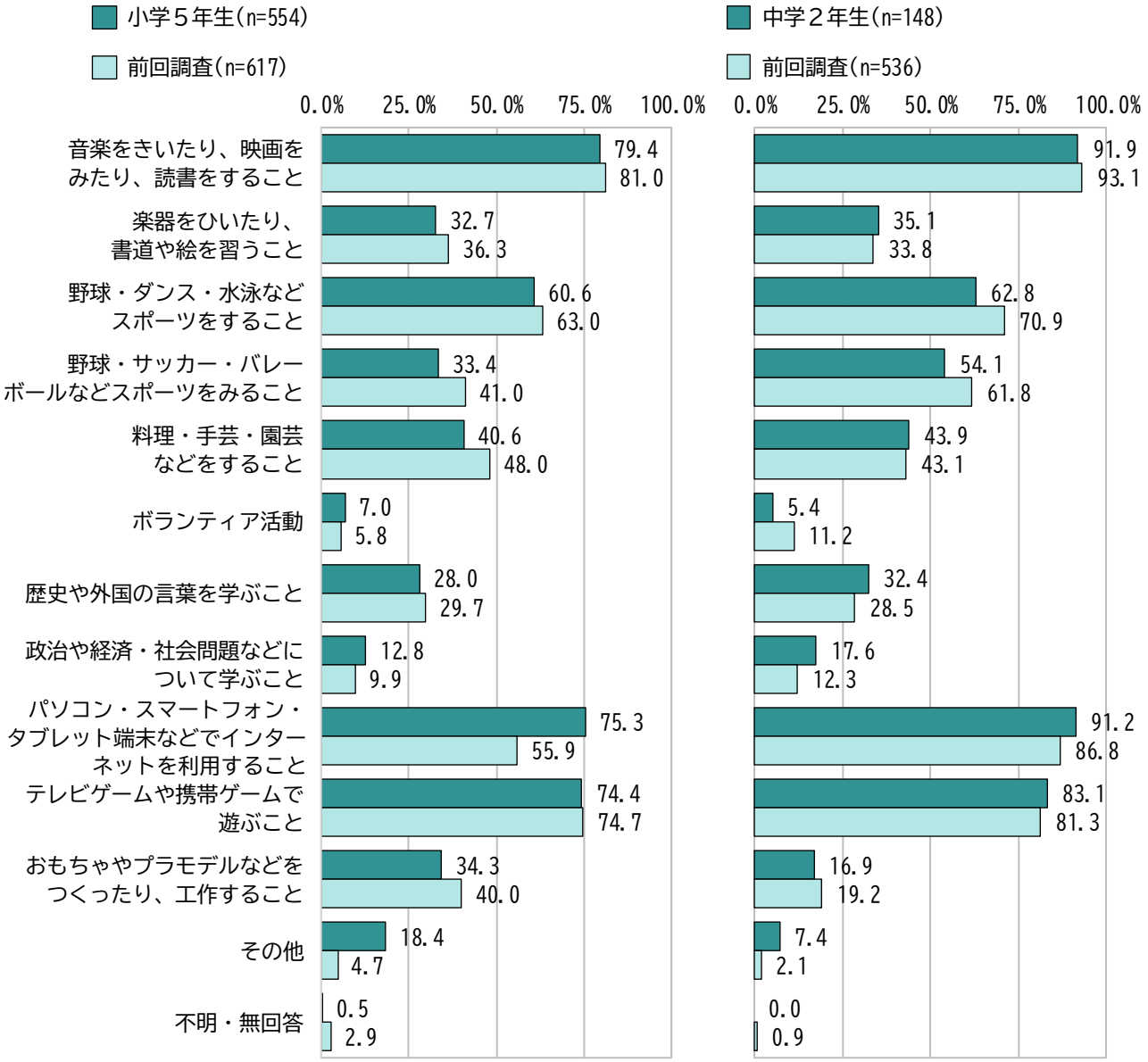


※１：前回調査は「公園・近所の空き地」
※２：前回調査は「学習塾」

問７　この１年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。
（複数回答）

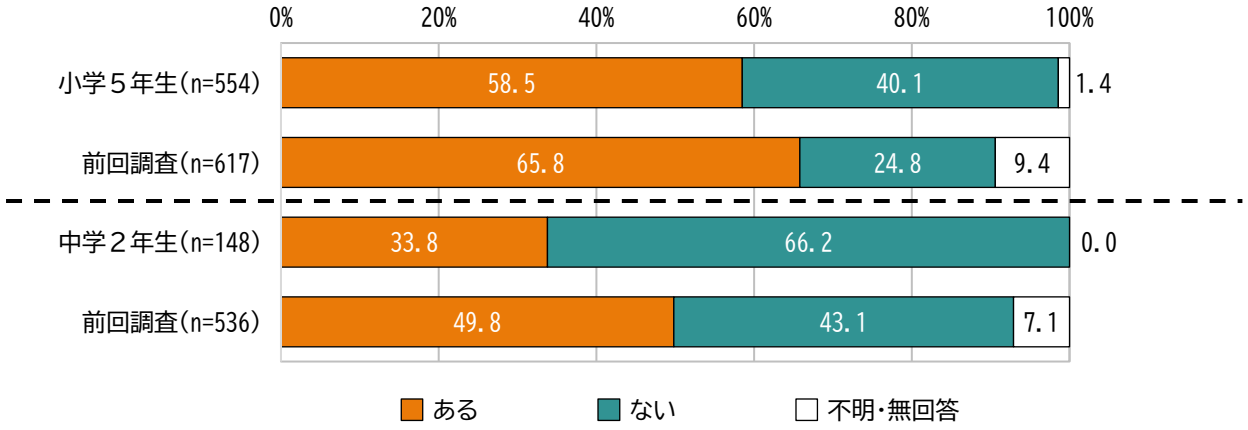
１年間に行った活動についてみると、小学５年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をすること」が 79.4%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が 75.3%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が 74.4%、中学２年生では、「音楽をきいたり、映画をみたり、読書をすること」が 91.9%と最も多く、次いで「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」が 91.2%、「テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと」が 83.1%となっています。

前回調査と比べると、小学５年生では、「パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること」、「その他」が増加しています。



問８　児童館、公民館、図書館、博物館、体育館、陸上競技場などで行うイベントや教室に参加していますか。　（単数回答）

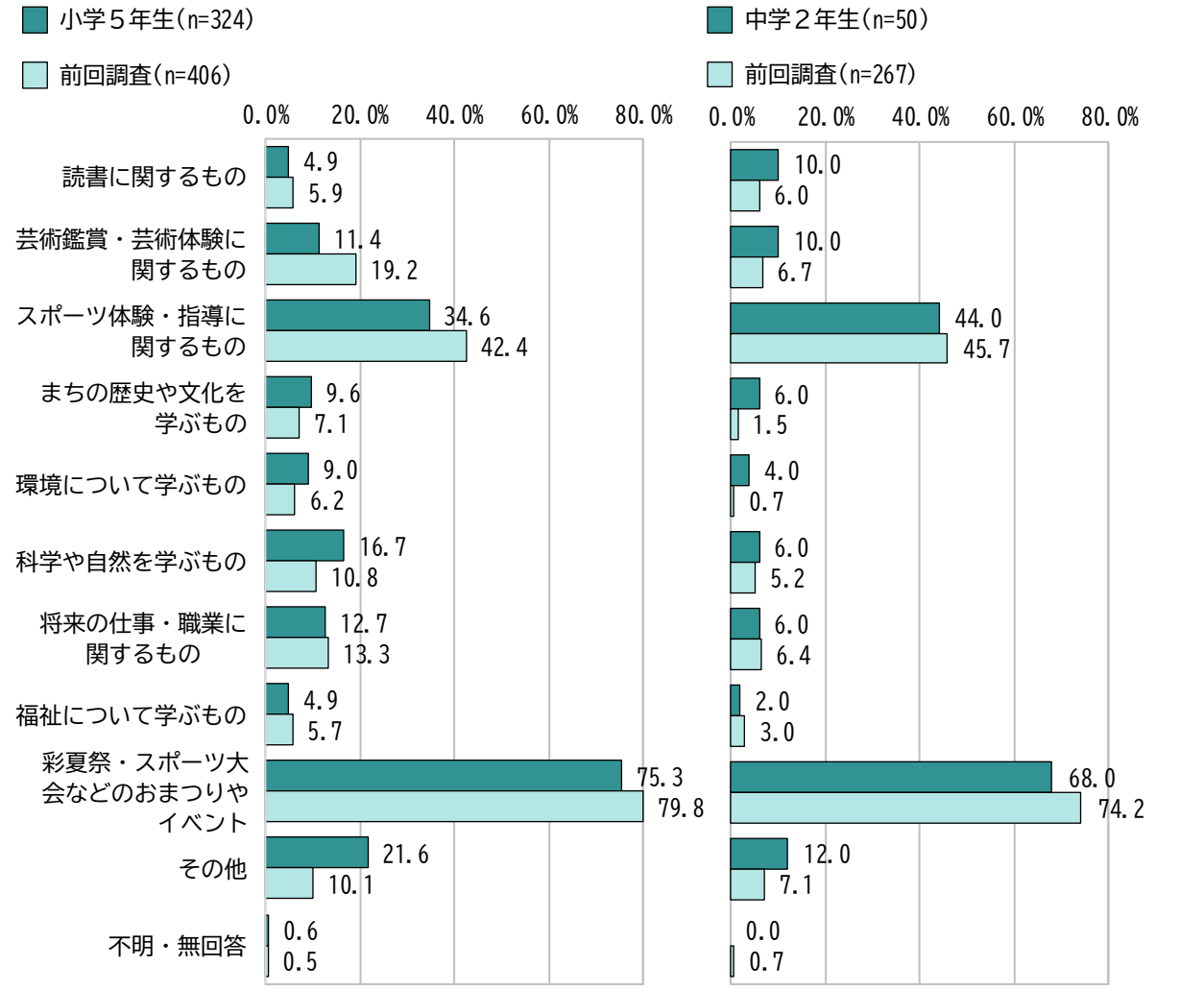
朝霞市の施設で行うイベントや教室への参加についてみると、小学５年生では、「ある」が 58.5%、「ない」が 40.1%、中学２年生では、「ある」が 33.8%、「ない」が 66.2%となっています。
前回調査と比べると、小中学生ともに「ない」が増加しています。



問９・問10は、問８で「ある」と回答した方におたずねします。

問９　あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。　（複数回答）

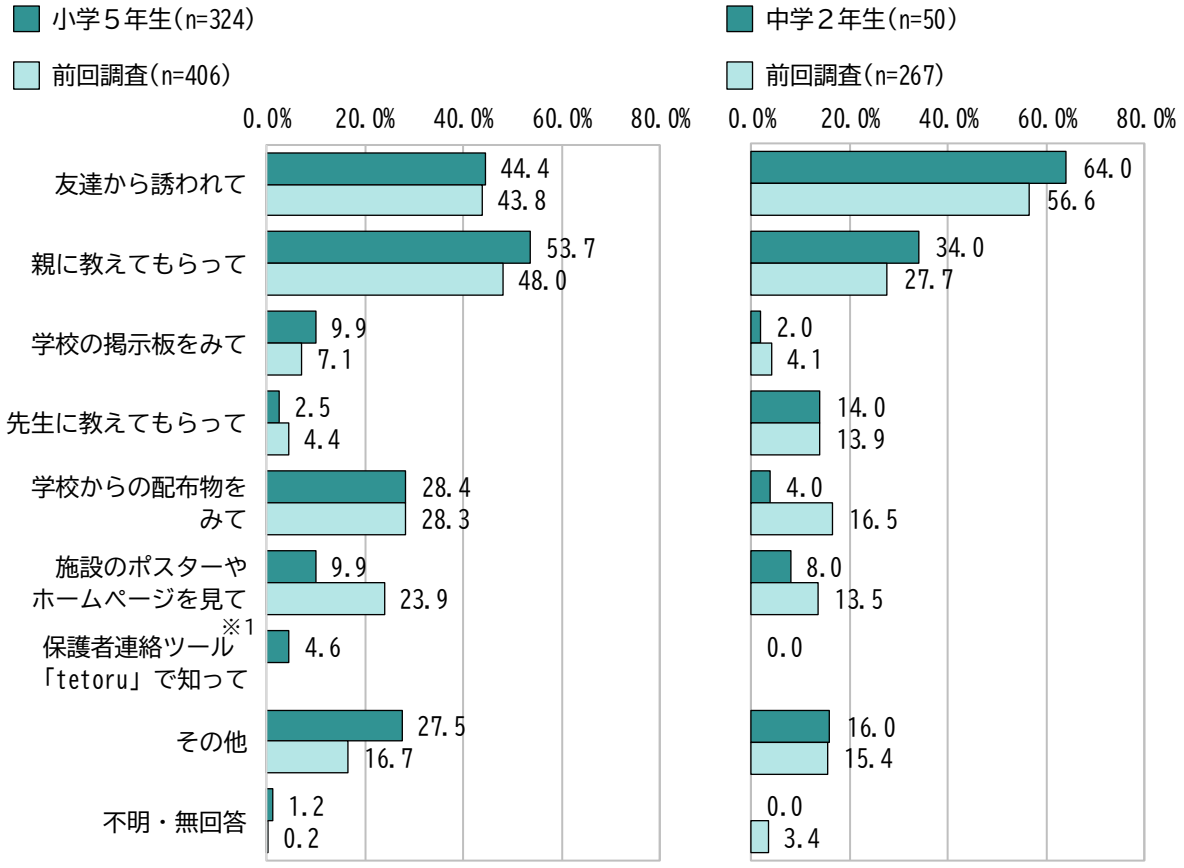
参加したイベントや教室の内容についてみると、小学５年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が 75.3％と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が 34.6％、「科学や自然を学ぶもの」が 16.7％、中学２年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が 68.0％と最も多く、次いで「スポーツ体験・指導に関するもの」が 44.0％、「その他」が 12.0％となっています。



問 10 どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。　（複数回答）

イベントや教室に参加したきっかけについてみると、小学５年生では、「親に教えてもらって」が 53.7%と最も多く、次いで「友達から誘われて」が 44.4%、「学校からの配布物をみて」が 28.4%、中学２年生では、「友達から誘われて」が 64.0%と最も多く、次いで「親に教えてもらって」が 34.0%、「その他」が 16.0%となっています。

前回調査と比べると、小学５年生では、「施設のポスターやホームページを見て」、中学２年生では、「学校からの配布物をみて」が、それぞれ減少しています。

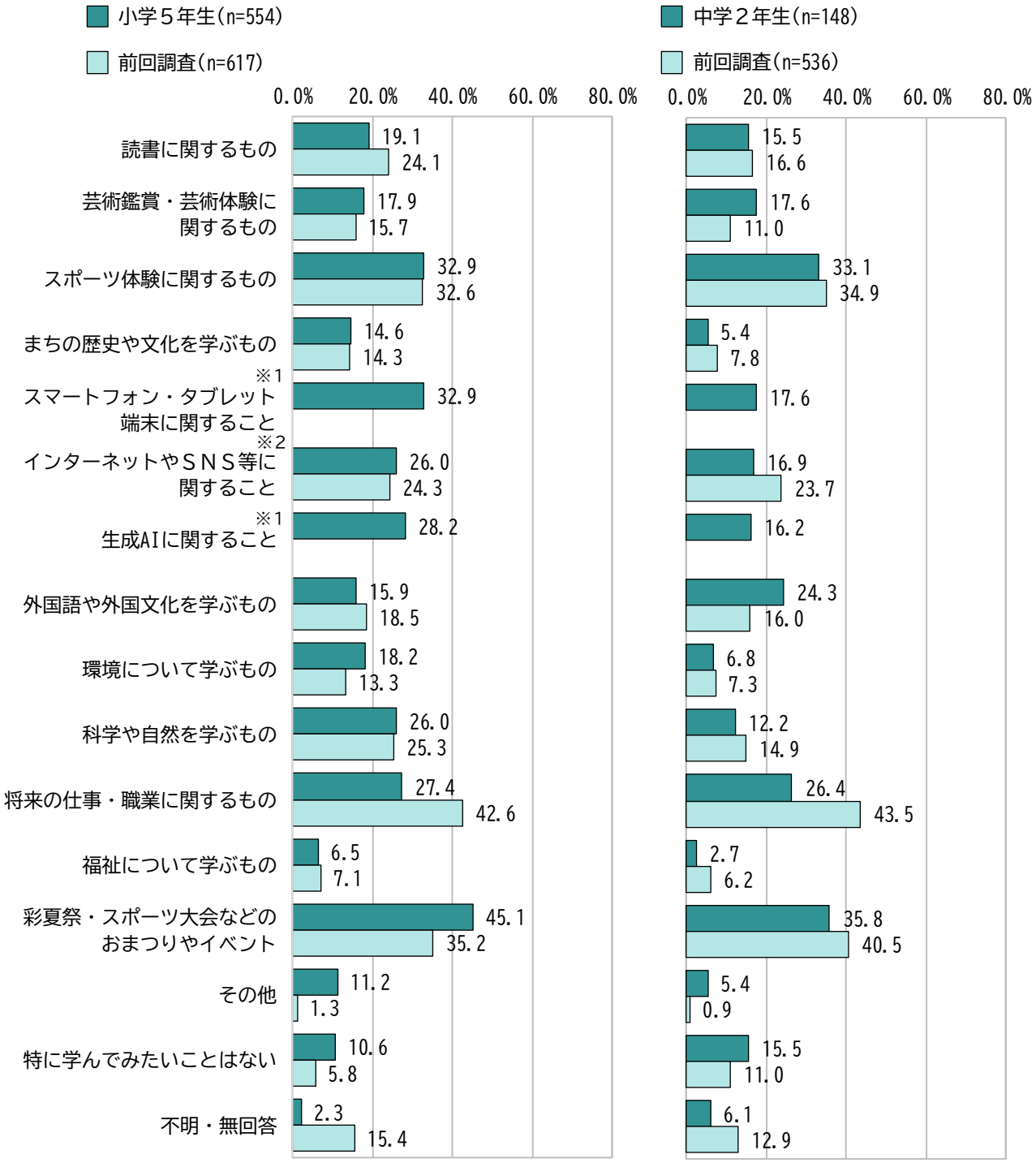


※１：今回調査の新規選択肢

問 11 次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。　（複数回答）

学んでみたいもの、参加してみたいものについてみると、小学５年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が 45.1%と最も多く、次いで「スポーツ体験に関するもの」、「スマートフォン・タブレット端末に関すること」が 32.9%、「生成ＡＩに関すること」が 28.2%、中学２年生では、「彩夏祭・スポーツ大会などのおまつりやイベント」が 35.8%と最も多く、次いで「スポーツ体験に関するもの」が 33.1%、「将来の仕事・職業に関するもの」が 26.4%となっています。

前回調査と比べると、小中学生ともに、「将来の仕事・職業に関するもの」が減少しています。

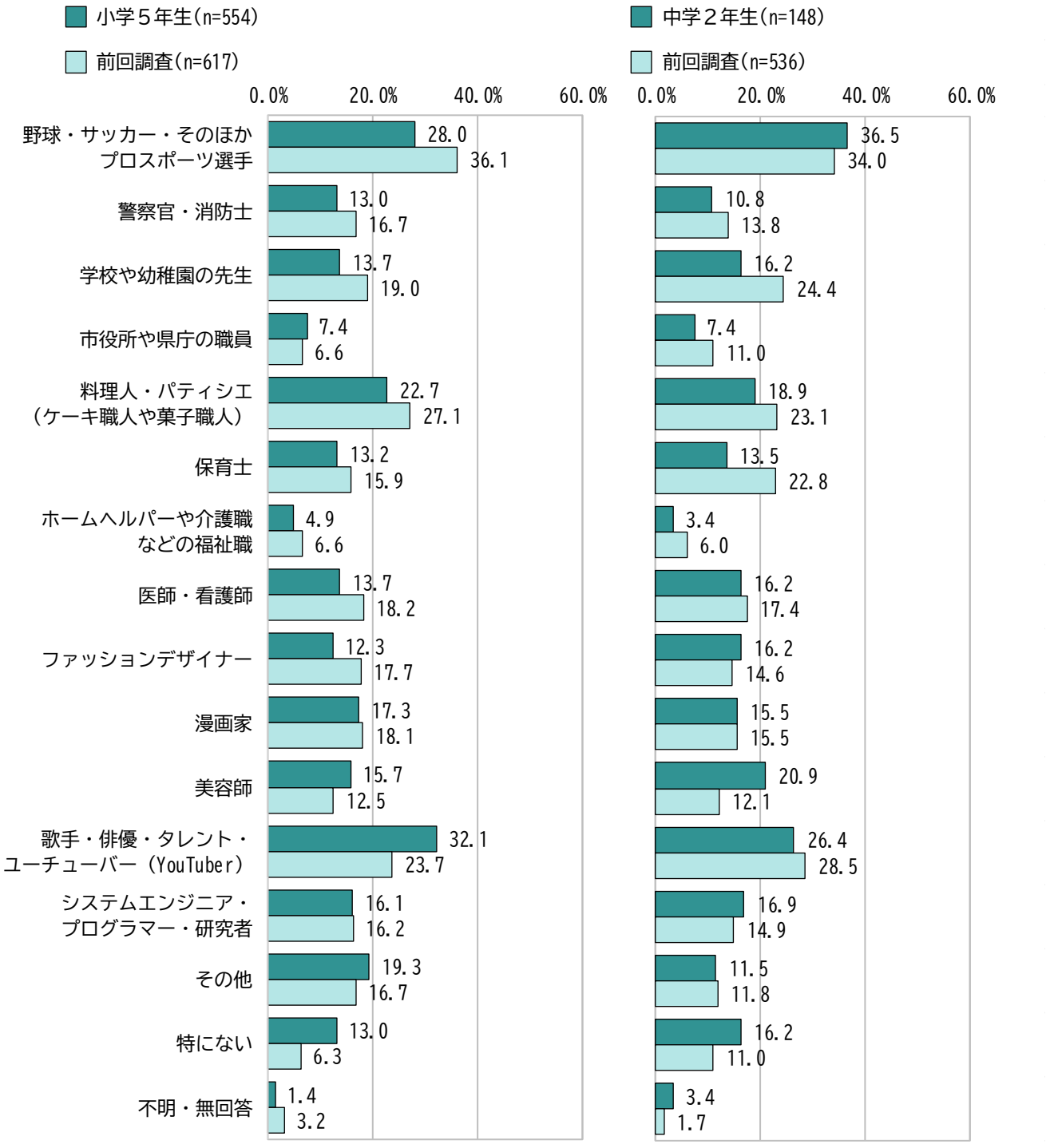


※１：今回調査の新規選択肢

※２：前回調査は「パソコンやインターネットに関するもの」

問 12 次のうち、どの職業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。
（複数回答）

話を聞いてみたい職業についてみると、小学５年生では、「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー（YouTuber）」が 32.1％と最も多く、次いで「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が 28.0％、「料理人・パティシエ（ケーキ職人や菓子職人）」が 22.7％、中学２年生では、「野球・サッカー・そのほかプロスポーツ選手」が 36.5％と最も多く、次いで「歌手・俳優・タレント・ユーチューバー（YouTuber）」が 26.4％、「美容師」が 20.9％となっています。



問 13 最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

１．生涯学習全般について（24件）

☆生涯学習のことを学校の授業でも学んでみたいです。【小学５年生】
☆生涯学習についてボランティア活動や習い事はとても素敵だと思いました。【小学５年生】
☆もっと気安くイベントや、教室に参加できるようにしてほしいです。【小学５年生】
☆「ショウガイ」学習というと先に障害が思い浮かんでしまうので名前を少し変えた方がいいと思う。【中学２年生】
☆学校での生涯学習がもっと増えたら良いなと思います。【中学２年生】

２．生涯学習活動の内容について（56件）

☆もっと彩夏祭のようなイベントを増やして欲しい。それに学習要素を少し盛り込めばいいと思う。【小学５年生】
☆もっといろんなジャンルを体験できるイベントや、年齢不問のイベントがあったらいいと思う。【小学５年生】
☆毎年彩夏祭で踊るけど踊ってる時やおどった後が暑いからステージにサーキュレーターを用意して欲しい、またところどころに涼しい場所を作って欲しい。【小学５年生】
☆彩夏祭の範囲をもっと広げて欲しい。【小学５年生】
☆彩夏祭などの大きいお祭りを増やしてほしいし、子供も屋台を出せる様にしてほしい！【小学５年生】
☆朝霞市で、どこかが不自由な人でも楽しいイベントとかを作って欲しい。そうすることで、彩夏祭とかを誰でも楽しめると思います。【小学５年生】
☆絵（デジタルイラストの書き方）に関するイベントを開いてほしい。【小学５年生】
☆陸上競技場でマラソン大会をしたいです。祭りとかをもうちょっと増やしておしいです。スポーツ大会を増やしてほしいです。【小学５年生】
☆自分が学んでみたい教科が学べる教室などがあったらいいなと思いました。【小学５年生】
☆ＡＩについての授業が欲しいです【小学５年生】
☆もっと義務教育にプログラミング（scratch等）を取り込んでほしい。そして年に一度（クラスごとに日程は変わる）、プログラマーの人が来て、scratchなどについて教える授業を作ってほしい。【小学５年生】
☆総合の時間などでボランティアの手伝いなどあまり行わないこと、学校生活のなかでは学べないことに触れたり、体験できる機会を用意してほしい。【中学２年生】
☆クラブチームで時間ギリギリなのでもう少し学校を早く切り上げて帰させてほしいです。【中学２年生】
☆休日にわざわざ学びに行く人は少ないと思うので、学校の授業で取り入れてたらいいと思います。【中学２年生】

３．施設・設備について（６件）

☆朝霞市には大きな図書館があり、さまざまな本があるのでありがたい。ただ、本屋があったのがなくなってしまった（潰れてしまった）ので、書店を作って欲しい。【小学５年生】
☆朝霞市では自由にスポーツができるところが少ないから増やしてほしい。【中学２年生】
☆勉強のしやすい環境を作ってほしい。施設など【中学２年生】

第７章 施設利用者調査の結果

【調査結果の考察】

■施設利用者の利用実態

よく利用する施設については、「図書館」が 25.6%と最も多く、次いで「総合体育館」が 20.9%、「児童館」が 18.6%となっています。利用目的については「その他」（30.2%）を除くと、「自習」（16.3%）、「友人等と遊ぶ」（16.3%）、「健康維持」（14.0%）が上位となっています。利用頻度については、「週に１～２日」の利用が 60.5%と半数を超えており、総じて、日常的な利用習慣のある市民が一定数いることがうかがえます。（問５・問６・問８）

■利用する公共施設や設備について

よく利用する公共施設や設備について、「非常に満足している」「おおむね満足している」の合計は 86.1%と、肯定的な評価をされています。（問９）

■学習手段について

現在の学習手段は「新聞・雑誌・本などの出版物を利用」（41.9%）や「ＳＮＳや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など）」（23.3%）が主となっています。しかし、市に望む取組としては、「身近な公民館等での講座等の充実」が 37.2%、「公民館や体育館などの施設の整備」が 32.6%と、高いニーズがあることがうかがえ、先述した実際の学習手段と希望する学習環境の間に違いが生じている可能性があります。（問 11・問 12）

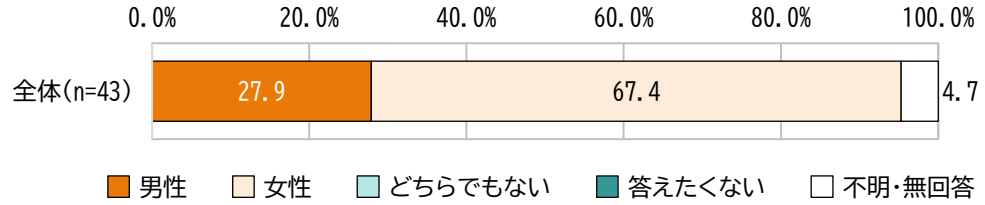
■人とのつながりに関する活動

直近１年間に人とのつながりに関する活動をした人は、58.1%となっています。また、人とのつながりに関する活動をしていない理由としては、「機会がない」といった環境要因だけでなく、「役割がありそうで面倒」「コミュニケーションが苦手」といった心理的なハードルや、「子育て中」「学校が忙しい」といった時間的制約が存在していることがうかがえます。（問 13・問 14）

（１）回答者自身について

問１　あなたの性別をお答えください。　（単数回答）

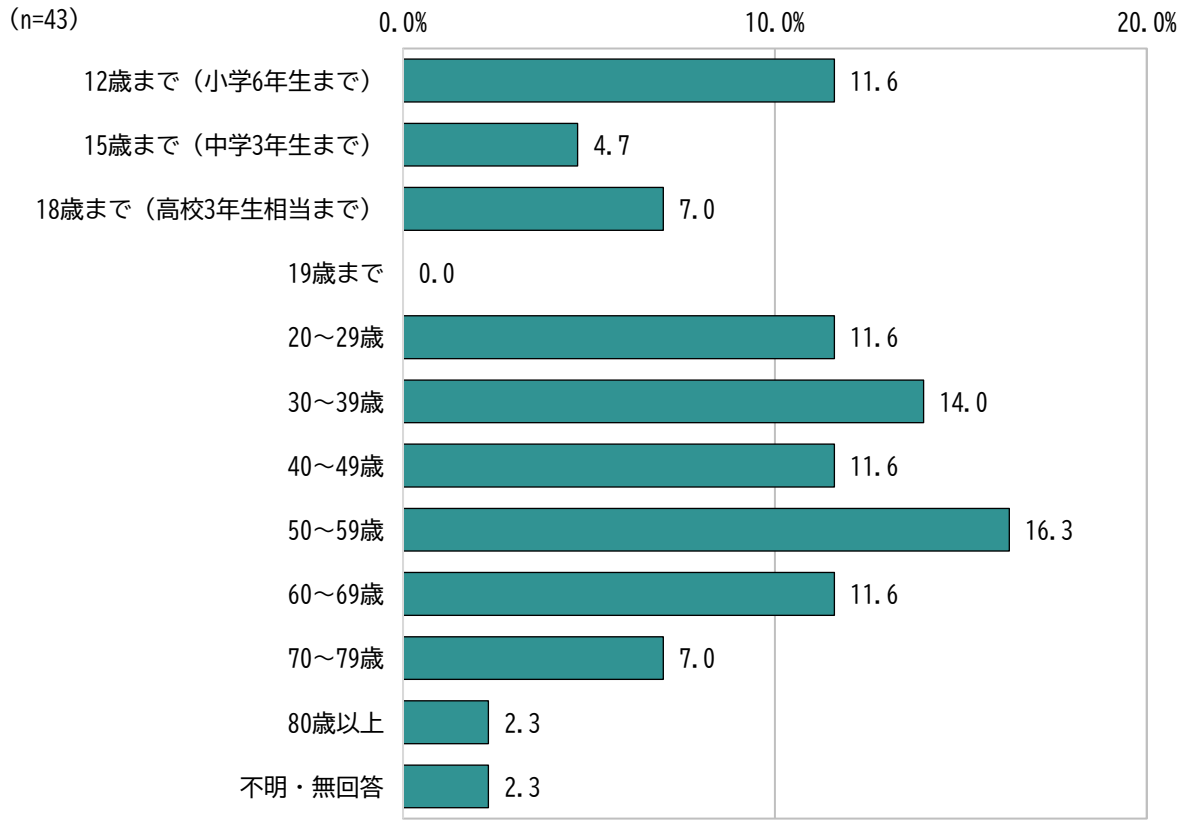
回答者の性別についてみると、「男性」が 27.9%、「女性」が 67.4%となっています。



※「どちらでもない」、「答えたくない」は 0.0%

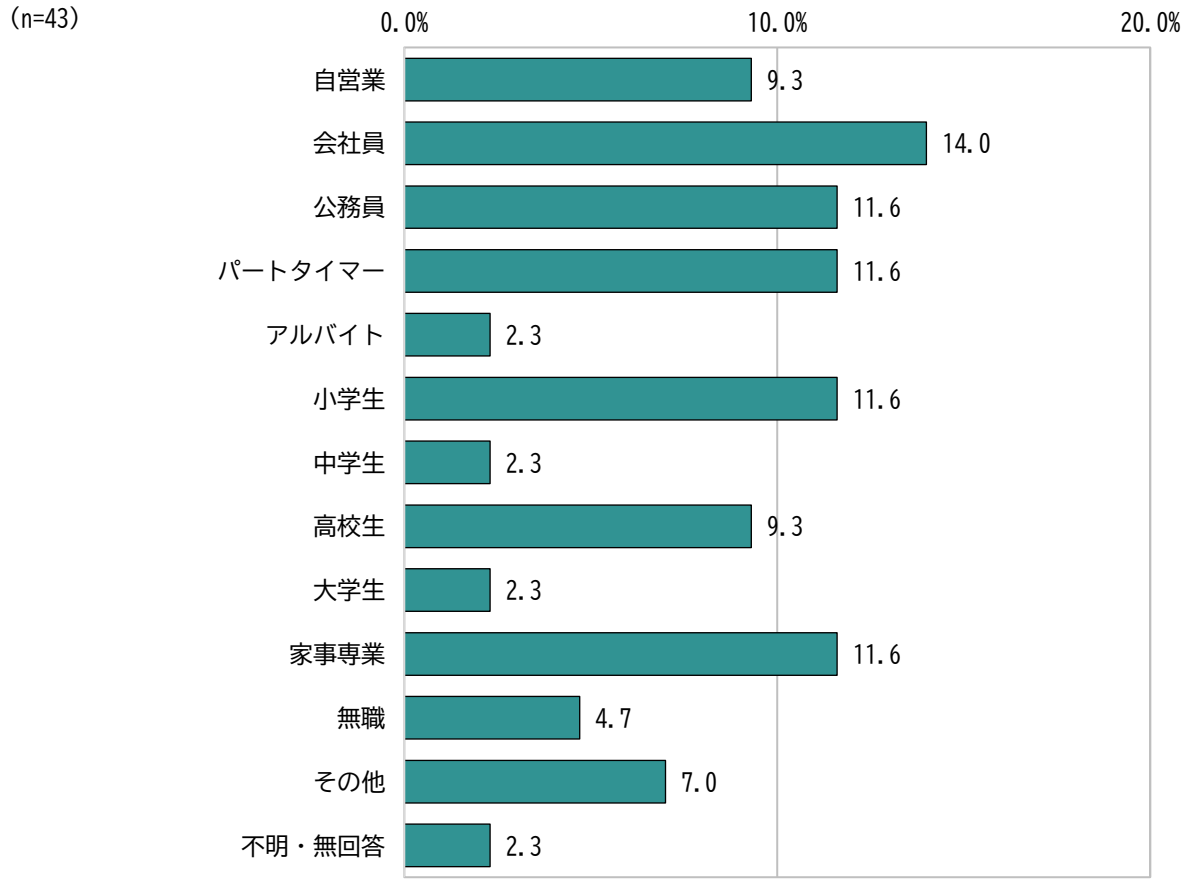
問２　あなたの年齢をお答えください。　（単数回答）

回答者の年齢についてみると、「50～59 歳」が 16.3%と最も多く、次いで「30～39 歳」が 14.0%、「12 歳まで（小学 6 年生まで）」、「20～29 歳」、「40～49 歳」、「60～69 歳」が 11.6%となっています。



問３　あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。　（単数回答）

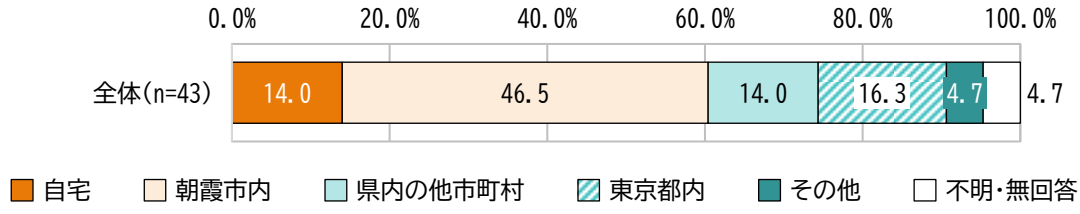
回答者の職業についてみると、「会社員」が 14.0%と最も多く、次いで「公務員」、「パートタイマー」、「小学生」、「家事専業」が 11.6%、「自営業」、「高校生」が 9.3%となっています。



※「農業」、「会社や団体の役員」、「内職」、「自由業」、「専門学生」は 0.0%

問４　あなたの従業地・通学地をお答えください。　（単数回答）

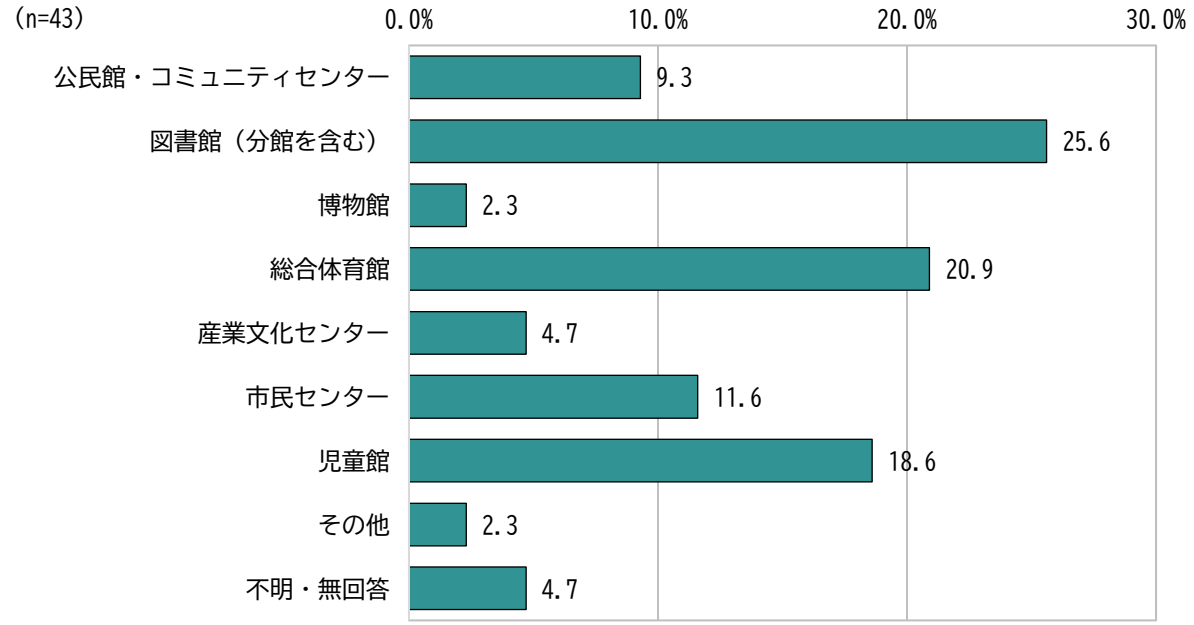
従業地･通学地についてみると、「朝霞市内」が 46.5%と最も多く、次いで「東京都内」が 16.3%、「自宅」、「県内の他市町村」が 14.0%となっています。



（２）生涯学習活動の状況等について

問５ 日ごろ利用している主な公共施設はどれですか。 （単数回答）

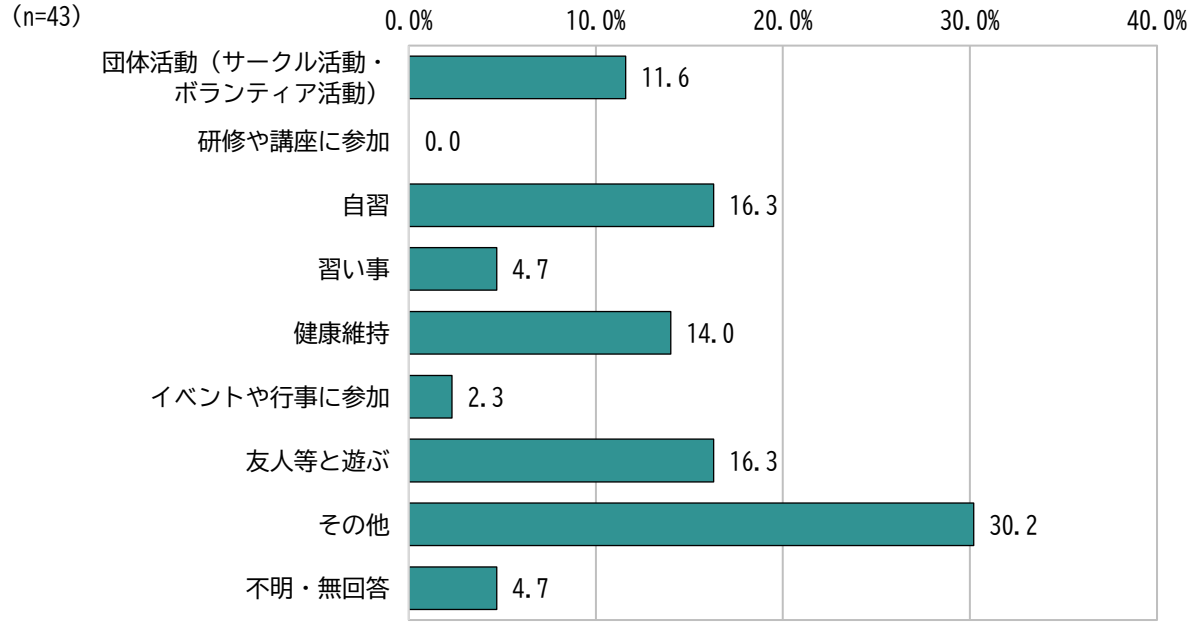
日ごろ利用している主な公共施設についてみると、「図書館(分館を含む)」が 25.6%と最も多く、次いで「総合体育館」が 20.9%、「児童館」が 18.6%となっています。



※「武道館」、「陸上競技場」、「テニスコート」、「市民会館」は 0.0%

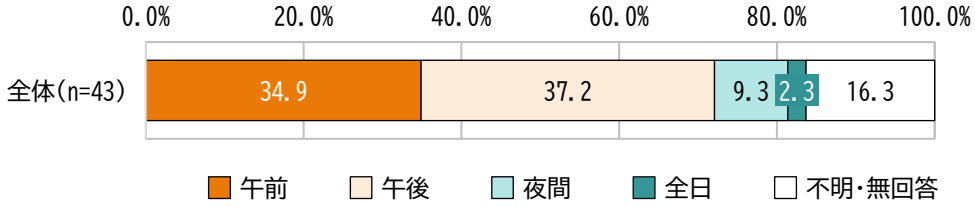
問６ 日ごろ利用している公共施設を利用する目的はどれですか。 （単数回答）

日ごろ利用している公共施設を利用する目的についてみると、「その他」が 30.2%と最も多く、次いで「自習」、「友人等と遊ぶ」が 16.3%、「健康維持」が 14.0%となっています。



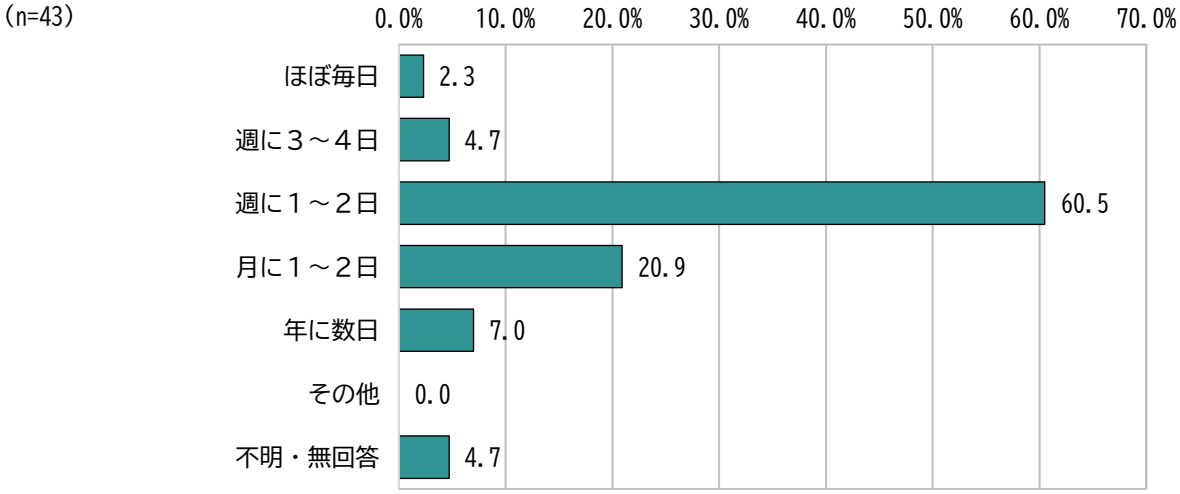
問７ 公共施設を利用する時間はいつですか。 （単数回答）

公共施設を利用する時間についてみると、「午後」が 37.2%と最も多く、次いで「午前」が 34.9%、「夜間」が 9.3%となっています。



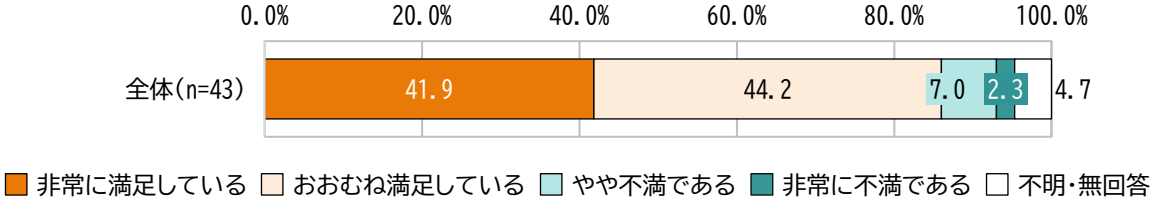
問８ 公共施設を利用する頻度はどのくらいですか。 （単数回答）

公共施設を利用する頻度についてみると、「週に１～２日」が 60.5%と最も多く、次いで「月に１～２日」が 20.9%、「年に数日」が 7.0%となっています。



問９ よく利用する公共施設や設備の満足度はどのくらいですか。 （単数回答）

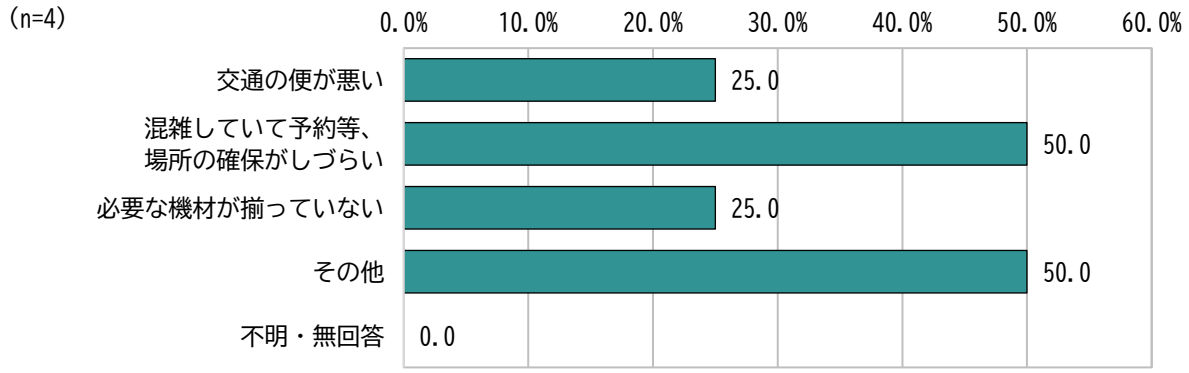
よく利用する公共施設や設備の満足度についてみると、「おおむね満足している」が 44.2%と最も多く、次いで「非常に満足している」が 41.9%、「やや不満である」が 7.0%となっています。



問９で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。

問 10 施設・設備に不満を感じる理由はなんですか。 （複数回答）

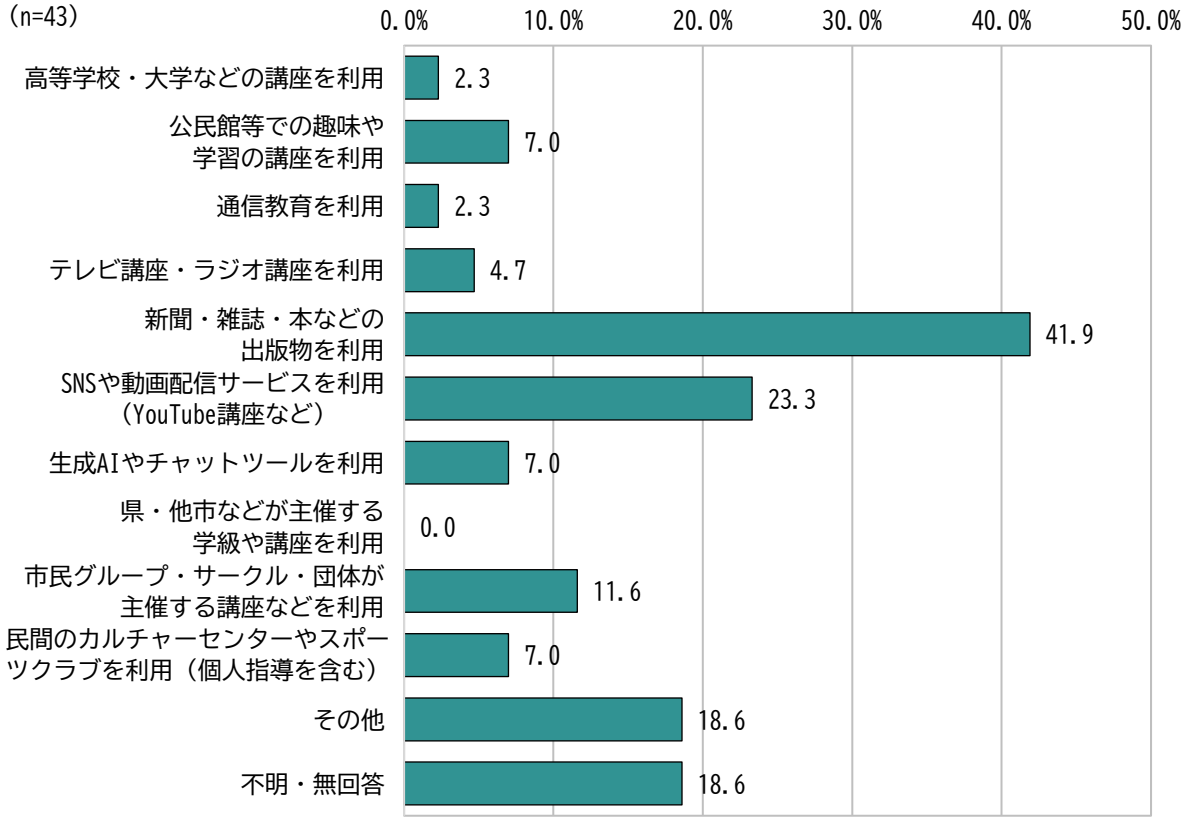
施設･設備に不満を感じる理由についてみると､｢混雑していて予約等､場所の確保がしづらい」､「その他」が 50.0％と最も多く､次いで｢交通の便が悪い」､｢必要な機材が揃っていない」が 25.0％となっています。



※「狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい」、「老朽化が進んでいる」、「利用料が高い」、「利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない」、「WiFi などのインターネット環境が整備されていない」は 0.0％

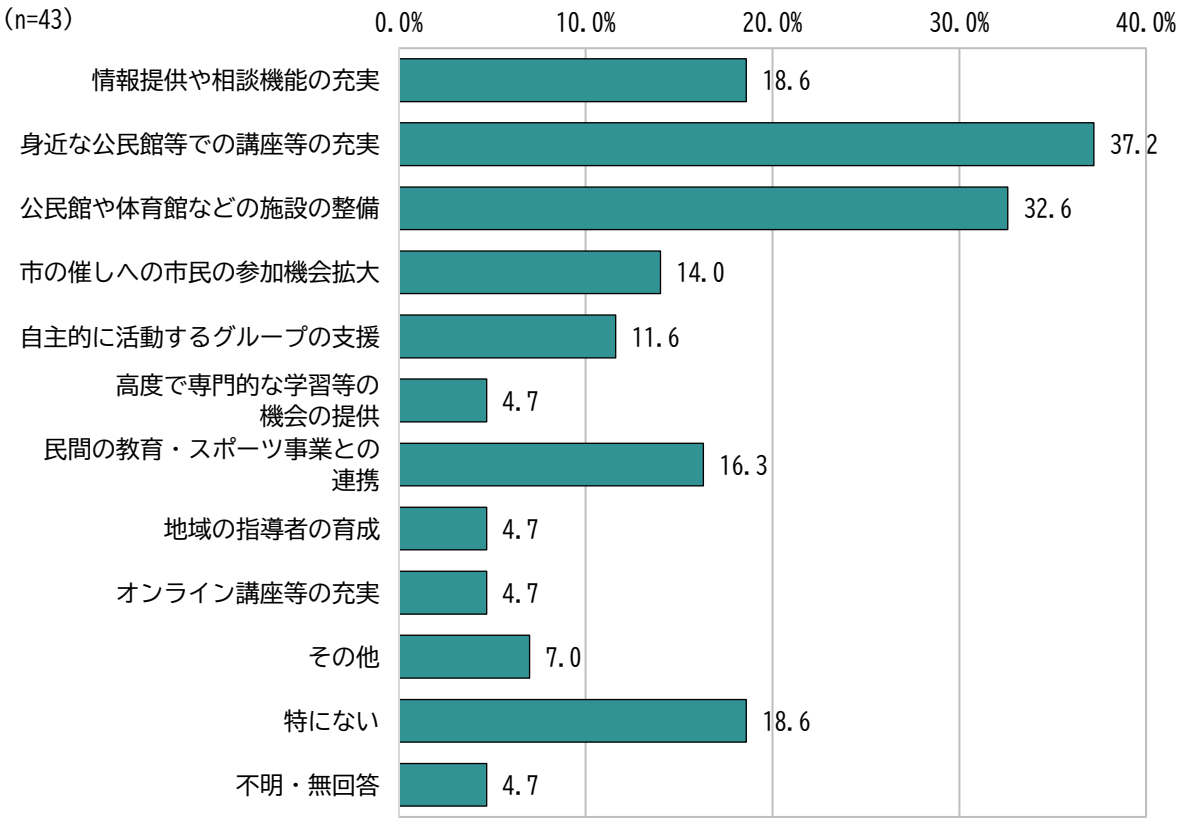
問 11 あなたは、どのような手段・方法で学習していますか。 （複数回答）

学習の手段・方法についてみると､｢新聞・雑誌・本などの出版物を利用」が 41.9％と最も多く､次いで「ＳＮＳや動画配信サービスを利用（YouTube 講座など)」が 23.3％､「その他」､「不明・無回答」が 18.6％となっています。



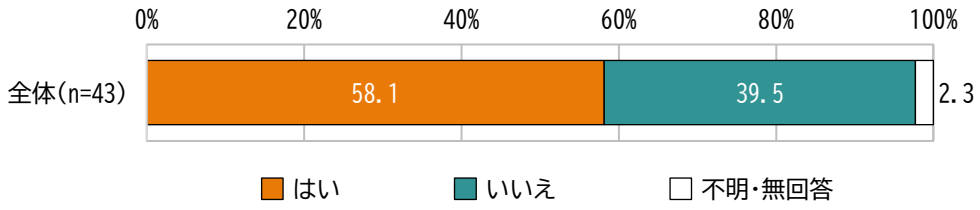
問 12 朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。
（複数回答）

市の生涯学習を充実していくために市に望む取り組みについてみると、「身近な公民館等での講座等の充実」が 37.2%と最も多く、次いで「公民館や体育館などの施設の整備」が 32.6%、「情報提供や相談機能の充実」、「特にない」が 18.6%となっています。



問 13 直近 1 年間で、人とのつながりに関する活動をしましたか。
（単数回答）

直近 1 年間に人とのつながりに関する活動をしたかについてみると、「はい」は 58.1%、「いいえ」が 39.5%となっています。



問 14 以下の項目について、記述式でご回答いただきました。
※頂いたご意見を分類し、一部を抜粋しています。

1．生涯学習に関する情報をどこから得たいと思いますか。（８件）

☆地域新聞
☆図書館の掲示板、掲示物
☆市町村、鉄道関係
☆ネット、本、参考書、詳しい人
☆市の広報誌、コンパスなど、紙媒体
☆インターネット
☆ＨＰ

2．生涯学習をする場合、市からどのような情報が必要ですか。（８件）

☆各分野の入門や体験講座
☆大きなテーマでのくくりでの集まり、意見交換コミュニティ
☆講座の情報、内容が多岐に渡っているとなお良い
☆分かりやすい説明（どうゆうふうに学習すればいいのか）
☆どんな生涯学習団体が、いつどこでどんな活動をしているのか、会員募集しているのか。

3．人とのつながりに関する活動をしていない理由は何ですか。（８件）

☆機会がないから。
☆目的の喪失
☆高校が忙しく他のことに手が回らない
☆役割とかがありそうでめんどくさそうだから
☆子育て中のため
☆コミュニケーションが苦手だから

資料編（各調査の設問と選択肢の一覧）

１．一般調査

（１）回答者自身について

問１	あなたの性別をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・男性　　・女性　　・どちらでもない　　・答えたくない
問２	あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・17 歳　　・20～29 歳　　・30～39 歳 ・40～49 歳　　・50～59 歳　　・60～69 歳 ・70～79 歳　　・80 歳以上
問３	あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・本町、仲町、青葉台　　・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼　　・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原　　・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎　　・上内間木、下内間木
問４	あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）
選択肢	・農業　　・自営業　　・会社員　　・公務員 ・会社や団体の役員　　・パートタイマー　　・内職　・アルバイト ・自由業　　・学生又は高校生 ・家事専業　　・無職　　・その他
問５	あなたの現在の世帯の家族構成をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・ひとり暮らし　　・夫婦のみ ・２世代（親・子）　　・３世代（親・子・孫）　　・その他

（２）生涯学習活動の状況について

問６	生涯学習という言葉から、どのようなイメージを持ちますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶこと ・趣味・教養を高めること ・職業上必要な知識・技能を身に付けること ・高齢者の生きがいづくり ・生活を楽しみ、心を豊かにする活動をすること ・健康・体力づくりをすること ・公民館など、公の機関での講座や教室における学習活動 ・カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間の提供する講座や教室における学習活動 ・学校における学習活動 ・ＩＣＴ（オンライン講座等）を活用した学習活動 ・その他 ・わからない

問７	生涯学習とは、私たちが一生を通して行う学習のことです。例えば、習い事、読書、スポーツをすること、ボランティア活動などのすべて生涯学習です。 この１年くらいの間に、「生涯学習活動」（学生の場合、学校での授業は除きますが、学校の部活動やサークル活動は含まれます。）を行いましたか。（○は１つ）
選択肢	・行っている（問９へ）　　・行っていない（問８へ）
問８	※問７で「行っていない」と回答した方におたずねします。 生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・時間に余裕がない　　・費用がかかりすぎる ・一緒に学習する仲間がいない（少ない） ・会場が遠方で移動が大変である　　・希望する学習内容がない ・十分な情報が得られない　　・家族や職場などの周囲の理解を得られない ・人間関係がわずらわしい　　・年齢的・体力的に難しい ・オンラインでの学習方法がわからない　　・デジタル環境が整っていない ・特に理由はない　　・その他
問９	※問９～問16は問７で「行っている」と回答した方におたずねします。 この１年くらいの間に、どのような生涯学習をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・芸術文化に関すること（音楽、美術、華道、園芸、舞踊、書道、短歌、囲碁、将棋など） ・教養に関すること（文学、歴史、郷土史、文化財など） ・国際交流や外国語の習得に関すること ・パソコン、インターネット、生成 AI 及びＩＣＴに関すること ・スポーツ・レクリエーションに関すること ・健康・食生活に関すること ・家庭生活に関すること（料理、洋裁、和裁、編み物など） ・育児・教育に関すること（幼児教育、家庭教育、教育問題など） ・職業技術・資格に関すること ・社会問題、時事問題に関すること ・ボランティア活動、福祉に関すること ・その他
問 10	生涯学習をはじめた目的は何ですか。（○は２つまで）
選択肢	・自分の健康を維持・増進するため　　・自分の楽しみや生きがいのため ・自分の教養や能力を高めるため　　・高度な専門知識や技能を身に付けるため ・友達や仲間をつくるため　　・家庭や日常生活に活用するため ・子育てや子どもの教育に必要なため　　・仕事・就職・転職に必要なため ・地域社会や社会のことをよく知るため　　・地域社会や社会に役立つ活動をするため ・その他　　・特に目的はない　　・わからない

問 11	どのような手段、方法で学習していますか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・高等学校、大学などの講座や教室を利用 ・公民館等での趣味や学習の講座を利用 ・通信教育を利用 ・テレビ講座、ラジオ講座を利用 ・新聞、雑誌、本などの出版物を利用 ・SNS や動画配信サービスを利用（YouTube 講座など） ・生成 AI やチャットツールを利用 ・県や他市などが主催する学級や講座を利用 ・市民グループ、サークル、団体が主催する講座などを利用 ・民間カルチャーセンターやスポーツクラブを利用（個人指導を含む） ・その他
問 12	生涯学習でよく利用している場所はどこですか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・自宅（オンライン学習を除く） ・自宅（オンライン学習のみ） ・知人宅 ・市の学習、文化・スポーツ施設（公民館、博物館、図書館、総合体育館） ・市立の小中学校 ・国、県、他市町村立の文化スポーツ施設 ・民間のカルチャーセンター、スポーツクラブ（個人指導者先） ・高等学校、大学などの施設 ・その他
問 13	生涯学習活動を行ううえで、困っていることはありますか。（〇は３つまで）
選択肢	・仕事や家事、育児があり、時間が取りづらい　・費用がかかりすぎる ・一緒に学習する仲間がいない（少ない）　・会場が遠方で移動が大変である ・生涯学習に関する十分な情報が得られない ・家族や職場などの周囲の理解を得られない　・人間関係がわずらわしい ・年齢的、体力的に難しい　・オンラインによる講座が少ない ・特に理由はない　・その他
問 14	生涯学習活動で身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。（〇は２つまで）
選択肢	・仕事や就職の上で生かしている　・日常の生活や地域での活動に生かしている ・人生を豊かにするために生かしている　・健康の維持、増進に役立っている ・仲間づくり　・他の人の活動に生かしている　・特に生かしていない ・その他　・わからない
問 15	生涯学習を通じて身につけた知識、技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。（〇は１つ）
選択肢	・思う　・どちらかといえば思う　・どちらかといえば思わない ・思わない　・わからない

問 16	生涯学習を通じて身につけた知識や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・生かすことができるまでの段階に達していない ・知識、技能や経験を身に付けたことを証明するものがない ・学んだ内容と求められる内容が一致していない ・身近で生かせる活動を見つけられない ・どのような活動に生かすことができるかわからない ・その他 ・特に困っている点はない

（3）今後の生涯学習活動に関する意向について

問 17	今後の生涯学習活動に関するあなたのご意向をうかがいます。あなたの考えに近いものは次のうちどれですか。（〇は１つ）
選択肢	・すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい（問 18 へ） ・すぐにでも（新たに）生涯学習活動を始めたい（問 18 へ） ・条件がそろえば（新たに）生涯学習活動をはじめたい（問 18 へ） ・まだわからない（問 18 へ） ・学習活動をするつもりはない（問 20 へ）
問 18	※問 18～問 19 は問 17 で「すでに行っている生涯学習活動を継続していきたい」から「まだわからない」と回答した方におたずねします。 生涯学習活動をする場合、今後、あなたの希望する分野は次のうちどれにあたりますか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・芸術文化に関すること（音楽、美術、華道、園芸、舞踊、書道、短歌、囲碁、将棋など） ・教養に関すること（文学、歴史、郷土史、文化財など） ・国際交流や外国語の習得に関すること ・パソコン、インターネットに関すること ・スマートフォン、タブレット端末に関すること ・生成 AI や SNS 等に関すること ・スポーツ、レクリエーションに関すること ・健康、食生活に関すること ・家庭生活に関すること（料理、洋裁、和裁、編み物など） ・育児、教育に関すること（幼児教育、家庭教育、教育問題など） ・職業技術、資格に関すること ・社会問題、時事問題に関すること ・ボランティア活動、福祉に関すること ・その他

問 19	生涯学習活動をする場合、今後あなたはどのような手段・方法を希望しますか。（○は２つまで）
選択肢	・高等学校、大学などの講座や教室 ・公民館などの公共施設での趣味や学習の講座 ・通信教育 ・テレビ講座、ラジオ講座 ・新聞、雑誌、本などの出版物 ・インターネット（ライブ配信やアーカイブ配信等） ・市民グループ、サークル、団体が主催する講座など ・民間のカルチャーセンター、スポーツクラブ（個人指導を含む） ・その他
問 20	情報端末やインターネット（オンライン配信等）による生涯学習には、どのような課題があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・情報端末の費用やインターネットの通信費用がかかる ・公民館や図書館、学校などの施設で情報端末やインターネットの設備が不十分 ・情報端末やインターネットの使い方に関する講座や教材が充実していない ・情報端末やインターネットの使い方などを教えてくれる指導者が少ない ・いつでも気軽に相談できるような、情報端末やインターネットに関する窓口が少ない ・情報端末やインターネットの扱いが難しい印象がある ・情報端末やインターネットを使う上での課題はない ・わからない ・その他

（４）「地域や社会における教育」について

問 21	「地域や社会における教育」とは、小学校などの学校教育を除き、各地域の公民館や図書館、博物館、学校施設、スポーツ施設などを使用して、人々に対し学習やスポーツ、文化などを教えることをいいます。あなたは、「地域や社会における教育」の支援や指導に参加してみたいですか。（○は１つ）
選択肢	・教える立場として参加したい ・教える人のサポート（運営・進行補助など）の立場として参加したい ・参加したいと思わない　　・わからない
問 22	「地域や社会における教育」のどのような支援や指導に参加してみたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・地域ぐるみで学校運営を支援する活動 ・放課後における学校施設を利用した学習指導やスポーツ・文化活動 ・子育て・育児を支援する活動 ・趣味のための学習活動に関する指導、助言などの活動 ・仕事に関係のある学習に関する支援や指導 ・各種施設での各種講座の講師や指導助手としての活動 ・地域の文化や自然、文化などに関連した展示を説明する活動 ・地域の子ども会等のレクリエーション活動や自然体験活動など ・地域での伝統行事やスポーツの指導 ・地域での奉仕活動の支援　　・その他　　・わからない

（5）企業・事業所との関係について

問 23	人々の学習をさらに盛んにしていくために、市内に所在する企業や事業所にどのようなことを期待しますか。（○は３つまで）
選択肢	・施設や設備を地域住民に開放する ・一般の人々を対象とする教室や講座などの学習機会を提供する ・様々な教室や講座に指導者となる人材を派遣する ・地域の文化・学習活動に関与又は支援する ・近隣の学校や大学、ＮＰＯや団体などと連携して新しい学習機会を生み出す ・市や行政と連携してまちの文化や生涯学習の振興に寄与する ・企業や事業所がもつ学習情報を可能な限り地域に提供する ・その他 ・特にない

（6）子どもの教育について

問 24	子どもの教育において、家庭が担う役割で重要なことは、どのようなことだと思いますか。（○は２つまで）
選択肢	・しつけやマナーを教えること　　・健康な体をつくること ・豊かな心を育むこと　　・悩みや相談事に対応すること ・学力を養うこと　　・進路や将来について助言すること ・価値観や生き方を伝えること　　・様々な危険から子どもを守ること ・問題行動を未然に防ぐこと　　・コミュニケーション力を身に付けさせること ・その他
問 25	家庭の教育力を向上させるために、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。（○は３つまで）
選択肢	・児童、生徒などの保育体験学習を充実する ・親に対して育児や子育てなどに関する講座を開催する ・子育て中の親に交流の場を提供する ・親子で参加できる野外活動、自然体験学習活動を実施する ・子育てや家庭での教育に関する相談体制を整備する ・幼稚園や保育園など子育て支援機関、団体でネットワークをつくる ・青少年健全育成活動を実施する団体、ＰＴＡなどの社会教育団体やＮＰＯと連携する ・仕事と家庭の両立ができるように支援する ・子どもたちに職場見学会などを実施する ・その他 ・特にない

（7）朝霞市の施設について

問 26	朝霞市には、市民の生涯学習の場として、次の施設があります。よく利用する施設はどれですか。（○は３つまで）
選択肢	ア．公民館・コミュニティセンター　　イ．市民センター ウ．市民会館（ゆめぱれす）　　エ．図書館（本館、分館） オ．博物館　　カ．屋内運動施設（総合体育館、武道館等） キ．屋外運動施設（陸上競技場、テニスコート等） ク．小・中学校、高等学校の施設　　ケ．児童館 コ．老人福祉センター　　サ．総合福祉センター（はあとぴあ） シ．産業文化センター　　ス．わくわくどーむ セ．リサイクルプラザ（エコネットあさか） ソ．市民活動ステーション、シニア活動センター タ．女性センター

（8）「人とのつながりに関する活動」について

問 27	この１年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。（○は１つ） 「人とのつながりに関する活動」とは、地域活動やボランティア活動、サークル活動など、仕事や学校、家庭生活以外で、人と人とが直接関わり合う活動を指します。
選択肢	・参加した　　・参加していない　　・わからない
問 28	※問 27 で「参加した」「わからない」と回答した方におたずねします。 この１年くらいの間に、どのような「人とのつながりに関する活動」に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・地域活動（行事やイベント等の運営、補助、清掃活動、防犯、防災活動など） ・サークル活動（スポーツ、芸術、文化、レクリエーション、趣味など） ・ボランティア活動（福祉、環境、災害、文化、教育など） ・その他
問 29	※問 27 で「参加していない」と回答した方におたずねします。 この１年くらいの間に「人とのつながりに関する活動」に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・時間に余裕がない　　・費用がかかりすぎる ・一緒に学習する仲間がいない（少ない） ・会場が遠方で時間的に大変である ・希望する学習内容がない　　・十分な情報が得られない ・家族や職場などの周囲の理解を得られない ・人間関係がわずらわしい　　・年齢的・体力的に難しい ・特に理由はない　　・その他

（9）市への要望などについて

問 30	朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。（〇は３つまで）
選択肢	・情報提供や相談機能の充実　・身近な公民館等での講座等の充実 ・公民館や体育館などの施設の整備　・市の催しへの市民の参加機会拡大 ・自主的に活動するグループの支援　・高度で専門的な学習等の機会の提供 ・民間の教育、スポーツ事業との連携　・地域の指導者の育成 ・オンライン講座等の充実　・その他　・特にない
問 31	最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	（自由記述）

２．生涯学習団体調査

（1）日ごろの活動について

問１	１回の活動に参加される平均の人数はどのくらいですか。
選択肢	（人数を記入）人
問２	会員の平均年齢はいくつですか。（〇は１つ）
選択肢	・20 歳代　・30 歳代　・40 歳代　・50 歳代　・60 歳代以上
問３	日ごろ利用している主な施設はどれですか。（〇は１つ）
選択肢	・公民館・コミュニティセンター　・図書館　・市民会館　・市民センター ・スポーツ施設　・個人宅　・その他
問４	よく利用する施設や設備の満足度はどのくらいですか。（〇は１つ）
選択肢	・非常に満足している（問６へ）　・おおむね満足している（問６へ） ・やや不満である（問５へ）　・非常に不満である（問５へ）
問５	※問５は問４で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。 施設・設備に不満を感じる理由はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・交通の便が悪い ・混雑していて予約等、場所の確保がしづらい ・必要な機材が揃っていない ・狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい ・老朽化が進んでいる ・利用料が高い ・利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない ・WiFi などのインターネット環境が整備されていない ・その他

問6	日ごろ活動されている主な地域はどこですか。（○は１つ）
選択肢	・本町・仲町・青葉台　　・根岸台・大字根岸台・大字台・岡・大字岡 ・溝沼・大字溝沼　　・幸町・膝折町・大字膝折・栄町 ・泉水・三原　　・東弁財・西弁財・浜崎・西原・北原・朝志ヶ丘 ・田島・宮戸・大字宮戸・大字浜崎　　・上内間木・下内間木　　・その他
問7	主な活動の分野はどれですか。（○は１つ）
選択肢	・音楽・芸能分野（コーラス、器楽演奏、舞踊、演劇など） ・文学・人文分野（文学、歴史、地理など） ・社会問題、市民生活分野（自然保護、高齢社会、男女共同参画） ・芸術、絵画、陶芸、書道、茶道、華道など ・スポーツ、レクリエーション ・趣味、娯楽、親睦活動（囲碁、将棋、英会話、親子活動など） ・ボランティア活動、地域活動 ・ＩＴ、コンピューター分野（パソコン、スマートフォン、タブレット端末などのスキル、インターネット知識など） ・その他
問8	活動の目的はなんですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・趣味を楽しむため　　・交流、仲間づくりのため ・健康維持、増進のため　　・知識、教養を高めるため ・技術、技能の向上のため　　・地域、社会への貢献のため ・生きがいのため　　・生活上の課題解決・日常生活の向上のため ・職業に役立てるため　　・その他
問9	主な活動時間はいつですか。（○は１つ）
選択肢	・午前　　・午後　　・夜間　　・全日
問 10	活動頻度はどのくらいですか。（○は１つ）
選択肢	・ほぼ毎日　　・週に３～４日　　・週に１～２日 ・月に１～２日　　・年に数日　　・その他
問 11	活動における課題はなんですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・会員が集まらない　　・会員が固定化している ・会場が確保しにくい　　・費用がかかる ・適切な指導者がいない　　・活動内容に行き詰まっている ・活動に必要な情報が十分ではない　　・その他 ・特に問題はない

（２）今後の活動について

問 12	今後の活動の進め方についてはどのようにお考えですか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・現在の活動を続けて、会員の活動での水準を向上させたい ・サークルの活動成果を社会やボランティア活動に役立てたい ・地域の中で活動を広げて、各種の行事に参加してみたい ・同じ活動をしているサークルとの交流の機会を増やしたい ・サークルの活動成果を家庭や職場で役立てたい ・その他　　・特にない

問 13	貴団体から市の生涯学習事業に講師を派遣することは可能ですか。（〇は１つ）
選択肢	・できる（問 14 へ）　　・できない（問 15 へ）
問 14	※問 14 は問 13 で「できる」と回答した方におたずねします。 講師を派遣する場合、特に配慮してほしい条件はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・曜日や時間帯　　・場所　　・講師料（謝金）　　・市の協力体制 ・受講者の定員　　・受講者のレベル　　・その他　　・特に条件はない
問 15	生涯学習で身につけたことや活動成果はどのように生かしていますか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・会員の人生を豊かにしている　　・会員の健康の維持、増進に役立てている ・自分の仕事や就職、学校生活に生かしている　　・自分の資格取得に役立てている ・自分の日常生活や地域での活動に生かしている ・自分のボランティア活動に生かしている ・自分の学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に生かしている ・その他　　・特に生かしていない
問 16	最後に、生涯学習活動に関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	（自由記述）

３．事業所調査

（１）事業所について

問１	業種をお答えください。（〇は１つ）
選択肢	・建設業　　・製造業　　・卸売業、小売業 ・学術研究、専門、技術サービス業　　・宿泊業、飲食サービス業 ・医療、福祉　　・その他
問２	従業員規模をお答えください。
選択肢	（人数を記入）人
問３	従業員の年齢で、最も多い世代は何歳代ですか。（番号を□の中に記入）
選択肢	・10 歳代　　・20 歳代　　・30 歳代 ・40 歳代　　・50 歳代　　・60 歳代以上
問４	従業員の年齢で、２番目に多い世代は何歳代ですか。（番号を□の中に記入）
選択肢	・10 歳代　　・20 歳代　　・30 歳代 ・40 歳代　　・50 歳代　　・60 歳代以上

（2）事業所における生涯学習活動の状況等について

問5	福利厚生・余暇対策等で、次のような取り組みを行っていますか（業務のための研修等の学習は除きます）。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・スポーツ活動の部、社内サークル等支援 ・文化活動の部、社内サークル等支援 ・スポーツ関連施設の所有（グラウンド、体育館等） ・文化活動関連施設の所有 ・民間のスポーツクラブ等の利用支援（提携や利用促進など） ・民間の学習講座、教室等の利用支援（提携や利用促進など） ・その他　　・特に行っていない
問6	※問6と問7は福利厚生・余暇対策としての設備を所有している事業所におたずねします。 所有している施設・設備の稼働状況はどうですか。（○は1つ）
選択肢	・非常に高い稼働状況である　　・やや高い稼働状況である ・あまり稼働していない　　・ほとんど稼働していない
問7	所有する各種施設や設備を地域へ開放することについて、どうお考えですか。（○は1つ）
選択肢	・すでに地域住民を受け入れている ・現在は地域住民を受け入れていないが地域住民を受け入れてもよい ・検討していきたい ・従業員による利用に限定したい
問8	所在地域とのつながりとして、どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・祭りやイベントなどへの協賛 ・貴事業所関連施設の公開、見学等の受け入れ ・ボランティア等コミュニティ活動への参加・支援 ・地域住民を対象とした教室・講座の開催 ・あさか学習おとどけ講座等の行政との共催事業 ・その他 ・特に行っていない

（3）従業員と生涯学習活動について

問9	従業員が資格取得など、職業能力の開発のために休暇を取得できる制度を設けていますか。（○は1つ）
選択肢	・設けている　　・現在は設けていないが、導入を検討中 ・設ける予定はない　　・その他
問10	従業員が資格を取得することに対する支援や奨励を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）
選択肢	・教材費や受験費用の補助を出している　　・資格取得した際に奨励金を出している ・有資格者に手当を出している　　・昇給や昇格の条件にしている ・その他　　・いずれもしていない

問 11	業務に必要か否かを問わず、従業員に対するさまざまな教育・学習を充実させる必要性を感じますか。（〇は１つ）
選択肢	・強く感じる　　・やや感じる ・どちらともいえない　　・あまり感じない　　・まったく感じない
問 12	定年を迎えて、退職される方にどのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・若年世代への技術や知識を継承する時間の確保 ・退職後の生活をスムーズに迎えるための情報提供等の支援 ・退職後のための職業訓練 ・定年年齢の引き上げや臨時職員等で採用している ・その他 ・特に行っていない

（４）朝霞市との連携について

問 13	事業所と市行政の連携策について、興味、関心があるものはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・事業所所有施設を有効活用した講座、イベント等の開催 ・事業所や従業員のもつノウハウを活用した、講座・イベント等の開催 ・地域と連携した、従業員研修の実施 ・従業員が参加しやすい日時等が設定された講座・イベント等の開催 ・環境活動、ボランティアなど、地域と共生した企業スタイルの確立 ・その他　　・特にない
問 14	あさか学習おとどけ講座とは、市の情報や身近な情報などを講座として皆さんの学習の場へおとどけする講座です。教育や文化・スポーツなどの行政メニューやクッキングやスマホ・タブレットの勉強会などの企業メニューを取り揃えています。 朝霞市では、市や身近な情報などの講座を市民や団体等にお届けする「あさか学習おとどけ講座」を実施していますが、貴事業所では「あさか学習おとどけ講座」への登録について、どのようにお考えですか。（〇は１つ）
選択肢	・すでに登録している ・すぐに登録できる学習プログラムがあり、すぐにでも登録したい ・今は登録できる学習プログラムがないが、今後、登録に向けて準備を進めたい ・独自の学習プログラムはあるが、登録は考えていない ・登録できる学習プログラムもなく、今後の登録も考えていない
問 15	貴事業所が生涯学習等まちづくりに関連して市に望むこと、ご意見などがありましたらお聞かせください。
選択肢	自由記述

４．小学生調査

（１）回答者自身について

問１	あなたの性別をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・男子　　・女子　　・答えたくない
問２	あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・本町、仲町、青葉台　　・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼　　・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原　　・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎　　・上内間木、下内間木 ・わからない　　・答えたくない　　・その他
問３	朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・５年より少ない　　・５年から 10 年ほど　　・10 年以上 ・わからない　　・答えたくない　　・その他

（２）ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問４	ふだんの生活で、次のようなことを１日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。（ア～カの項目ごとに１つずつ○） ア．テレビ、ＤＶＤなどをみる イ．インターネット（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）を利用する ウ．メール、ライン及び SNS 等（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）で友達とやりとりする エ．本や新聞を読む オ．テレビゲームやけいたいゲームなど（オンラインゲームを除く）をする カ．オンラインゲームをする
選択肢	・２時間以上　　・１～２時間　　・30 分～１時間　　・ほとんどしない

問５	放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。（〇は放課後、休みの日、それぞれ５つまでつけてください）
選択肢	ア．家ぞくと一緒に過ごす イ．友達と遊ぶ ウ．テレビを見たり、テレビゲームやけいたいゲームなど（オンラインゲームを除く）をする エ．自分のしゅ味や好きなことをする オ．家で勉強をする カ．学習じゅくに行く キ．ピアノや習字など、学習塾以外の習い事をする ク．水泳やダンスなど、スポーツの習い事をする ケ．自ぜんに親しむ活動をする コ．家ぞくの仕事や家の手伝いをする サ．買い物をする シ．ボランティア活動をする ス．地いきでのスポーツ活動や文化活動に参加する セ．学校のクラブ活動・部活動に参加する ソ．１人でゆっくりとすごす タ．メール、ライン、オンラインゲーム及び SNS 等を使用する チ．その他
問６	放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。（〇は５つまで）
選択肢	ア．公園、児童遊園地 イ．図書館 ウ．はく物館 エ．公民館 オ．総合体育館やりく上きょう技場といった朝霞市の運動し設 カ．児童館 キ．スポーツクラブ（スイミングなど） ク．デパート、スーパー、ショッピングモール ケ．映画館 コ．ゲームセンター、カラオケ サ．学習じゅく、習い事などの教室 シ．コンビニ ス．学校 セ．自分の家 ソ．友達の家 タ．その他

問７	この１年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。（○はいくつでも）
選択肢	・音楽をきいたり、映画をみたり、読書をすること ・楽器をひいたり、書道や絵を習うこと ・野球、ダンス、水泳などスポーツをすること ・野球、サッカー、バレーボールなどスポーツをみること ・料理、手芸、園芸（ガーデニング）などをすること ・ボランティア活動 ・歴史や外国の言葉を学ぶこと ・政治や経済、社会問題などについて学ぶこと ・パソコン、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを利用すること ・テレビゲームやニンテンドースイッチなどで遊ぶこと ・おもちゃやプラモデルなどをつくったり、工作すること ・その他
問８	朝霞市の児童館、公民館、図書館、はく物館、体育館、りく上きょう技場などのし設で行うイベントや教室に参加していますか。（○は１つ）
選択肢	・ある　　・ない
問９	あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。（○はいくつでも）
選択肢	・読書に関するもの　　・げい術かん賞、げい術体験に関するもの ・スポーツ体験、指導に関するもの　　・まちのれきしや文化を学ぶもの ・かん境について学ぶもの　　・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、しょく業に関するもの　　・ふく祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント　　・その他

問 10	どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。（〇はいくつでも）
選択肢	・友達からさそわれて　　・親に教えてもらって ・学校のけいじ板をみて　　・先生に教えてもらって ・学校からの配布物をみて　　・し設のポスターやホームページを見て ・保護者連絡ツール「tetoru」で知って　　・その他
問 11	次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。（〇はいくつでも）
選択肢	・読書に関するもの ・げい術かん賞・げい術体験に関するもの ・スポーツ体験、指導に関するもの ・まちのれきしや文化を学ぶもの ・スマートフォン、タブレットに関すること ・インターネットや SNS 等に関すること ・生成 AI に関すること ・外国語や外国文化を学ぶもの ・かん境について学ぶもの ・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、しょく業に関するもの ・ふく祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント ・その他 ・特に学んでみたいことはない
問 12	次のうち、どのしょく業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。（〇はいくつでも）
選択肢	・野球、サッカー、そのほかプロスポーツ選手 ・けいさつ官、消防士 ・学校や幼ち園の先生 ・市役所や県庁のしょく員 ・料理人、パティシエ（ケーキしょく人や菓子しょく人） ・保育士 ・ホームヘルパーやかいごの仕事などのふく祉職 ・医し、看ごし ・ファッションデザイナー ・マンガ家 ・美容し ・歌手、はいゆう、タレント、ユーチューバー（YouTuber） ・システムエンジニア、プログラマー、研究者 ・その他　　・特にない
問 13	最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
選択肢	（自由記述）

５．中学生調査

（１）回答者自身について

問１	あなたの性別をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・男子　　・女子　　・答えたくない
問２	あなたのお住まいの地区をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・本町、仲町、青葉台　　・根岸台、大字根岸台、大字台、岡、大字岡 ・溝沼、大字溝沼　　・幸町、膝折町、大字膝折、栄町 ・泉水、三原　　・東弁財、西弁財、浜崎、西原、北原、朝志ヶ丘 ・田島、宮戸、大字宮戸、大字浜崎　　・上内間木、下内間木 ・わからない　　・答えたくない　　・その他
問３	朝霞市に住み始めてからの年数をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・５年より少ない　　・５年から 10 年ほど　　・10 年以上 ・わからない　　・答えたくない　　・その他

（２）ふだんの過ごし方や生涯学習活動に関する状況について

問４	ふだんの生活で、次のようなことを１日に平均してどのくらいの時間、行っていますか。 （ア～カの項目ごとに１つずつ○） ア．テレビ・ＤＶＤなどをみる イ．インターネット（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）を利用する ウ．メール、ライン及び SNS 等（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）で友達とやりとりする エ．本や新聞を読む オ．テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする カ．オンラインゲームをする
選択肢	・２時間以上　　・１～２時間　　・30 分～１時間　　・ほとんどしない

問５	放課後や休みの日は、どのように過ごすことが多いですか。（○は５つまで）
選択肢	ア．家族と一緒に過ごす イ．友達と遊ぶ ウ．テレビを見たり、テレビゲームや携帯ゲーム（オンラインゲームを除く）をする エ．自分の趣味や好きなことをする オ．家で勉強をする カ．学習塾に行く キ．ピアノや習字など、学習塾以外の習い事をする ク．水泳やテニス、ダンスなど、スポーツの習い事をする ケ．自然に親しむ活動をする コ．家族の仕事や家の手伝いをする サ．買い物をする シ．ボランティア活動をする ス．地域でのスポーツ活動や文化活動に参加する セ．学校のクラブ活動・部活動に参加する ソ．１人でゆっくりと過ごす タ．メール、ライン、オンラインゲーム及び SNS 等を使用する チ．その他
問６	放課後や休みの日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。（○は放課後、休みの日、それぞれ５つまでつけてください）
選択肢	ア．公園・児童遊園地 イ．図書館 ウ．博物館 エ．公民館 オ．総合体育館や陸上競技場といった朝霞市の運動施設 カ．児童館 キ．スポーツクラブ（スイミングなど） ク．デパート、スーパー、ショッピングモール ケ．映画館 コ．ゲームセンター、カラオケ サ．学習塾、習い事などの教室 シ．コンビニ ス．学校 セ．自分の家 ソ．友達の家 タ．その他

問７	この１年間に以下のようなことをしましたか。ただし、学校の授業で行ったものはのぞきます。（○はいくつでも）
選択肢	・音楽をきいたり、映画をみたり、読書をすること ・楽器をひいたり、書道や絵を習うこと ・野球、ダンス、水泳などスポーツをすること ・野球、サッカー、バレーボールなどスポーツをみること ・料理、手芸、園芸（ガーデニング）などをすること ・ボランティア活動 ・歴史や外国の言葉を学ぶこと ・政治や経済、社会問題などについて学ぶこと ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末などでインターネットを利用すること ・テレビゲームや携帯ゲームで遊ぶこと ・おもちゃやプラモデルなどをつくったり、工作すること ・その他
問８	朝霞市の児童館、公民館、図書館、博物館、体育館、陸上競技場などの施設で行うイベントや教室に参加していますか。（○は１つ）
選択肢	・ある　　・ない
問９	あなたが参加したイベントや教室はどのような内容のものでしたか。（○はいくつでも）
選択肢	・読書に関するもの　　・芸術鑑賞、芸術体験に関するもの ・スポーツ体験、指導に関するもの　　・まちの歴史や文化を学ぶもの ・環境について学ぶもの　　・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、職業に関するもの　　・福祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント　　・その他
問 10	どのようなことがきっかけで、イベントや教室に参加しましたか。（○はいくつでも）
選択肢	・友達から誘われて　　・親に教えてもらって ・学校の掲示板をみて　　・先生に教えてもらって ・学校からの配布物をみて　　・施設のポスターやホームページを見て ・保護者連絡ツール「tetoru」で知って　　・その他
問 11	次のうち、学んでみたいもの、参加してみたいものはなんですか。（○はいくつでも）
選択肢	・読書に関するもの　　・芸術鑑賞、芸術体験に関するもの ・スポーツ体験に関するもの　　・まちの歴史や文化を学ぶもの ・スマートフォン、タブレット端末に関すること ・インターネットや SNS 等に関すること ・生成 AI に関すること　　・外国語や外国文化を学ぶもの ・環境について学ぶもの　　・科学や自然を学ぶもの ・将来の仕事、職業に関するもの　　・福祉について学ぶもの ・彩夏祭、スポーツ大会などのおまつりやイベント　　・その他 ・特に学んでみたいことはない

問 12	次のうち、どの職業の人の話を聞いたり、仕事のことを教えてもらったりしたいと思いますか。（○はいくつでも）
選択肢	・野球、サッカー、そのほかプロスポーツ選手　・警察官、消防士 ・学校や幼稚園の先生　・市役所や県庁の職員 ・料理人、パティシエ（ケーキ職人や菓子職人）　・保育士 ・ホームヘルパーや介護職などの福祉職　・医師、看護師 ・ファッションデザイナー　・漫画家　・美容師 ・歌手・俳優、タレント、ユーチューバー（YouTuber） ・システムエンジニア、プログラマー、研究者　・その他　・特にない
問 13	最後に、生涯学習のことについて、ご意見などがありましたら自由に記入してください。
選択肢	（自由記述）

6．施設利用者調査

（1）回答者自身について

問1	あなたの性別をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・男性　・女性　・どちらでもない　・答えたくない
問2	あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）
選択肢	・12 歳まで（小学６年生まで）　・15 歳まで（中学３年生まで） ・18 歳まで（高校３年生相当まで）　・19 歳まで ・20～29 歳　・30～39 歳　・40～49 歳　・50～59 歳 ・60～69 歳　・70～79 歳　・80 歳以上
問3	あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）
選択肢	・農業　・自営業　・会社員　・公務員　・会社や団体の役員 ・パートタイマー　・内職　・自由業　・アルバイト ・小学生　・中学生　・高校生　・大学生　・専門学生 ・家事専業　・無職　・その他
問4	あなたの従業地・通学地をお答えください。（○は１つ） ※どちらかへお勤め、通学している方におたずねします。
選択肢	・自宅　・朝霞市内　・県内の他市町村 ・東京都内　・その他

（2）生涯学習活動の状況等について

問5	日ごろ利用している主な公共施設はどれですか。（○は１つ）
選択肢	・公民館・コミュニティセンター　・図書館（分館を含む）　・博物館 ・総合体育館　・武道館　・陸上競技場　・テニスコート　・産業文化センター ・市民センター　・市民会館　・児童館　・その他
問6	日ごろ利用している公共施設を利用する目的はどれですか。（○は１つ）
選択肢	・団体活動（サークル活動、ボランティア活動）　・研修や講座に参加　・自習 ・習い事　・健康維持　・イベントや行事に参加　・友人等と遊ぶ　・その他

問７	公共施設を利用する時間はいつですか。（〇は１つ）
選択肢	・午前　　・午後　　・夜間　　・全日
問８	公共施設を利用する頻度はどのくらいですか。（〇は１つ）
選択肢	・ほぼ毎日　　・週に３～４日　　・週に１～２日 ・月に１～２日　　・年に数日　　・その他
問９	よく利用する公共施設や設備の満足度はどのくらいですか。（〇は１つ）
選択肢	・非常に満足している（問 11 へ）　　・おおむね満足している（問 11 へ） ・やや不満である（問 10 へ）　　・非常に不満である（問 10 へ）
問 10	※問９で「やや不満である」、「非常に不満である」と回答した方におたずねします。 施設・設備に不満を感じる理由はなんですか。（あてはまるものすべてに〇）
選択肢	・交通の便が悪い　　・混雑していて予約等、場所の確保がしづらい ・必要な機材が揃っていない　　・狭い・小さいなど、大きさの面で利用しづらい ・老朽化が進んでいる　　・利用料が高い ・利用したい時間・日にちに閉館・休館などで利用できない ・WiFi などのインターネット環境が整備されていない　　・その他
問 11	あなたは、どのような手段・方法で学習していますか。（あてはまるものすべてに〇） ※小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校に通っている方は授業を除く。
選択肢	・高等学校・大学などの講座を利用　　・公民館等での趣味や学習の講座を利用 ・通信教育を利用　　・テレビ講座・ラジオ講座を利用 ・新聞・雑誌・本などの出版物を利用 ・SNS や動画配信サービスを利用（YouTube 講座など） ・生成 AI やチャットツールを利用　　・県、他市などが主催する学級や講座を利用 ・市民グループ、サークル、団体が主催する講座などを利用 ・民間のカルチャーセンターやスポーツクラブを利用（個人指導を含む）　・その他
問 12	朝霞市の生涯学習を充実していくために、市にどのような取り組みを望みますか。（〇は３つまで）
選択肢	・情報提供や相談機能の充実　　・身近な公民館等での講座等の充実 ・公民館や体育館などの施設の整備　　・市の催しへの市民の参加機会拡大 ・自主的に活動するグループの支援　　・高度で専門的な学習等の機会の提供 ・民間の教育・スポーツ事業との連携　・地域の指導者の育成 ・オンライン講座等の充実　　・その他　・特にない
問 13	直近１年間で、人とのつながりに関する活動をしましたか。（〇は１つ）
選択肢	・はい　　・いいえ
問 14	自由テーマ
選択肢	（自由記述） ・生涯学習に関する情報をどこから得たいと思いますか。 ・生涯学習をする場合、市からどのような情報が必要ですか。 ・人とのつながりに関する活動をしていない理由は何ですか。

第４次朝霞市生涯学習計画策定のための基礎調査
調査結果報告書

発行年月：令和８年３月
発　　行：朝霞市教育委員会
編　　集：生涯学習部 生涯学習・スポーツ課

〒351-8501
埼玉県朝霞市本町１-１-１
Tel 048（463）1111〔代〕
Fax 048（467）4716
URL https://www.city.asaka.lg.jp